

20th
anniversary

二十周年記念誌

(1973 - 1992)

サンエー20年の歩み



(社)麻布法人会
サンエー・クラブ



Appreciation (正しい理解)

Advancement (向 上)

Accommodation (奉 仕)

サンエー・クラブのシンボルマーク生みの親 **岡林 睦夫氏**

1959年イリノイ工科大学デザイン学部卒業、電通を経て1967年株式会社設計機構設立（トヨタ自動車CI、海外部門担当事務所設立）
現在に至る

C O N T E N T S

サンエー・クラブ20年史

・シンボルマーク	1
・サンエー・クラブ規約	4
・口 絵	6
・祝 辞	9
サンエー・クラブ会長 山田勝久	9
社団法人会長 荒木敬正	10
麻布税務署長 伊藤英男	11
・座談会	12
サンエー・クラブ歴代会長	12
組織委員会	20
企画委員会	25
厚生委員会	30
広報委員会	35
総務委員会	41
・サンエー・クラブ20年史年表	47
・法人会・税務署の歴代幹部推移表	87
・サンエー・クラブ組織図	90
・会員名簿	99

(社)麻布法人会 サンエー・クラブ規約 (昭和四八年三月二十六日制定)

(名称)

第一条 本会は、社団法人麻布法人会（以下「法人会」という。）サンエー・クラブ（以下「会」という。）と称する。

(組織)

第二条 本会は、当法人会の会員である若手経営幹部の有志をもって組織する。

ただし、個人企業の経営者等のうち、本会に加入を希望する者があるときは、幹事会の議を経て、これを準会員として加入を認めることができる。

(目的)

第三条 本会は、会員相互の連絡協調をはかり、企業経営に関する諸問題の研修、討論その他経営幹部として必要な諸事項の研鑽を行なうとともに、関連活動を通じて、各自の企業および法人会の発展に資する。

(事業活動)

第四条 本会は、その目的達成のため、次に掲げる事業活動を行なう。

(役員・相談役の選任、任期)

第八条 本会の役員は総会で選任し、会長および副会長は幹事会で互選のうえ決定する。

相談役は総会の議を経て会長がこれを委嘱しその任期は役員に準ずる。

役員任期は二ケ年とし、その終期は法人会の役員任期と同一とする。

(役員職務)

第九条 会長は会を代表し、会の業務を総理する。

副会長は会を補佐し、分担業務を担当し、会長に事故があるときはその職務を代行する。

幹事はそれぞれ会の分掌業務を担当する。

(会議)

第十条 本会の会議は、総会および幹事会とし、会長がこれを招集し議長となる。

(総会)

第十二条 総会が必要な都度開催し、会の運営に関する重要事項を審議決定する。

総会の決議は出席者全員の過半数で決定する。

一、企業経営上必要な諸問題に関する研修会、討論会、研究会、懇談会等の実施

二、法律、経済、時事問題等経営幹部に必要な知識の習得のための研修会、講演会等の実施

三、会員相互の親睦のための諸活動

四、法人会の事業に帯する支援協力活動

五、その他会の目的遂行のため必要な事業

(加入、脱退)

第五条 本会の加入、脱退は本人の任意の意思による。

(除名)

第六条 本会の名誉を傷つける等の行為があった者については、総会の決議により除名することがある。

(役員・相談役)

第七条 本会に次の役員を置く。

会長 一名

副会長 若干名

幹事 若干名(うち会計幹事二名)

本会に相談役若干名を置くことが出来る。

(幹事会)

第三条 幹事会は本会の役員で構成し、必要の都度開催して会の運営に関する細部事項を審議決定する。

(専門部会)

第三条 本会の事業活動を推進するため必要があるときは専門部会を設けることがある。

専門部会の構成、内容等についてはその都度幹事会で協議決定し、委員を選定する。

(会計)

第四条 本会の経費は、法人会から補給をうけるのほか、必要があるときはその都度会員から徴収する。

(法人会との調整)

第五条 本会の規約の改廃、会の運営上特に必要と認められる事項については、法人会の関係機関の同意を得るものとする。

付則

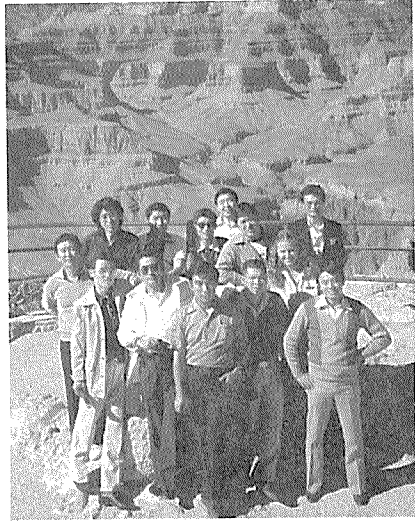
一、この規約は、昭和四八年三月二六日から実施する。

二、昭和五〇年五月一二日一部改正する。

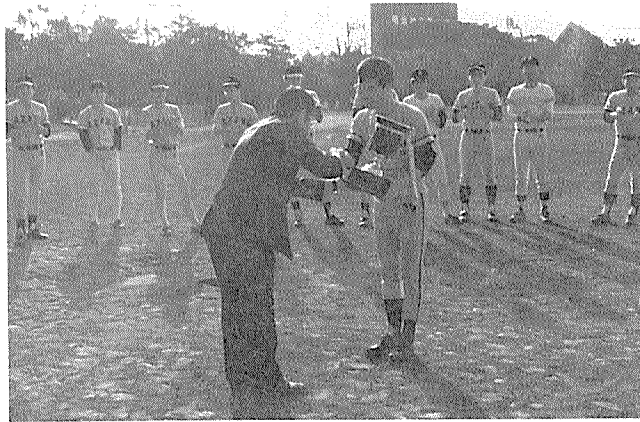
初期～10年



昭和58年6月9日 ホテル・オークラ 10周年記念



昭和53年9月 アメリカ経済視察団
グランドキャニオンにて



昭和57年10月 署vs.サンエークラブ野球大会



昭和49年12月 赤坂青野にて もちつき大会



昭和52年10月 署対抗ハゼ釣大会

10～18年



昭和62年 3月 フィリッピン経済視察団



昭和59年 9月 日中交友視察団 天安門広場にて



昭和63年 9月 高島先生を囲んで ウォーターフロント視察

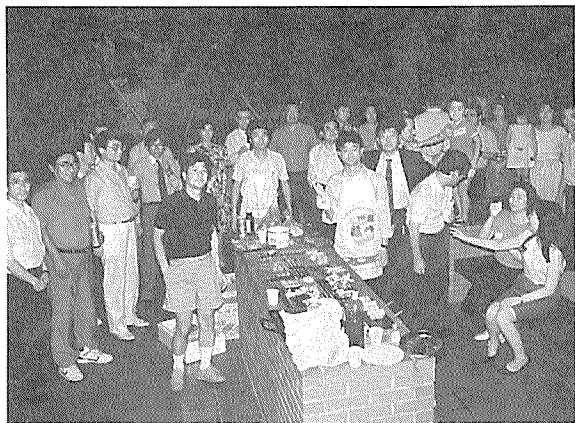


昭和61年 源氏山C.C.にて ゴルフコンペ



昭和60年 5月 女性会員に囲まれて 水沼会長

18~20年



平成3年7月 アークヒルにて バーベキュー大会



平成元年9月 三保ヶ関部屋見学



平成4年4月 越後「龍言」一泊研修会



平成元年9月 東名御殿場C.C.にて ゴルフコンペ



平成3年4月 「柳生の庄」一泊研修会



結成二十周年を迎えて

サンエー・クラブ会長 山田 勝久

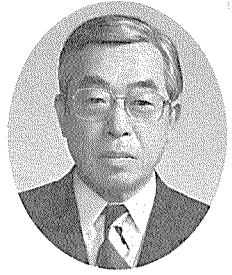
本日ここにサンエー・クラブ結成二十周年記念式典を皆様方のお陰をもちまして迎える事が出来ました事は私共会員にとりましてこの上ない慶びであり、心から厚くお礼申し上げます。

当サンエー・クラブは麻布法人会の会員である麻布（六本木含む）、赤坂、青山の若手経営幹部の有志により結成された良き経営者たらんと願う者の集まりで、親法人会及び税務当局の関係各位の皆様の暖かいご理解とご支援、ご指導によりまして税務はもとより各種講演会、講習会、フリートーキング、ゴルフ、バーベキュー、ボウリング等々とのびのびと幅広い事業活動を展開し、昭和四十八年三月発足以来、ここに二十周年を迎えたわけでございます。

一口に二十年と申しますが、それは大変な事で本日ここに成人式を迎えます事と同じで誠に感慨深いものがございます。知らない者同志、縁あって知り合い事業、年齢、思考すべてに於いて相違ある青年男女が設立理念（正しい理解、*Appreciation*、*Upward Advancement*、*奉仕 Accommodation*）の基に集い各事業活動を通じ会員相互の親睦を深め社業の向上に努め、二十一世紀に向けて明日の社会に提言出来る事を目指しての二十年で決して単に時代の流れに身をまかせただけの月日でない事を自負しております。

ここにあらためて関係各位のご厚意と先輩諸兄のご苦労とご功績に対しましても心から厚くお礼を申し上げます。私達は諸先輩の皆様方によって築かれましたこの二十年の重みをかみしめ、現状を厳しく見直し会員相互の親睦と情報交換を密にし、柔軟な発想と行動力をもって地域社会に密着した和をひろげながら新たな十年に向け力強く前進する様努力する所存でございます。

どうかサンエー・クラブの益々の発展に皆様方の一層のご理解、ご協力、ご支援、ご指導たまわります様お願い申し上げます。



結成二十周年を祝って

社団法人 麻布法人会長 荒木 敬 正

サンエー・クラブが、このたび結成二十周年を迎え、ここに記念誌を発刊する運びとなりましたことは、大変慶ばしいことで、心からお祝い申し上げます。

顧みますと、サンエー・クラブは、企業の次代を担う経営者として、また法人会の明日を託す後継者としての諸々の研鑽をという主旨のもとに、当法人会が社団化した昭和四十五年から三年後の昭和四十八年三月に、当会の青年部会として結成されました。その中身の濃い、多彩な活動は、斬新な企画と旺盛な行動力とあいまって、常に当会の中核としての役割を果たし、高く評価されて参りました。

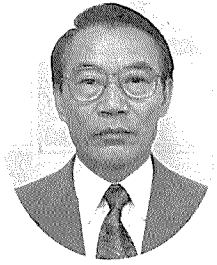
現在、私ども法人会の本部、支部の各役員はもとより、各委員会の委員その他の役職に多数のサンエー・クラブ会員を迎えており、これらの方々は、会活動の推進力として活躍されております。

また、私ども法人会の重点施策の一つである会員増強運動をはじめ、各種の会活動についても、クラブの組織力を動員しての積極的な支援活動を続けて参りました。

この二十年の間にサンエー・クラブが法人会に貢献された業績は、誠に多大なものがございます。

このように、二十年前に新しい時代の担い手という発想で発足したサンエー・クラブは、初代の花沢会長以来現在の六代目山田会長までの歴代の会長を中心に、クラブの皆様方の堅いきずなで結ばれた団結と親愛の力で、今日の発展に至っておるわけであり
ます。

ここに、結成二十周年を迎えるにあたって、深く敬意と謝意を表するとともに、さらに充実したクラブ活動を推進されますよう、一層のご活躍と法人会へのご協力を切望し、あわせてクラブ会員のご健勝と企業の益々のご繁栄を祈念してやみません。



結成二十周年を祝して

麻布税務署長 伊藤 英 男

社団法人麻布法人会サンエー・クラブの皆様、結成二十周年誠にめでとございます。

サンエー・クラブの皆様方には、結成以来の長きにわたり税務行政に対しまして格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

貴クラブは、昭和四十八年三月に麻布法人会の青年部として結成され、活発な活動を始められたのでありますが、以来一口に二十年と言いましても、その間には様々なご苦労がお有りになったことと思えます。

そのような中、常に他に例を見ない熱気あふれる活動を続け発展されてこられたということは、山田会長をはじめとして歴代の会長、役員並びに会員の皆様方の並々ならぬご尽力があったと推察しており、深く敬意を表する次第であります。

麻布法人会が会員数九千社にも達する全国でも有数の法人会に成られましたのも、皆様方の活動が重要な役割を果たしたと認識しております。

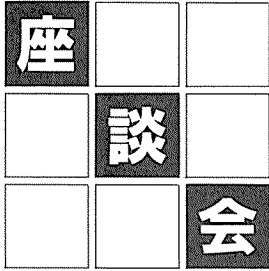
サンエー・クラブの皆様方は、これから法人会の中心となつてご活躍される方ばかりでございます。

どうか、これからもサンエー・クラブ独自の活動を益々発展させて戴き、法人会の中核として伝統と素晴らしい実績のある麻布法人会をさらに盛り上げて戴きたいと思えます。

二十年といえば人間なら成人の年であり、人生のうちでも最も希望に満ちた夢あふれる時であります。貴クラブがこの二十周年を契機としまして、新たな時代に羽ばたかれ一層飛躍されますことを念願して止みません。

終わりに、貴クラブの益々のご発展並びに会員の皆様方のご活躍とご事業のご繁栄を心からお祈りいたしまして私のお祝いのことばといたします。

SAN - EI · CLUB



サンエー・クラブ歴代会長



出席者(敬称略)

- | | | | | |
|---|---|---|---|-------------|
| 花 | 沢 | 敏 | 彰 | ● 初代会長 |
| 藤 | 森 | 脩 | 一 | ● 二代目会長 |
| 椎 | 津 | 忠 | 三 | ● 三代目会長 |
| 水 | 沼 | | 寛 | ● 四代目会長 |
| 筒 | 井 | 克 | 夫 | ● 五代目会長 |
| 山 | 田 | 勝 | 久 | ● 六代目会長 |
| 添 | 野 | | 英 | ● 10周年実行委員長 |
| 落 | 合 | 光 | 治 | ● 20周年実行委員長 |

サンエー・クラブ・歴代会長（座談会）



「仲間の輪を作る」

初代会長 花 沢 敏 彰

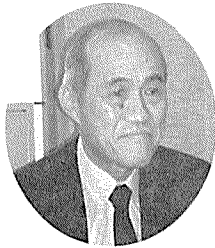
二十周年おめでとうございます。

二十年前の発足当時、人脈を作る、根回しをするということが得意じゃなかった私が、ご使命を受け初代会長をお引き受け致し、まず何を最初に行わなくてはならないだろうかと熟慮した結果、見ず知らずの人達と共にこのサンエー・クラブを作りあげていかなくはないけないということで、創設後の一年半は横のつながりという人間関係を築いていくことに終始致しました。

会長という重要なポストを仰せ使った私にとって一番幸せなことは、藤森さん、椎津さん、添野さんを始め多くの方々に助けていただき、人間的な関係が大変豊かだったということです。また椎津さんの御父様には、陰になりお力添えいただいたことが、サンエー・クラブの基礎を作る大きな力となったことは言うまでもありません。このようなバックアップがあったからこそ、三期という長い期間会長を務めることができ、そして今日二十周年を迎えることができたのであると確信しております。今思えば出されることはアメリカ研修や中国研修のことです。十四く五名の研修の旅でしたが、今でも爽りある素晴らしい思

い出となって私の心に残っております。中国研修の時、当時椎津会長が出席できず、私が団長代理という形で行ってまいりました。無錫という地で現地の青年が五百人位集まる中、日本から行った我々を含む二国間の代表として挨拶を依頼され、私は「日本の経済の原動力として活動している」というような話を致しました。中国の青年たちが目を白黒させて聞き入っていたのがとても印象的でした。サンエー・クラブとして海外における一つの国際貢献だと自負致しております。

私にとってサンエー・クラブに在籍していたこと、そして会長として活動させていただいたことは非常に意義のあることでした。今後サンエー・クラブの個性を大切にされ、三十、四十周年と長い歴史を刻まれることを希望して止みません。本当におめでとうございます。



『法人会、署との密接な 会を作った会長』

二代目会長 藤 森 脩 一

二代目で会を作ろうという広瀬副会長さんの発案で、七く八名の有志から始まったサンエー・クラブですが、我々は若手であり、税にとらわれない活動をしていこうという趣意書を書いて記憶があります。その手始めに、ありきたりの青年部というネーミングでは、その主旨に反すると募集し、現在の素晴らし

いサンエー・クラブという個性あふれる名前がついたのです。

もう一つの趣意書の中に『立派な理性を作ろう』ということ
が記されました。立派な経営はガラス張りの経営であり、ひい
ては優良な法人税を納税する企業になるんじゃないかというこ
とです。そういうことで間接的には法人会のバックアップにな
ると考えたからです。

発足当時から関わってきたサンエー・クラブをより良いもの
にするために、フリートリーキングを始めました。というのは法
人会の理事会等に出席して、ただ話を聞いて来るという現状に
不満を持ったからです。参加するならば自分の意見を発言し、
参加意識を持たなければ何の意味にもならないのです。簡単に
フリートリーキングといっても発言し慣れてない者にとっては、
緊張し話のつじつまが合わなくなることがしばしば見られまし
た。しかし会を重ねる毎に、滑らかな口調とまとまりのある内
容が聞かれるようになり、『不況時の問題点と心構え』（副題は
親爺時代対策はどうするか）の時には、一人五分以上喋ること
という条件が途中から五分以内にまとめるようにとかわったこ
ともあり、成果あるものとなりました。

余談ではありますが、初代会長を決定する際、素晴らしい適
任者がいるということで、私もどんな方だろうかと想像してい
ました。初めて花沢さんにお会いした時、交通青年団の制服を
来てこられたのにはビックリ。その花沢さんを会長に、各人の
アイディアを持寄るといいうしきたりが今もなお続いているとい
うことは大変嬉しく思います。二十周年、本当におめでとうご
ざいます。



『サンエー・クラブを
外部へPR』

三代目会長 椎津 忠三

私が会長に就任した時は、一代目、二代目が築かれてきたも
のが実って、内部的には評判も良く、個性ある活動的な良い会
だという認識をいただけていました。他の役員の要望もあり、
私も外部にPRをして、東京を代表するような青年部だとい
うことを認知していただく方向へ持っていきたいと考えておりま
した。そこで時期的にも十周年という節目でもあり、集中的に
進めることに専念しました。

その手始めに、私の旧知の人であり法人税課長をやっておら
れた剣持さんに出馬願って十周年の講師にお招きし、それを記
念誌に載せ、また総会にも出席していただくことになりました。
法人会全部を括っているのは法人税課長で、その方を講師にお
招きすることによって、関係者も記念式典に出席され、多くの
税務署員の方に認知してもらえらるという希望的観測をもって実
行いたしました。査察部長の藤村さんにも記念行事に来ていた
だいたり、非常に顔の広い浜田副署長さんのおはからいで、人
脈も得ることができました。

一番ユニークだった企画にGメンの座談会がありました。十
周年の記念誌を読まれ、記憶に残っている方もいらっしゃると思
いますが、きっかけは夜中にやっていたテレビのGメンのド

ラマだったのです。これは面白いものになるのではと思っていった矢先、Gメンの班長さんだった川島さんが署長として麻布税務署に來られたのです。そこで川島班のGメンだった方々にお願ひして、ユニークかつ興味津々の座談会を聞くことができたという訳です。

このような方針で突き進んだ、結果、多くの外部の方に『麻布法人会にサンエー・クラブあり』と認めていただけれるようになったと思います。二十歳という新たなスタート台に立ち、今後の若い力を期待しています。



『管外への体験』

四代目会長 水 沼 寛

一代目花沢会長、二代目藤森会長、三代目椎津会長と、素晴らしい基礎を作られていたので、私の会長時代は大した苦勞もなく終りました。

私は本来企画の出でしたので、自分なりのアイディアで新しい企画を立て皆さんに同調をいただき実行してきました。その中のひとつに以前から講師をお願いして行っている『フリートーキング』を、仲間にお願ひすることにしました。なぜなら周囲を見ておりますと、仲間にも素晴らしい講師がいることに気付いたからです。これは話す方も聞く方も勉強になり、感じるところも大ではなかったかと思ひます。

自分が会長を務めている間にやっておきたいと思っていたのは、外に目をむけた体験をしていただきたいということでした。そこで『体験教室』が始まったのです。まだ橋ができる前のお台場を見学したり、総持寺を一日体験したり、つくば学園都市を見学したり、バーベキューを羽沢ガーデンで始めたり、情報でしか得たことのなかったものに身をもって体験できたことは、楽しい思い出でもあり、新しい自分を発見できるチャンスでもありました。

また私自身印象に残る出来事がありました。それは多くの反対を押し退け、強引とも思える自分の強い意志で、提案し実行したのが幹事定年でした。その結果次々に新しい人達が新風を吹き込んで活性化する会を見るたび、間違っではないなかったと安堵と確信を感じている次第です。今後も新しいものにチャレンジされ、サンエー・クラブが持つ個性的な風を起し、他にない活気のある青年会として伸びていってほしいということをお祝ひの言葉といたします。



『若手会員との融和』

五代目会長 筒 井 克 夫

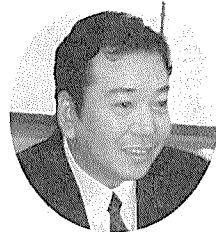
初代花沢さんから藤森さん、椎津さんと三代十二年にわたり、確固たる基礎作りをされたサンエー・クラブの会長さん方。私はそのしっかりとした土台に乗り、築いてこられたものを崩さ

ぬように心掛けてきました。そして次々と新しい若手の会員さんが入られ、その方たちと不協和音を作らないためにも、互いを尊重し分り合えるようなコミュニケーション作りに努めてまいりました。

私は会長にと言われた時、私よりもっと適任者がおられるはずなのにお断りしましたが、添野さんや土橋さんに口説かれ、会長という座に座らせていただきました。私にとって二年はアツという間の出来事でした。歴代の会長さんならお分りと思いますが、サンエー・クラブの会長というのは非常に忙しく、六委員長さん等のお助けをいただき、多忙の日々を終えることができませんでした。本音を述べると、六代目山田会長に引き渡した時は、肩の荷が下りホッとした心境でした。

アメリカへ研修旅行にでかけ、いろいろなハブニングもあり次第に心の鍵が解き放され、裸のお付きあいができるようになり、楽しい思い出と共に友好が深まったことが私には何よりも研修となりました。

辞退していた会長をそのまま受け入れずにいたら、皆さんと今のような関係が続けていなかったかもしれません。自分自身の勉強にもなり素晴らしい思い出にもなった会長というお役目に感謝し、若い会員の皆様にも何事にも積極的にチャレンジしていくってほしいと思います。そして二十年を迎え、今後どのようにサンエー・クラブが活躍するか、応援しながら見守らせていただきたいと思います。



『全国組織への進出』

六代目会長 山田 勝久

平成元年、一期二年という約束で筒井さんの後を引継ぎ、一期では収まらず、今もなお会長という座に座り続けております。当初は重責が果たせるか、無事務められるかという不安でいっぱいでした。椎津先輩がよくおっしゃる言葉に『みこしに乗る人、担ぐ人』というのがありますが、実感として乗るよりは担いだ方が楽だと今でも思っております。どうしても肩に力が入ったり足をふんばったりで、うまくいっているかといつも自問自答の繰り返し。最も私の体重は八十五キロありますから、担ぐ人も容易ではないんじゃないかと思えます。多分担ぎ手が上手に私を乗せてくれ、かしいだ時は持ちあげて姿勢を建て直してくれているのでしよう。何につけてもそうですがバランスを保つには呼吸が一番大切で、呼吸が合うことによつてうまくいくのではないかと思います。

私の代になりましたして、法人会の四十周年記念式典を皆で助け合つてやらせていただいたことや、『文化の香り』をテーマの全国青年の集い東京フォーラムが行われた際に、大勢で参加し非常に盛り上げたこと等が足跡として残っています。このように地域だけに留まらず、全国的にサンエー・クラブを知って戴こうという活動をしてまいりました。この他体験教室にも力

を入れて、自衛隊の富士学校では隊員食を共にいただきながら、戦車に乗ったりという貴重な体験も致しました。

忘れてはならないことは、我々の素晴らしい仲間であった井上副会長の突然の死です。私を始め多くの会員の方がショックを受けたこともありました。そしてこの二十周年を迎える訳であります。サニー・クラブの名を少しでも多くの方に知っていただくためにも、この二十周年をバネに皆で呼吸を合せ輪を広げていこうと思っております。

歴代会長座談会（二十年を振り返る）

山田 本日は暑い中、お集まりいただいて有難うございます。サニー・クラブの歴史である二十年を振り返っていただき、皆さんのお話をお伺いしたいと思います。どこでもよく言われることは、サニー・クラブというネーミングが非常にいいということ。麻布、赤坂、青山の三つのAと取っての名前から、印象にも残るし、素晴らしいものですよ。柴崎 青野さんのお父さんが考えたものですよ。十数案あった様ですが。

添野 コンフィデンシャルを発刊したのが四十九年の花沢さんの時、シンボルマークを制定したのはコンフィデンシャルの前でした。コンフィデンシャルは予算が組まれた後に作るということになり、七、八十萬の資金を広告で集め、それで埋めたんですよ。

藤森 長官とインタビューしたものをコンフィデンシャルに載せようとしたことで、大きな波紋をよんだこともありましたがね。あれは法人会も税務署にも話を通していなかったもんだからビックリされちゃったんですよ。でもありきたりの記事を載せたんじゃない、アツと言わせるようなことを載せようよということ、コンフィデンシャル（CONFIDENTIAL）という名前を付けたんですから。しかし、それがどうも意図するところにはいかないもんだから、中心に活動していた吉田さんもイライラするところもあって。それでリレーでお店の紹介や奥さんを出してみようよとか、自分を語ろうよとか、いろんなテーマをもってきたわけです。そんなことで家族的な関係ができてきましたね。

花沢 僕の時人間関係を作ることで一つの組織の形を作り、二代目が法人会や署との関係を綿密につないでくれ、三代目は外部との基礎を作った。対内的にも対外的にもこの三代にわたって基礎ができたという感じですよ。

添野 初代の場合、コンフィデンシャルだ、〇〇大会だと火花が上がったんですね。火花が上がらなかったら、もっとこじんまり固まってたかもしれない。それで二代目の会長がどっちにいったらうか分からない会の方向性を決め、三代目会長がその会をもっと公のものとして認められる方向に持っていた感じですよ。

会長になる方の人材というのは豊富ですね。なる資格のある方が多くいたにもかかわらず、年齢制限等を含めたいろいろなことでなれずに、OB会に入っただけというふうなことも

あるので、そういう人の存在というのも忘れずにおきたいですね。

添野さんだって、土橋さんだって会長に収まる人ですよ。

椎津 いや誰がやってもなれば座るんですよ。一人でやるんじゃない、皆が協力してやるんですから。

添野 納涼大会や釣り大会、クリスマスもありましたね。あ
あいう家族ぐるみのイベントというのはいいですよ。二十歳過
ぎた子供も、ちゃんと覚えてるんですから。

筒井 うちの娘も言っていましたよ、又釣りに行きたいって。

添野 花火大会もあったね。

うちで弁当を作って三時頃行って、熱い中ずいぶん待たされ
たよね。

椎津 ユニフォームやネクタイ、タイピンを作ったりもした
ね。

添野 それを税務署長や副署長に差し上げましたよね。

椎津 最初は備え付けにしようということだったんですが、
サイズが違うので差し上げた方がいいということになってね。

でも毎年署長が変わるので、結構予算的にも大変だったことで
止めたんですよ。

花沢 青野さんのところで餅つき大会をやって子供達に配る
とかしたけど、そういった地域社会に貢献、融和することを最
近はちょっと忘れてる感じだね。

柴崎 福祉会館にお餅を届けましたよね。でもそれを継続す
るということは非常に難しいことで、単発、乱発するだけでは
いけないんじゃないかということで、現会長は慎重に考えてお

られるんですよ。

心に残るものがいいですね。今年もバーベキューをやるん
ですよ。

落合 予算の関係でバーベキューをやっていますよ。一人三
千円で、私のところで下ごしらえしたものを出すんです。外へ
行くと八千円だ一万円だとかかるんで出席者が少なくなりま
すしね。今の若い人の感覚が少し変わってきているので、今後や
りにくいんじゃないかと思ってるんです。

花沢 八百万円の会費があるというのは非常に大きな団体で
すよ。その予算の中である程度のバランスは取れるんだから、
会員の家族との懇談というものは年に一回でも必要だと思うよ。
ワルガキできていた子供達が親爺になって、同じように子供と
一緒に参加して、自分の親爺も連れてきてくれたなという印象
が残るんだからね。これはお金で買えないもんですよ。そうい
うものがサンエー・クラブとしての特徴でもあるしね。

椎津 黒川前法人会長が言っておられた、最初の十年は本音
の会。自分達の会だということ。本音に大事にやっつて、次の十
年は建前が入ってくるよ、その次の十年は建前ばかりになる
よって、そういうことがないようにだけはしなないとね。

筒井 署というのが必ず核にあるでしょ。だからどうしても
建前が出てくる場合が多くなるしね。でも本音の方を大事にし
ていかなないと会が面白くなっちゃうよ。

椎津 儀礼的で形式的なことはそれはそれで続いているんだ
から、そうじゃない部分をサンエー独自のものをやっつていかな
いと。はっきり言っつて六十、五十、四十、三十、二十、という

五世代が全部揃って動くということは、なかなか難しいことですよ。OBはほとんど法人会に入って、残った若い世代が新たなスタートをするということで考えないと変わってこないと思うんですよ。

法人会にも定年制があったらいいのかな。署の方はほとんどサンエーの人が来て動いて下さいということを望んでいますよ。

花沢 法人会とサンエーの討論会を一回やったらいいんだよ。

添野 そうですよ。法人会、サンエー・クラブのOB会、サンエー・クラブで討論会をやったらどうでしょうね。

山田 サンエーの若手の中ではそういう話は出ているんです。

椎津 サンエーは法人会の冷蔵期間じゃないというのは発足の主旨なんです。法人会があって青年部があるってことは、次代の役員を要請しているということに間違いありませんよ。建前と本音ですよ。だからサンエーからどんどん入っていったらならないと話にならない訳でしょ。

添野 サンエー・クラブは実際下部組織なんだけれども、法人会の実態がよく認識できない、だからデスクッションをやりたいということをもっと伝えなくてはいけないんじゃないですか。サンエーも二十周年で大人になったんですから、年一回デスクッションの場をもつことも必要ですよ。

椎津 理事会に行ってもすでにでき上がっていて、株主総会みたいなもんですよ。その点常任理事会はもっと小人数だから、常任理事になってその場では意見を沢山出してもらおう。それからサンエーは幹事定年だけじゃなくて、会員の定年を打ち出さなきゃ。もう五十歳は青年じゃないって。

落合 若い人から見ますと、先輩方が卒業して法人会に入っていくかというところは、問題があるんじゃないかと二の足を踏んでいる面もあるんです。

花沢 法人会自体もきちっとした受皿をもって、我々が行き易いような夢のある法人会にしてほしいですね。

ところで今若い人の会員は？

山田 お蔭様で勸奨しないでも、若い方がどんどん入ってきて下さっている状態です。本当に有難いことだと思っております。

二十年と一口にいいますが長い歴史ですよ。生まれた子は成人するし、柴崎さんも二十代で入ってきて、今四十代でしょ。

椎津 スタート当時に法人会をみて、おじいさんだなど思っていたところに、我々も来ちゃったんだから。

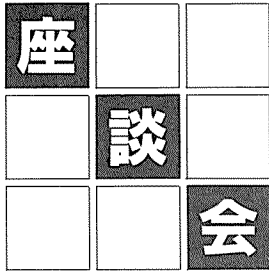
六代目会長の山田さんは今後のことをどのように考えられておられますか？

山田 そうですね。唯今は先輩方の意見を沢山に拝聴でき、有難うございます。

一年一年の積み重ねで築きあげてきたこのサンエー・クラブの重みを肝に銘じておきます。これからもあらゆる事業活動を通じて、会員の皆様方と力を合せ会員相互の親睦を深め、地域社会に密着した和を広げながら最新の情報交換や人材育成にも力を注ぎたいと思っております。そのためにも、大先輩である皆様のご指導、ご叱咤を今後共頂戴出来ませうと思っております。

本日は大変お忙しい所どうも有難うございました。サンエー・クラブはこれからも頑張ります。どうか宜しくお願い致します。

SAN - EI · CLUB



組 織 委 員 会



出席者(敬称略)

大	福	高	尾	榎	秋
早	原	土	山	川	古
川	正	橋	関	誠	賀
寿	則	次	武	一	忠
一		実	男		久
			勝		雄
			久		



尾関 本日は歴代の委員長、委員の方々にお集まりいただき、我々が知らない発足後の組織委員会の活動や思い出話をお聞きしたいと思います。

山田 私は四十八年発足以来組織畑で、委員長になりましたのが五十二年四月です。組織の流れは、麻布、赤坂、青山、六本木と四地区に地区割りをしまして、会員相互の親睦を一つの柱に各委員会の事業活動のご案内やフォロー、会費未納の徴収等ですね。この他会員の入会脱会の窓口という形は、現在も変わらないで受継がれております。勿論、会員増強にも力を注いでいました。

土橋 私は最初総務だったんですが、何もなかったのも西沢さんに呆れられ、お前位仕事をしない奴は見ることないと言われましてね。(笑)それで組織の方に送り込まれたんです。添野さんに「やるならば本気でやんなさい。やらないならば止めた方がいい」と極論されましたね。それから発奮して、十数年やってました営業の能力を生かし勸奨に力を入れました。添野さんに「十社やったんだからこれでいいでしょう」と言ったところ、「俺は十三社やったよ」って言うんですよ。彼とは同じ年で、他のことで負けるんなら仕方がないが、勸奨では負けてたまるかって十五社取ってきたんです。その度に添野さんは三社位多く取ったっていうんです。(笑)あの人嘘つくような人じゃないから信じて二十五社迄頑張りました。結局添野さんは五、六社しかやってなかったんですよ。(笑)でもいい風に騙してくれたんで、法人会から感謝状を戴きましてね。それから「土橋は何にもやらない出来損ない」という周りの目も変わっ

てきて、気分をよくして一年平均二十社で、六年間で百二十社位やりましたね。法人会から六回と東法連から四回表彰状を戴き、これもうまく騙してくれた添野さんのお陰だと感謝しています。印象に残っていることは、嫌いな犬に吠えられ、窓から飛び出たら犬も追いかけてきて車にぶつかってしまったんですよ。次の日お詫びに行つて最後には取つてきましてけど。嬉しかったのはわたしに勧奨した末永さんとノウハウを教えてあげた大須賀さんが活躍していることですね。

尾関 良い友達を持つということはサンエーの主旨に添った活動をされてきたということですね。土橋さんにとつて添野さんは勧奨の神様ですね。(笑)

早川 僕は勧奨の神様の下で副委員長をやらせていただきました。(笑) 始め私にはできないと思つていましたが、叱咤激励されながら少しずつでも進歩していったというのが印象に残っています。勧奨をされた方ならお分りでしょうが、片目が開いて、両目が空いた時のあの嬉しさというのは今でも忘れられませんね。勧奨というのは親法人会からも期待されているビッグイベントですが、会員相互の親睦も大事なことじゃないかという幹事会からの意見もあつて、手始めにそれぞれの地区で知っている店を回りながら委員会を開きました。それがとても楽しい思い出となっています。また今は亡き井上さんと、新入会員をどの委員会に所属させるかということも、随分議論したこと印象深く残っています。ちょうど僕が副委員長になった頃は第一世代と第二世代の交代期で、勧奨活動も難しい時期でした。二十周年で思うことは、ジュニアが多かった時代を経てこの地

に会社を起こされた会員も多くなり、組織自体も流れと共に変わってきたということですね。

古賀 サンエーに入会させていただきまして十三年になるんですが同感ですね。私の場合、研修会や催し物は本当に楽しい思い出が数多く残っています。ちょっと怖いところに勧奨に伺い脅かされたこともあったり、私が幹事定年で止める時、温泉で送別会を開いていたいたり、心に残る良い思い出がいっぱいです。我々の時は同年代という感じでしたが今や若い方が多く入れられ、今後若手が伸びてくると期待しています。

尾関 僕は前の委員長の高桑さんに手取り足取り教わりまして。古賀さんが言ったように、委員会の旅行もしかり、委員の方の御協力をえて、そのつど委員としての楽しい会を盛上げてくれました。僕に引継いで戴いた記録が、実に管理が行き届いていたんですね。

高桑 いえいえ、そんなことはないんですが……。何しろ地味な委員会、年に一回の勧奨の他は主だったイベントがないんで、なるべく外に出るように年四回の委員会を各地区毎に場所を設けてやることにしました。その結果いろいろなお店を知り、楽しい委員会となりましたね。私の時に椎津さんのお父さんや井上さんが亡くなられ、その他にも冠婚葬祭が重なりましてね。幸いにファックスが普及し始めた頃だったので、急な時は百社程ファックスでお知らせしたこともありました。ハイテクのお陰で連絡事項は非常に簡素化できたと思います。勧奨は歴代の先輩達が非常に力を注がれているんで、私共は微々たるものでした。ただ法人会がサンエーに頼るところが大になつて



きて、それからノルマ達成という大きなプレッシャーがかかりました。私の頃は楽しく遊んでいられたましたが、これからの組織委員長はそういう面で気の毒ですね。

尾関 私がお引き受けする時に、山田会長から一つ宿題を渡されたんです。現役としてサンエーの素晴らしさを紹介するためにも、もっと活発に動いてくれというものでした。勸奨活動も達成率だけを追求していくと辛い仕事になってきますので、他の委員会の委員長さんにもご協力していただき、ご紹介を戴けばその担当地区の副委員長がお話に出向くというような活動も始め、いい結果を得ることができました。これはサンエー・クラブを盛り立てよう、やるべきことはやろうじゃないかという落合さんのご提案もありまして、我々が中心になりサンエーを組織する全てが共通の意識を持つということでお願ひしました。結果悪くても次なる方法論が皆さんの意見として出てくるんじゃないかと思っています。

秋元 僕はまだ入会して二年しか経っていませんが、入会のきっかけは佐阿徳さんのご紹介で二年前入会しました。当時はサンエーを理解しないまま、組織の意味も分からないでした。しかし勸奨やいろいろなことを体験し、単に勸奨の組織ということではなくて、サンエーの全体も見渡せるようなお役に立つ組織という意味での委員会になるよう、今後も微力ながら協力していきたいなと思っています。

福田 私は赤坂で生れ育ったんですが地元の学校ではなかったのですが、しかも自動車業界の二輪を扱っているのです、地場の人達とのお付き合いがなかったんです。幼稚園の同級生である柴

崎さんから誘われましてサンエーに入りました。赤坂に限らず、麻布、青山の方達とお付き合いが広がり、古い方が多いんだなと実感しております。希望としましては短期間集中の勸奨活動ではなく、できれば地元近くの勸奨カードを一年間お預りして、時間をかけてやらせていただいた方が個人的にはやり易いですね。地元で長くおやりになっている方が中心で、地場的な要素が濃い形になっている感じを受けますが、この地は国際都市でもあり、新しい企業も参入されておりますので、そういった意味で新企業が入りづらいんではないかと思えます。私事ですが、東京オートバイ協同組合の初代理事長を仰せ付かったんですが、二十年続けることは大変なことですね。これも先輩方のお力だと思えます。私もそういう諸先輩達のようになっていきたいですね。そのためにもいろいろと勉強させていただきたいと思っております。

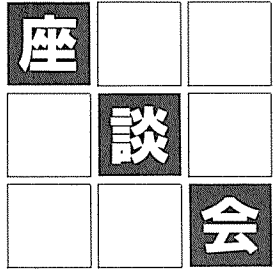
榎川 青野さんの頃から六本木地区の担当で、組織専門にやらせていただいています。前回前々回と回ったところの引継ぎなもんですからなかなか成果が上げられなくて……。先程も勸奨期間のご意見がありました。十一月から約一カ月という短い時間に、しかも暮という忙しくなる時期です。もう少し早い時期で二〜三カ月の余裕があれば成果が上ると思うんです。組織の活動は新入会員の歓迎会で各委員長さんをお呼びして、どこの会に入りたいかというようなこともお聞きしたり、勸奨の報告を兼ねた慰労会を開いたり、体験教室等も組織の方から出席を促すということをしてきました。サンエーの中の組織のあり方が少しずつ変わってきて、地味な中にも組織としての存

在感がだんだん蓄積されており、サンエーにはなくてはならない委員会として、私も微力ながら協力させていただいています。

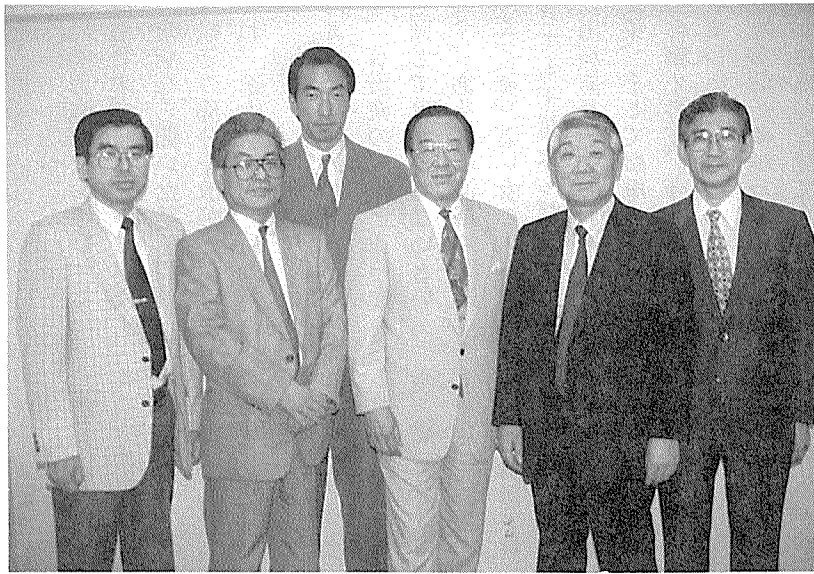
大原 五年前、企画を始めいろいろなところに顔を出して組織に落ち着きました。最初の勸奨の時はけんもほろろの状態、私はいったい何をやっているのかという自問自答を繰り返す有様でした。二年目にして初めて入って戴いた時には感激しましたね。前に秋元君から1/2じゃなくて2/3にしていけば根気よく回れるんじゃないだろうかという提案がありまして、勸奨の件に関しましては少しずつ改正して、効率の良いものにしていけたらと思います。先程委員長が言いましたように、この会に入り良い友達もでき輪が広がってきたことをとても感謝しています。また組織が一人ひとりに合った会を見つけ、うまくそのポストに入れて上げられるお手伝いができればいいですね。

尾関 皆さんのお話しをお聞きして思ったことは、これからサンエーを支えてくれる新しいメンバーが、サンエーというのはとても楽しく勉強になるよ、いい友達が見付かったよという雰囲気を感じ取っていただくのが組織委員会の役目で、皆さんに委員会で活動していただく窓口として、我々がスキンシップしていくというのが大切だと思います。先程もお話がありましたが、地域ゆえに固まりすぎることのないよう、二十年目にあたって、この委員会では提言していかねばいけない我々に課せられたお役目なんじゃないでしょうか。

SAN - EI · CLUB



企 画 委 員 会



出席者 (敬称略)

石	小	椎	成	水	大
井	池	名	瀬	沼	須
源	和	康			賀
太	敬	允	勝	寛	純
郎					也

水沼 初代委員長の松井さんの時、私は委員でした。サンエーの横のつながりを深いものにし、それぞれが共に体験しながら学んでいくため、一泊研修を始めいろいろな企画を練りました。

成瀬 一泊研修の講師は人選する人の勢力範囲でお呼びするので、話す内容の系統が変わってくるんです。研修というのは宴会の前にやるのはよくないですね。なぜなら聞いた話を酒の肴にするというのがオチですから。今後その部分を改善した方が講師の先生にも失礼にならないですね。途中から行く場所をいろいろ変えたんですよ。

水沼 だけどそれには訳があるんだよ。大観荘をずっと続けていたのは重箱の大谷さんとかの顔で、芸者衆の一流どころを指名して呼べたんだよ。だけどいつも同じでは面白くないというところで、伊豆山の蓬萊に変えたんです。あそこは混浴のお風呂がなくて、それなりに楽しみました。(笑)若い女の人が結構入っているんですが、男が入ってきてても平気なんだよね。こっちの方が赤い顔をして入った思いがありますよ。

大須賀 水沼委員長の時に始めて蓬萊、そして桜庵、文豪が泊まったという福住、錦城館、修善寺の柳生の庄、今年の越後の龍言までいろいろ使わせていただきましたね。

水沼 講師にしても経営というようなお話が多かったですよ。私が委員長になって、違った角度からものを見て面白くないかと、当時NHKの解説委員をやっていました家城啓一という有名な先生をお呼びしたことで、幅が広がっていききました。その他、河野洋平さん等もお呼びしましたね。

成瀬 それから普段の活動は広範囲にならないので、もっと広く知ってもらおうということで、体験教室というのもやりましたね。鶴見の総持寺とか自衛隊、相撲、江戸探訪、日産村山工場、住友電工、市原刑務所……。

水沼 真冬に総持寺へ行った時は、寒いので皆靴下やら足袋やらを用意して行ったにもかかわらず素足でということ、女性もストッキングを脱いで廊下やコンクリートの渡り廊下を歩きましたよ。(笑)

成瀬 あれは私が考えたんです。物見遊山というように軽い気持ちだったんですが、いい経験でしたよ。水沼先輩は座禅の時二度も叩かれました。(笑)結構疲れましたよ。

水沼 好奇心でどうやったら叩かれるんですかとお聞きしたら、動いた時ですと言われたのでね。その体験をしたかったですよ。

—— 体験が終って靴下や靴を履いたら、足がポッポポッポしてね。寒い時には裸足でいると体が暖かくなるんだなというようなことを感じました。

成瀬 非常に印象的でしたね。

水沼 それと食事。麦飯と沢庵二切れと味噌汁が出たんだよ。残しちゃ駄目だと言われ参りました。最後にお湯で全部洗いながら飲まなくちゃいけないんですが、知らないものだからお湯を沢山入れてしまっって、いろんな味はするし苦しいし。(笑)

大須賀 私は光ファイバーのハイテク技術を見た住友電工が印象的でした。

小池 自衛隊の時は湾岸戦争が始まってしまっ

石井 計画している時はそんな状態じゃなかったんですよ。体験入隊したらそのまま連れていかれるんじゃないかといううな心配も出たりしましてね。(笑)

小池 戦車とか隊員の生活を見るということはなかなかできないですからね。迫力というか臨場感がありますね。まさに見て触れてみたという感慨がありました。

成瀬 ヘリコプターで東京湾岸地区を上から見ようという企画もあったよね。

小池 そうそう、雨が降ってお流れになってしまっ、御台場見学になっちゃったんですよ。高島先生も一緒に、すごく面白かった。

成瀬 とにかく新しい所を見てやろうということで、幕張メッセにも行きましたね。

小池 かえって地元の方が地元のことを知らないの、アークヒルズに全日空が始めてオープンした時、体験しなくては人に話すこともできないからということ泊まったんですよ。大勢で泊まるのかなと思っていたら一人一部屋。あれはちょっと勿体なかったな。一人で電話をかけたかったですよ。(笑)

成瀬 でもそんなこともなければ地元泊まるなんて事もない訳ですから、絶対いい体験だったと思いますよ。

小沼 喜ばれましたよ、あれは！(笑)

成瀬 地元をぐるぐる回っていると、サンエー・クラブのピーアールにもなるんだよね。

石井 忠臣蔵を回ろうという企画もたてましたが、泉岳寺か



ら本所松坂町までだとスパンが長くなっちゃうし、実際には史跡がないものが多いんで、紀伊国屋文左衛門とか芭蕉とかを絡ませて歩きましたね。普段は車で通っても自分の足で歩くことがないですから、意外な発見もあったりで結構面白かったんじゃないでしょうかね。

水沼 江戸資料館というのも一見の価値がありましたね。それと市原交通刑務所も思い出深いですよ。隣がゴルフ場で、入所している人がゴルフやりたいなあというような顔で見ているという。(笑)

大須賀 これだけ時代背景が変わり若い方も入ってきているので、そのようなことも考慮して、勉強会等積極的にやるというんじゃないでしょうか。

椎名 私は企画委員を丸三年やらせてもらっています、斬新な企画というのはいろいろご批判もあってやりにくいという部分はあるんですけども、冒険的企画も続けていった方がいいんじゃないかと思えますね。

小池 内容が石井さんに変わられてから、異色というか過激というか面白いものに変わってきていると思うんですが。(笑)

石井 確かに先輩方のお話を聞いていますと、人脈の広さ等非常に羨ましいですね。どうもその辺が貧困なもので、そこをカバーするために奇をてらった企画などが多くなったようです。自分でやったものではフリーターキングと体験教室をドッキングさせた、クラシックの室内四重奏を聞くというのが比較的良好だったんじゃないかと思えます。

司会 フリーターキングというのは誰が考えたんですかね。

水沼 あれは講師を呼ぶより身近な講師がいるじゃないかというところで、サンエーの間を発表者という形で気楽に話をしてもらおうと始めたんだよね。自分がやっている商売を話すことによって他の商売が分るし、その中での経営戦略など勉強になれば営業に生かすこともできる。その後質問もできるよということが発端だったと思います。

司会 なかなか面白い企画ですよ。赤坂と青山、麻布地区の若手経営者の失敗談、成功談を聞けるということはなかなかないことですから。

成瀬 それを話せるというのは会の中身の良さで、建前だけの付き合いだとそうはいきません。私も最初の頃でしたから結構勇気がいりましたよ。初代会長の花沢さんがよくおっしゃっていたことで『サンエー・クラブここにあり』という、ライフ活動というかピーアール活動プラス幅広い体験をしていきたいですね。

小池 花沢さんは奉仕の精神を大切にされていて、献血や募金など継続的なことをしなくてはいけないとおっしゃってました。

石井 ピーアールを奉仕活動に絡めてできれば理想的ですね。ない知恵を絞り、その辺のことを真剣に考えていきたいですね。

水沼 若い世代の人達が新しいものにチャレンジして、前向きにいろいろな知恵を出し活動している姿は本当に素晴らしいことだと思います。そんな活動を通して感じたことは、私がお長の時に思い切った役員定年制ということがありました。ものすごく反対され叩かれ嫌われましたが、誰かがどこかでや



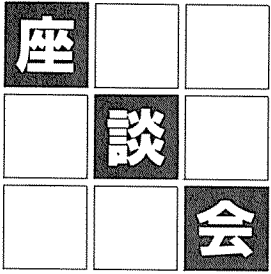
らなければいけないことだったんですよ。いつまでも上がいた
んでは変わらない。でもこうやって新しい人が入ってきてやり
方も変わり、それが生きてきてますね。やっぱり嫌われても思
い切ってやっていてよかったなと思います。

全員 そうですね。

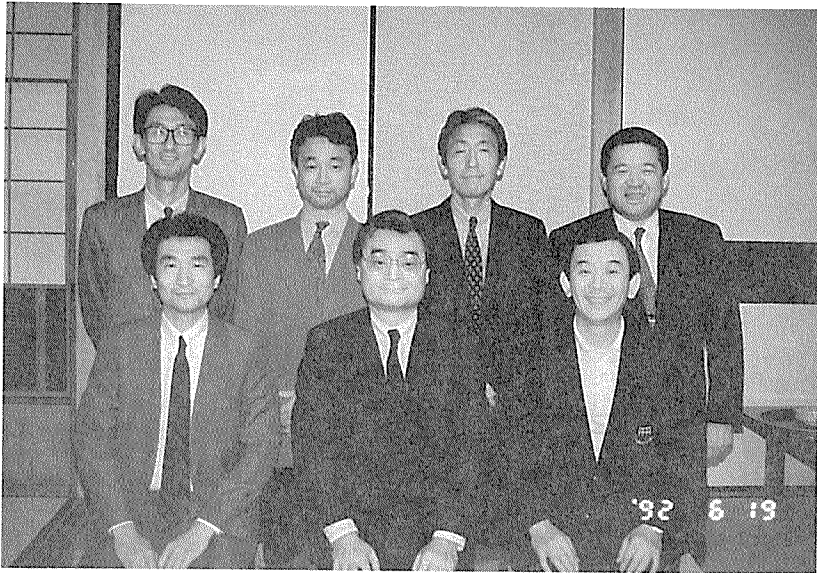
小池 先程体験教室の話が出ましたが、中には出席率の悪い
時もあるんですよ。たいしたことないなと思っても行ってみる
とこれがけっこう面白いんですよ。我々もその日はめいっば
い楽しんでらおうという姿勢でいるんですが……。

石井 私が入って八年位になりますが、以前のお話を伺い、
もう一度企画のスタンスを見直し、より質の高いものにしてい
かなくてはいけないと考えさせられました。今日のお話を今
後生かしていかなければと思っています。

SAN - EI • CLUB



厚生委員会



出席者(敬称略)

伊		中		北		岩
藤	田	島	筒	村	落	上
	浦	孝	井	昌	合	義
努		俊	克	弘	光	明
	彰		夫		治	

落合 厚生委員会の現在までの流れを簡単に紹介します。二十年前、初代花沢会長の時に、藤森副会長が企画委員会、事業委員会、親睦委員会を担当されました。二代目の藤森会長の時に、親睦委員会から厚生委員会という名称に変わり、大塚副会長が厚生委員会、企画事業委員会を担当され、私が委員長、筒井さんが副委員長を務めました。次に三代目権津会長の時は私が副会長、委員長に筒井さん、そして副委員長は平成二年五月に亡くなられました井上紘一さんでした。四代目は水沼会長、筒井副会長、井上委員長と田浦副委員長、五代目となられる筒井会長の時は委員長と副委員長は四代目から継続され、六代目に当たる現在は山田会長で、副会長であった井上さんの亡き後を田浦さんが引継がれました。そして委員長は中島さん、副委員長は岩上さんであります。我々はこのサンエー・クラブの親睦を主旨としており、現在まで多彩な親睦会を催し、横のつながりを深めてまいりました。

——五十一年の大丹波川で署合同のマス釣り大会を行ったのが始まりでしたね。たしか八王子インター近くで署員の方と待ち合わせしていて渋滞に合い待ち合わせ時間におくれ、中止になったのではと青い顔をされていたのがとても印象的でしたね。

田浦 私は東京湾でのハゼ釣り大会の幹事をしてきましたが、一隻借り切りで、しかも三十五名以上という条件がありました。この人数集めに苦労しましたね。ひどく寒い日があり、その時に限って日本酒を積むのを忘れてしまい、船頭さんに岸に着けてくれと頼み込んで日本酒を買に行ったら、「そこまでする」

という一幕もありました。(笑) 女性も気軽に釣れるという利点があったんですが、その反面金額が張るということもあり、九回で打ち切らざるをえなくなりました。

筒井 家族が喜びましたよ。娘なんかまた行きたいなあなんて今でも言ってますから。

落合 だんだん海が汚れてきて釣れなくなってますね。でもうちの娘なんか一度うなぎを釣って、大物賞で藤森会長がウイスキーを賞品に出してくれたんですよ。それを僕が飲んでしまつて、今だにウイスキーを取られたって言われていますよ。(笑)

田浦 船宿に「今年は釣れますか」って聞くと、必ず「沢山釣れますよ」って言うんだよね。新聞なんか見るとぜんぜん釣れてないって書いてあるのよね。

落合 小雨が降ると屋根になるようにシートを張るんだけど、皆ビショビショになってね。それでも九年間続いたんだから楽しい催し物だったということですよ。

筒井 厚生の実業としては釣りが上位ランクに入ってるんじゃないかな。私は海外研修旅行が心に残ってますね。昭和五十五年にアメリカ西海岸、六十年には中国に行きましたよね。上海、蘇州、南京、北京と回りましたが、飛行機が怖かったですね。外国の中古の飛行機で錆びててね。いつ落ちるかど皆心中穏やかじゃなかったというようなこともありましたね。私としては実りある!? 研修旅行でした。(笑)

落合 納涼大会も沢山開催しましたね。第一回が五十二年八月二十八日、白金迎賓館。二回目からは八芳園で六回迄行いました。八芳園では毎年各地のお祭りの催しがあり、蛸を放して



あつたり金魚すくいがあつたりで、子供達がとても喜びましたね。将来この納涼大会がバーベキュー大会と変わっていくんですが……。

筒井 そうなんだよね。会費が高いというのがネックで、会費の頭を押さえていたので年々料理の質が落ちてきて、そのうちに人気もなくなってきちゃったんですよ。

田浦 そして初代会長の花沢さんが、お金をかけないで楽しめるものをということでバーベキューになったんですよ。第一回はたしか六十年、広尾羽沢ガーデンでしたね。二回目からは花沢さんのお言葉を守り厚生でセッティングして、アークヒルズバーベキューガーデンで六回迄やっています。

秋元 ロケーションもすごくいいし、なかなか好評ですね。

伊藤 僕は昨年からお手伝いさせていたんですが、こんなに作って本当に食べてもらえるのかななんて不安に思いながら、慣れない包丁をもって仕込みました。でも殆ど残らずにはけてしまい、子供達も夜遅く迄ゲームをしたり食べたりして満足そうでしたね。

落合 署對抗ボーリング大会は五十五年から現在まで続けますが、今のところサンエーが勝っていますね。

北村 前回初めて出席したんですが、署の方達も和き合い合いとプレーされて、私も楽しい時間を過ごさせてもらいました。スポーツをやりながらだと初めてでも楽に皆さんの間に入る事ができるので、最初の取っ付きとしてはベストだったんじゃないかと思ってます。

中島 亡くなられた井上委員長が印象的でしたね。あの喜び

ようだったらないんで、この人とやっていたら本当に楽しいなって感じましたね。ああいう楽しみ方っていうのは厚生委員会の模範であったのかなって。

秋元 真髓といつかんじですな。

田浦 でもあの人一人で楽しんで、全然手伝わない。(笑)

中島 そうそう、バーベキューの時も本人は一人で楽しんで手伝いはしない。

田浦 手伝わないのが主義だもの。(笑)

筒井 ボウリングについては、私はいつもSさんが勝っている記憶が残っているよ。非常に博才に長えているというかね。

岩上 そうですね、ボウリングはSさん。(笑)実は私は昔真面目にボウリングをやったことがございまして、マイボール、マイシューズで参加したんですがとんでもない目に会いました。実は少し太りまして自分の指が入らないというような状態が起こりまして。(爆笑)

落合 二十数年前にはいかに自分の指が細かったのかということですね。次にクリスマスパーティーを五十六年から六回連続、赤坂プリンスで行いました。

田浦 伝手があつて頼んだ売れる前のビージーフォーが受けましたね。

落合 予算がないもんでウイスキーを持込みにしてもらったり、幹事の皆にはプレゼントを出してもらったり。でも一年の締め括りのイベントとしては暖かい感じのパーティーでしたな。

筒井 今は子供達も大きくなって、家族一緒という出し物が少なくなってきたよな。

落合 一度家族なしでダンスパーティーにしようかということになって、出席者を募ったら女性一人に男性九人位になっちゃって企画倒れになりました。(笑)野球大会も神宮で一度だけ署対抗でやりましたね。我々は八対二で完敗。最後に山田会長がピッチャーゴロを打ち、一塁のベース手前三メートルでお腹から滑り込み(転び)間に合わずゲームセット。(笑)

筒井 その後グラウンドが取れないということで一回で終わってしまったんだよね。

田浦 いえいえ、勝てないということがあつたんです。(笑)

落合 五十九年には隅田川の花火大会を見に行きましたよな。

筒井 あれは良かったよ。

田浦 でも待ち時間が長く、三時間位待たされたね。

落合 花火の上る頃にはすっかり皆できあがつてしまつて。

真上の花火を見るんで首が疲れたよな。六十二年十月に初めてのテニス大会を行い、現在まで四回開催してきました。

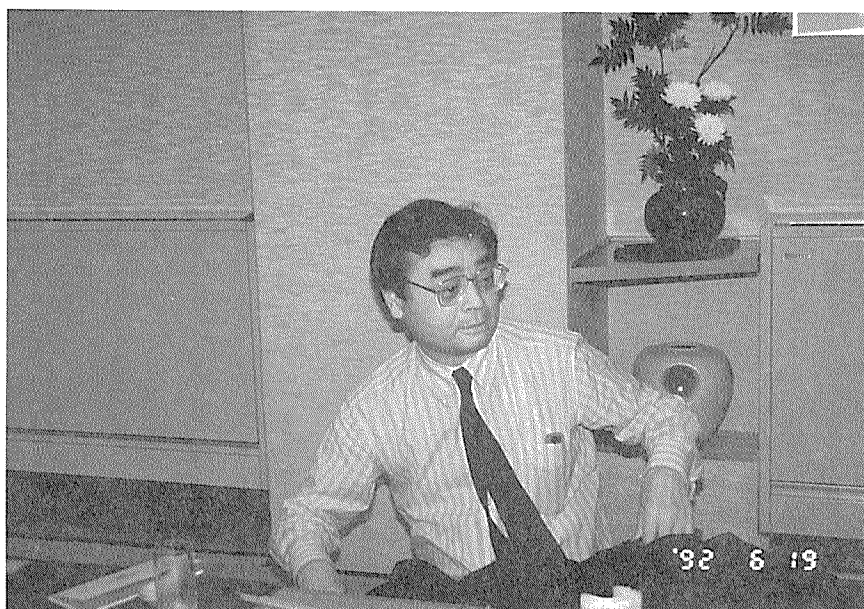
中島 時間の中で多くのポイントを獲得した人の勝ちという、変わった形式でしたな。

筒井 会員の奥さんが参加しましたよ。

落合 結構夫婦で楽しめますね。

中島 他には参加しなくてもテニスは是非というような奥さんもいました。自分の好きな催しを選べるので、幅広い会員の方が参加されているということですよな。

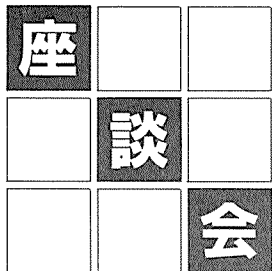
落合 そうですね。今年の十月にゴルフの六十回記念大会を予定していることですが、岩上代表幹事にそのことについてお話しをお願いします。



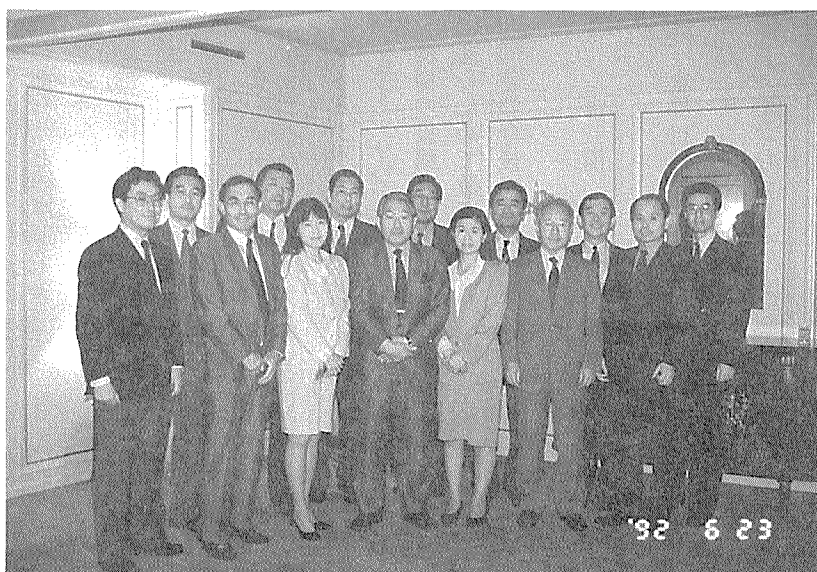
岩上 年々脈々と続いているゴルフコンペが、厚生を代表する事業だと私は自負しております。ひとくちに六十回を迎えるといいますが、平均年四回で十五年という、サンエー二十年の歴史に沿う長い歴史がございます。年四回というペースで、二回がウィークデイ、残り二回が日曜日ということですが、他のお付き合い等からか最近出席率が落ちてきており、なかなか参加人数を確保するのが大変でございます。この反面サンエーの方はお金持ちが多いので?!、幹事としましては有難いことにコース取りを楽させていただきました。まあこの六十回を盛大に行いたいということでございますので、よろしくお願い致します。

落合 この事業を成功させるよう皆様のご協力をお願いして、今日は終了したいと思います。有難うございました。

SAN - EI · CLUB



会 員 委 員 報 告 会



出席者(敬称略)

柴	落	竹	来	鈴	加	椎	荒	入	新	関	市	齐
崎	藤	合	花	代	木	谷	津	木	倉	保	河	藤
英	竹	光	勝	秀	茂	忠	珠	珠	國	映	敬	豐
一	治	忠	彦	世	知	三	隆	美	彦	一	治	彦

私は発会から広報委員長を、続いてその担当の副会長を四年務めさせていただきました。顧みますと、当時私に会報誌刊行のお役目があったようです。あれから早や二十年も経ち、今更ながら懐かしく思い出されます。会報誌を創ろうとの声があった時に私は迷わず『サンエーコンフィデンシャル』という誌名を提案しました。というのは当時ベトナム戦争報道で活躍した国際ジャーナリスト大森実氏が私の事務所『大森実コンフィデンシャル』という国際情報誌を格好よく創刊、これに瀬島龍三氏らが両手を上げて応援していました。そのスタイルをそのままなぞらえさせてもらった次第です。当時コンフィデンシャルという出版物は日本では珍しく、サンエー・クラブの会報誌として最先端のネーミングだったと思います。サンエーコンフィデンシャルはいうまでもなく会員の皆様の投稿のお力によるもので、現在刊行の方々の御努力にはあらためて敬意を表します。創刊にたずさわったOBとして、同誌の今後の御発展を祈ってやみません。

ポイントサービス 吉田 眞 三

椎津 始めの頃の署のインタビュアーは、全部自前でやってましたから大変苦労しましたね。テープで録音してそれを起こすのに、とてもじゃないけどハンパな時間じゃできないので、そのために三〜四日休みをとってやりました。

関 椎津さんがきちっとやられていたのが印象に残っていますよ。

椎津 活字になるということは大変なことで、その上外部に



も出るということになると、誤字があったりしちやいけないう随分神経も使いました。でも自分自身とっても勉強になりました。何とか新機軸をそこへ持ってこようということで、あれやこれや皆さんと話し合っただけで済ませたい。言い出しっぺになると「じゃやってよ」ってことになり当初随分手伝いました。吉田さんがほとんど一人で編集をされていたので、時々原稿が集まらないという状態にいらされていた時もありましたね。だから途中でおぼろげにされると後が続かないもので、あの時のメンバー皆で気を使ったよね。

柴崎 『愛妻記』とか『おやじ万歳』とか椎津さんの発案で始まったんだけど、苦労されましたね。

椎津 でもね、インタビュアーの特権で落合さんの美人の奥さんに、ご主人のいない間に一時間もお話できるとか、そういう副産物もあります。お陰様でいろいろな方と接触でき大変よかったです。やっばりうちに内助の功と言うか奥さん方の素晴らしさ、やっばりこれでもっているんだと、そういう気持ち新たにさせられたことを覚えていきますよ。

柴崎 初代会長の花沢さんのお嬢さんが、当時『タウン情報』というお店紹介の記事を載せたんだけど……。結構お金使っただけで、皆花沢さんが自腹を切ってくれましたよね。

椎津 そうそう、まだ東洋英和の女学生でね。サンエーから金一封あげたんでしたっけ？

柴崎 いや、取材費は出してないと思ったけど。だからお父さんが出してたみたいですけど。(笑)でも御礼はしたんだけど全然合わないよ、御礼だけじゃ。

関 あの『タウン情報』は花沢さんの発案だったんですよ。(笑)それで段々発言が控目になってね。(笑)

竹花 『会員リレー』も花沢さんですね。あれもつながっていますよね。

柴崎 朝食会は市河さんが言い出しっぺでしたね。

市河 朝食会は五十五年四月の第一火曜日に始まり、十二年間続いていますよ。初めがヒルトン(現キャピタル東急ホテル)で、二回目からオークラになったんです。それだけはよくやってるなって自分なりに思いますね。

柴崎 市河さんの『海外短信』は結構いい資料が集まってきましたね。CNNに先越されたこともあったけど、でも新聞の記事になってないようなことがありましたからね。

市河 あれはアメリカの星条旗新聞という軍の新聞から抜粋したんですよ。いわゆるアメリカから見たニュースだから、皮肉っぽいことも書いてある新聞でした。

関 市河さんの案で、潜水艦とかユニークな企画があったね。市河 潜水艦は駄目だったけどミッドウェイに乗せてくれて、全部案内してくれたよ。ワインバーガーの仲間でアメリカの海軍代表の人が私の友人で「次は何をやりたいか？」って聞かれて「次は潜水艦に乗りたくない」って言ったの。そしたら「お前はバカだな。アメリカ合衆国の潜水艦には窓がないんだよ」って(笑)それで止めたの。

椎津 吉田さんが副会長で、初代広報委員長ってどなたですか？

落合 副会長が吉田さんで、広報委員長が小達さん。その時



幹事は椎津さん、大塚さん、尾関さん、新田さん、関さん、大谷さん。次の第七回総会の時に吉田さんが副会長、関さんが委員長。その時に市河さんが入ってきたですよ。その後、藤森さんの時に、関さんが委員長、柴崎さんが副委員長で、椎津さん、大塚さん、大谷さん、新田さん、市河さん……。十周年に椎津さんが表彰状を戴いて、吉田さんがお止めになったんです。

関 基本を作ったから一人で歩めということですね。吉田さんが『タウン情報』という形でやってきて、最近はかなり違う方向にいらっていますが、それは時代の流れで変わってもいいんじゃないかという気もします。懐かしいと思うのは十周年の記念誌ね。ちょうど五月の連休の時、皆で集まって「連休だというのに」とブーブー言ってるのに、「やろうよ」って皆が張切ってるね。

椎津 出来上ったら今井さんが「こんなみっともないのダメだ」って、全部やり直し。

荒木 あの時誌上講演が載ってましたね。

椎津 国税局の法人税課長に来てもらいました。法人会でも見えること少ないでしょうに、ましてや青年部なんかには講演に来るなんてとても考えられなかったことでしたよね。それで特別企画として、マルサの人達の座談会をやってね。ちょうど『マルサの女』が当たった時で、あれは本当に秀逸でした。

—— そうそう非常に珍しい企画だと評判になりましたよね。

椎津 十周年の話では是非皆さんに聞いていただきたいんですが……。昔大村さんという署長がおられたんですが、十周年の何年か前に亡くなられたんです。式が終って記念品を持っ

てお線香をあげに伺い、奥さんがお話しているうちに涙されましてね。ご着任になった時のインタビューを後日送ってあげましたら、お礼状に「長年連れ添ってききましたが、私の知らない主人の側面を教えてくださいました」と大変喜ばれました。この時ほどコンフィデンシャルを作ってきて本当に良かったなと思えました。

—— 税務署の署長さんは記事になることもあるでしょうが、
—— だいたい固い話だから。

—— コンフィデンシャルは独特でアットホーム的な話も入りますからね。竹花さんが入られたのはいつ頃だったですか？

竹花 十周年の直前でした。挨拶に呼ばれた時がたまたま委員会だったんです。どうしようかと思っていたら大谷さんから呼ばれ、そのまま広報委員会に入っちゃったんです。とにかく文を書いたりするのが一番苦手でして、大丈夫かなと思いつつも皆さん暖かく、しかも椎津さんという大先輩もいて。下手は下手なりに文章を書き、それが会報に載ったという事はやっぱり嬉しいですね。ただ会費だけ納めている会員さんも沢山いますが、僕はこの広報委員会に入って勉強させていただき感謝しています。

椎津 自分の書いたものが活字になった時は、本当に快感ですな。

—— 今、竹花さんが言ったように、役職をやるということは何目に見えないプラスがありますよね。積極的になってどんどんやっていくといい体験ができると思います。

椎津 そうですよ。そんな意味もありまして、私が会長の時、

副会長とか委員長とか皆で体験しようじゃないかということになってね。

—— 椎津さんが止められた後も、非常にうまく体験させて
—— いただいています。

荒木 私の場合、書く習慣はサンエー・クラブに入ってから身につきました。今では感じたことを書き留めています。例えばばきれいな女の人に会うと、文章にしちゃったり。勿論女房には内緒ですが。(笑) これは精神財産ですね。

椎津 荒木さんが登場してきたのが五十九年九月でしたね。
来代さんは区政だよりで大分登場していただきましたが。

来代 その前に国際文化会館でサンエー・クラブを作る準備会というところから、社長の代理という形で参加させてもらってるんです。今僕が書かせてもらっていることは有難いことなんです。それ以上に初代花沢会長始め、いろんな異業種の人と友達になれたということが、僕にとって二十年の歴史の中で一番の財産だと思っています。卒業間近に幹事というお役目を戴き、卒業してもいいお付き合いをしたいと思っています。

柴崎 卒業してもそれで終りということではないですからね。
新保さんはここ二三年会計をやっているんですね。

新保 いつもお金がなくてピーピーして、こういう会合の度に皆さんから会費を徴収するのが心苦しいのですが……。これも予算の関係上仕方ありません。私が広報に入って五年位になりますが、いつの間にか副委員長という役を仰せ付かってやっています。諸先輩方の今までの苦勞話を聞いて、我々もこれからもっと頑張らなくてはと心新たに頑張っていきます。

加賀谷 六十年に市河さんのお世話で入りました。住いが四街道でしかも女房がずっと思っておりました、殆ど何の役にも立っていなかった訳なんです。しばらく除籍という形でありましたが、やっとここへ来て目鼻も付いてきましたので、復帰させていただきました。皆さんとお会いして勉強になることが多いですし、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思えますので、ひとつよろしく願います。

—— 広報委員会の花、入倉さんは昨年からでしたよね。

入倉 昨年の十月に始めて広報委員会の朝食会に参加させていただき、それから広報委員会に在籍しております。私自身文筆が好きだから入ったという訳ではなく、なんとなく引き込まれて入ってしまったという形で、始めから『体験教室』と『私のビジネス』の二本を頼まれた時は啞然としてしまいました。

(笑)

斉藤(豊) うちの酒屋で、同業者のお付き合いで夜遊びばかりやってるもんで、朝早く違う世界の人とお会いするのもいいんじゃないかと入りました。ちょうど酒税改正等で大変忙しい時期に、いきなり『私のビジネス』を書いてくれと言われて、後で読み返して非常に恥ずかしかったという思い出だけが残っています。校正に立ち合わせて戴いた時、文章を書くということとは性格が出るんだなとつくづく思いました。そういう意味で、いろんな人を見せて戴くことによって勉強になりました。

斉藤(竹) 現在委員長をやらせていただいています。まだ入会して五、六年しか経っておりません。たまたま私が入った時、総会に出席して柴崎さんにお会いしたんですよ。サイトー印刷

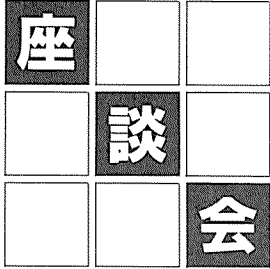
という名刺を見てちょうどいいやってことで、第一志望も第二志望もないままその場で決まってしまったということでした。どうも印刷という仕事柄、原稿を書くのが得意なように思われていますが、人の原稿を見て作るだけで、全く自分の原稿というのを書いたことがなかったんです。始めは『おやじ万歳』という原稿を書いて出しました。たまたま初代会長の花沢さんと近所で、おやじ同士知っていたので「斉藤さん、あれ読んでよ」と言われてましてね。その時自分で書いたものを読んでもらったという喜びを感じましたね。今、柴崎さんの熱意に負けて、断り続けていた委員長になり、よかったのか苦労の始まりだったのか……。

柴崎 でも斉藤さんが来てから僕と何人かの人でやってた頃より厚くなり、お陰様で編集後記や新しい記事もできました。

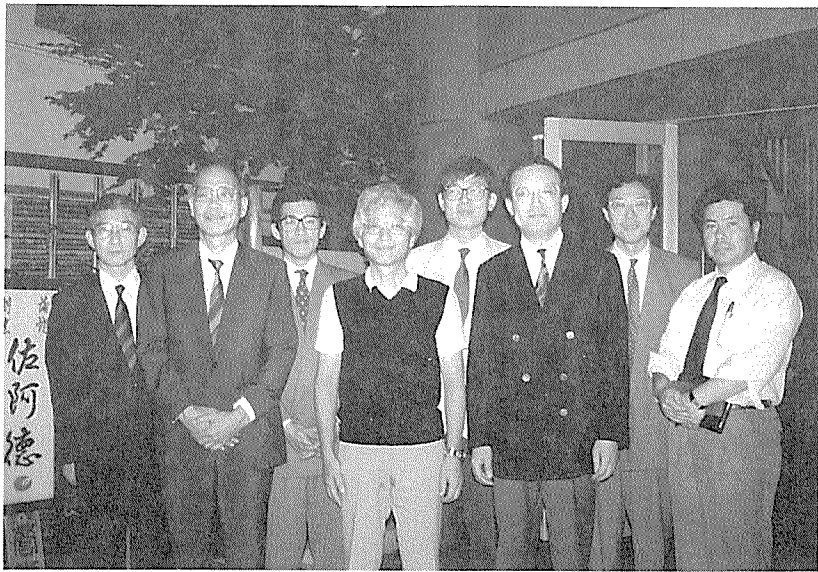
落合 関さんが副会長の時からですから十二、三年になりました。サンエー・クラブの全委員会に所属しまして、その中で一番知的で正直で真面目な会だと私は自負しています。私は江戸っ子で粗雑な面があるんで、この広報委員会に入って喋ることも一応注意するようになったし、その上手紙だとかそういう類のものが苦手なんで、特に勉強させていただきました。

柴崎 皆さんに広報委員会のいろいろなエピソードをお聞きしましたが、この二十周年記念誌も、思い出に残るものにしたいですね。

SAN - EI · CLUB



総務委員会

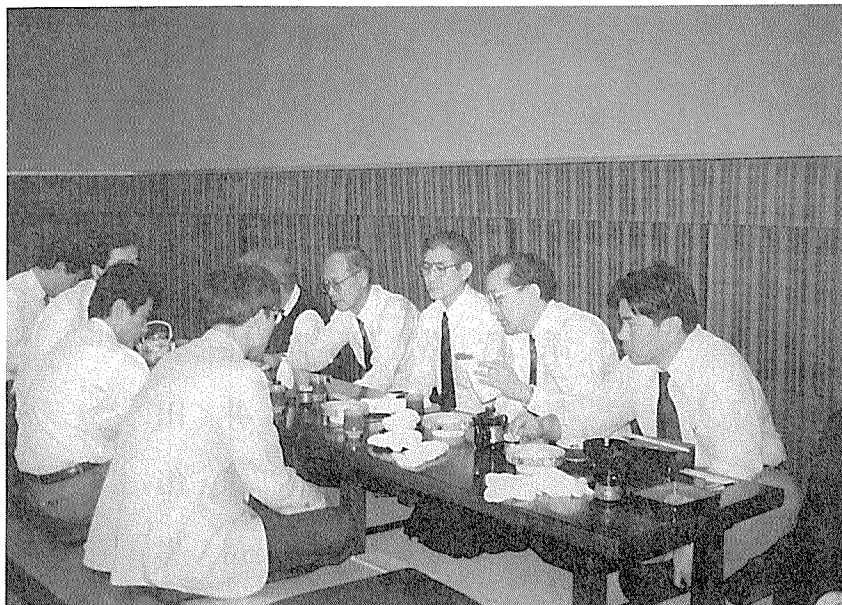


出席者(敬称略)

大須賀	添野	菅野	佐藤	松山	青野	光井	村田
純也	英	敬一	太加之	雄一郎	信次	浄司	彰男

——まず、発足時のころのお話を伺います。

添野 私は発足時から十年間総務をやりました。サンエー・クラブができた発端は、麻布法人会に青年部を作ろうということになり、各支部から一番若い人を選んで発起人になり、十人四〇五名で知恵を絞って青年部の方向性を決めていったという記憶が残っています。名称も麻布法人会青年部では個性がないので、それぞれが考えて出し合ったんです。赤坂青野総本舗の青野啓太郎さんが『サンエー・クラブ』を案として出されたんです。青野さんはすごいなって思っていましたら、その名前を付けたのは実は青野さんのお父さんだったという裏話をお聞きしましたね。竹田専務理事（当時専務局長）を始め皆がそれでいこうということになったんです。その後『サンエイ』なのか『サンエー』なのかということになり、『サンエー・クラブ』に統一されたんですよ。初代の会長に花沢さん、亡くなられた夏目雅子さんのお父さんの小達宗一さんを副会長。サンエー・クラブの会員の中には新会社もあり、反対に潰れていく会社もある訳ですよ。その中で小達さんが「お互い会員だから助け合おうよ」と言われまして、ある人が銀行からお金を借りた時、ある方の提案で皆保証人になろうよということになったんです。そうしたら小達さんが怒りましてね。「金銭的な補助をするんじゃないか、皆の知識とか気持を持寄り、互いに勉強する会なんではないか」と言われたんです。そんなエピソードもあり、サンエー・クラブの意義や方向性を、あの頃は何をするのも会員全員が知恵を出し、一生懸命努力し、一つ一つ積み重ねて作り上げていきました。またサンエーは佐藤さんを始め二代目三代



目さんが多く、私や三恵製菓の雨宮さんなどはサラリーマンで考え方のギャップ等があり、その辺の定義付けというのが論議されましてね。それで麻布税務署管内のサラリーマンだろうが二代目であろうが、次の世代を背負っていく集まりなんだというのを主旨に置き、現在までできたということです。

——サンエーのマークは誰が考え出されたんですか？

添野 花沢会長がマークを作ろうという提案をされ、Aを変化させた四〇五案を持ってこられました。現在のシンボルマークを総会の流れで決めたように記憶しています。もう一つはやはり花沢さんの提案で私版誌を作ろうということになったんですが、もう既に予算は組まれ動き出している時で、製作費を予算に組み込ませることはできないという状態だったんですね。

花沢会長は「そうじゃない有意義な行事をやる時にはお金は掛かるものだ。金を集めてくるのが総務の仕事なんだから、金の工面は自分でやれ」と言われましたね。それで苦肉の作でやったのが、コンフィデンシャルに広告を載せるということでした。テレビ朝日も始めからお願いしたんですが、発行部数も百部位で百八万円位というんですからさういふ無理な話ですよ。そこで山崎さんのご協力もあり、広告ということだけでなく地元に戻元するという意味も込めて出させていただきました。またポイントサービスの吉田さんが取材、編集、校正等の料金を一切無料で協力してくれ大変助かりました。親法人会から束縛されず、税金や税務のことから離れたことも自由に活動してましたので、そんなことから国税局管内の青年部としては、サンエー・クラブは非常にユニークだという評価を得られた一つの

要因です。時には行過ぎて怒られたこともあったよ。直接国税庁長官にインタビュの申し込みをした時は、税務署や法人会だけじゃなく東法連などでも問題になったよ。掛け離れたやり方をやってきたかもしれないけど、既成概念にとらわれない新しいものを求めて、我々がどうあるべきかという基礎作りだったんだから、それが却って良かったんじゃないだろうかと思えますね。

——佐藤さんは十年目からですよ。

佐藤 添野さんが渉外の副会長になられ、空気が出たのでやってくれないかということ、以来十二年間総務の副会長をやらせていただきました。

添野 佐藤さんを選んだ理由は、会社に電話すると必ずいるんですよ。これは適任者だということですね。(笑)

佐藤 添野さんは物凄く几帳面な人ですが、私はというと大変ずぼら。それが総務の副会長を十二年間やれたというのは、他の人に権限を委譲したからでしょうね。自分が副会長になってから総務の委員会というのはあくまで少数精鋭で、総務の委員であるならば何かひとつ責任を持つよう、そして委員長、副委員長にもそれぞれ自分の単独の仕事というものを与えてきたんです。なぜそれをやってきたかという、私が楽をできるから、ただそれだけの話なんですけどね。

添野 私がやった時には、企業で例えれば個人商店だった訳ですよ。佐藤さんの時代は、一歩前進して組織で動くという成長があったんですね。

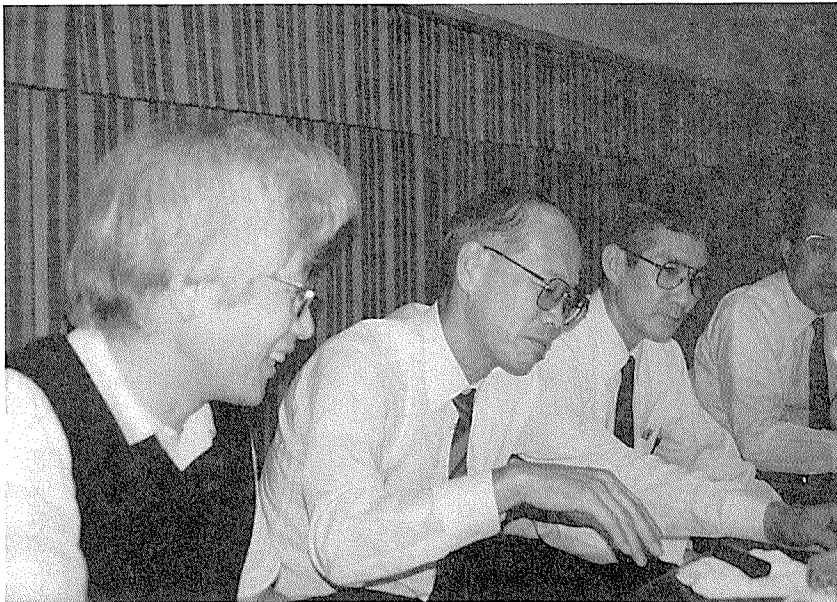
佐藤 それだけ人材が育ってきたということでしょうね。だ

から私は苦勞したことがないですね。下の人はきちっとやってくれたり、相談事があれば添野さんが控えていてくれたしね。振り返ってみると、総務の仕事は添野さんがおっしゃったように裏方で、私のやってきた仕事はサンエー・クラブの潤滑油の役目を果たしてきたということですね。

—— 大須賀さんのころはいかがでしたか。

大須賀 添野先輩や佐藤さんが土台作りをされていたので、苦勞というものは何もありませんでした。総務の一番の仕事は通常総会をうまく乗り切っていく、次の年への流れを作っていくことです。

青野 私は昨年から総務担当の副会長をさせていただいています。総務に関する知識や経験は全くないんで、前任の佐藤さんにお願いをしまして、総会や幹事会の手順を事細かに書いていただき、それに忠実にこの一年間はやってきました。総務委員会の過去の歴史を調べていきますと、議事録等が紛失されており明確な資料となるものがありません。将来のためにも今後はキチッと残しておくことが必要であろうということで実行しております。例えば幹事会の議事録等は総務委員会が執る、或いは総会の議事録は必ず残し、また各委員会の出席者名と議事録を提出していただく、それがこれからの全ての原本になると思います。今のところ順調に進み、あらゆる資料が総務委員会の方に集まってくるというような段取りが付いたようです。それによって行事や委員会の日がバッティングするといったことのない交通整理的役割も、できるようになりました。又、特に総務委員会のメンバーを増やしました。というのは横のつなが



りも大切なことなので、仲間意識とかサンエーに対する新しいメンバーの愛着といったようなものが出るような配慮をやってきたつもりです。ただ先程のお話通り縁の下の力持ち的存在です。今後落合二十周年実行委員長との連係プレーをとりながら、不確定な会員の名簿を整理して、はっきりしたものを出していきたいと考えています。またサンエーの活性化というのは先ず幹事会の活性化であるということで、昨年度から参加した人には必ず一言戴くというような形でやっています。二時間の幹事会ですが皆しつかりと発言され、中身の濃い幹事会となっています。

菅野 いつ頃か定かではないんですが、佐藤さんの方からこういう情報を持ってきてくれたとか、こういった書類は全部とつといてほしいというような声が掛かるようになり、いつのまにか総務委員長という肩書きをいただいていたんです。私は会合の出席率が良かったんで、それだけで白羽の矢は当たったんじゃないかと思っています。佐藤さんは全て頭に入っている人ですから、その人からとにかく俺の手足になっていれば出来るよと言われ、自信がありませんでしたが何とか頑張っています。

村田 私は西沢さんから会計を引継ぎました。会計の前任者は横溝さん、次に西沢さんで、無我夢中で大事な会計をお預かりしてようやく一年が経ちました。青野副会長からもいろいろな面で勉強させていただきました。

光井 総務というのは雑務が多いので私にできるかなと思っ
ていたんですが、入ってみると青野さんがおっしゃったように、サンエー全体をバランスよく見て行かう仕事で、入る前とは少し

印象が違ってきています。まだ知らないことが多いので、段取りなど全て先輩に取って戴き、行けば良いようになっていくと、非常に申し訳ない状態です。今後は少しでも役にたてるようになっていけるんじゃないかと思っています。

松山 私は光井さんと一緒に入った新入会員なんですけど、佐藤さんと青野さんに「とにかく休まずに出てこい」と言われまして、一応皆勤のつもりで出てきました。お蔭でまだ一年も経っていないんですが、サンエーの輪郭が分かってきました。

菅野 サンエー・クラブの屋台骨を背負っている縁の下の力持ち的存在なんですけど、先程青野副会長もおっしゃったように、少数で能力のある人間がやるという以外に、仲間意識を持つようになつてから楽しいですし、縁の下の力持ち的な喜びを皆で分かち合っていきたいと思っています。

添野 これだけ隆盛になり、最初の気持が脈々と継承されてきているのは本当に素晴らしいなと思います。今後内容の濃い活動をされ、三十年、四十年を目指して、バトンをうまく送ってほしいですね。

サンエー・クラブの創立二十周年おめでとうございます。

横 溝 順 市

十周年記念誌を開き懐かしい皆様の写真を拝見し、早十年かと、感じた次第です。当時、私は総務委員長をしておりましたので、三年前より、記念事業費を積み立て、さらに、会員の皆様方から特別会費をいただき、親法人会よりご援助をいただき、資金は確保できる予定でしたが、なかなか会員の会費が集まり



ませんでした。そこで幹事会に掛けましたところ、幹事の皆様方に割振りをしていただいて、お忙しい仕事の合間を何回も回って、全てを回収していただきました。おまけに私が悩んでおりました未収の通常会費も全て回収できました。任意団体としてのサンエーの組織力、行動力、ネットワークに新たためて感じました次第です。

本音で付き合うということで、大変貴重な情報元でしたが、私共の会社が解散したことにより私は会より退きましたが、現在は自宅で小さな会計事務所を行っております。

経済環境の変節の激しい折、三十周年に向かって、会のご発展と会員皆様方の事業のご発展とご健勝をお祈りしております。



サンエー・クラブ20年史年表

●1972年～1992年●

昭和四七年	一月二一日	第一回有志会合
	二九日	第一回世話人会
	二月二二日	第二回世話人会
	二〇日	第三回世話人会
昭和四八年	一月二九日	第四回世話人会
	二月一九日	第五回世話人会
	三月五日	第六回世話人会
	二六日	結成総会
	四月一六名	第一回幹事会
	五月二一日	第一回税務研修会
	六月四日	幹事会
	七月三日	第二回総会
	"	労務研修会
	一四日	研修会

- 麻布税務署 出席者一四名
「同好会の結成趣旨とその方針について」
- 東京飯店 出席者一〇名
「同好会の内容検討——結成準備」
- 狸穴そば 出席者一〇名
「同好会の結成準備、忘年会関係」
名称「サンエー・クラブ」採用
- 津つ井 出席者一四名
- 永坂更科 出席者一〇名
- ケルビン会議室 出席者一〇名 役員の編成
- ケルビン会議室 事業計画、予算案の検討
- 麻布税務署二階 会議室
林署長、阿部副署長、水野(法人1)、宇賀神副
会長、広瀬事業委員長、竹田事務局長以上八名
会員二〇名出席
花沢会長就任、副会長三名、幹事一四名
- 麻布十番更科 研修会準備計画
今後幹事会は月一回開催する事に決定
- 麻布税務署
「税金に関する基礎知識」 阿部副署長
- 青山メトロ会館 事業計画
- 麻布税務署 役員改選その他 会員数三一名
- 「求人対象と労務管理」 柏木労務研究所長
- 全法連主催夏季特別研修会
松江市公会堂 四名参加

●上野動物園でジャイアントパ
ンダがこの日初めて一般に公
開された

●アンデス山脈上空で航空機遭
難事故は全員絶望とみられて
いたが、七二日ぶりに一六人
の生存者、死んだ仲間の肉を
食べて飢えを凌いでいた

●円、変動相場制にアメリカの
圧力を受け大幅切り下げ、こ
の日の円相場は二七一円二二
銭だった

●スペインが生んだ二〇世紀美
術の巨匠パブロ・ピカソが死
去(九一歳)

●米国でウォーターゲート事件
が明るみに出る

●ハイセイコー一〇連勝
(NHK杯)

●日本不動産研究所が地価上昇
率(七二年一〇月、七三年三
月)全国平均一六%、六大都
市住宅地二%上昇

1973～1974 (昭和48～49年)

昭和四九年	一月二六日	幹事会
"	"	懇談会 (自由討議)
"	"	新年会
二二日	二二日	講演会
一月一日	一月一日	社会奉仕活動
一月五日	一月五日	忘年会
"	"	懇談会 (自由討議)
一月二日	一月二日	幹事会
"	"	懇談会 (自由討議)
二二日	二二日	幹事会
一〇月三日	一〇月三日	研修会
一三日	一三日	幹事会
九月二日	九月二日	税務研修会

- 箱根天成園
法人会役員とサンエークラブ合同
法人税取扱いの研修とあわせて新旧両世代の意
見の交流と法人会活動に対する認識をはかる
- 青山佐阿徳 事業計画
- 第一勸銀赤坂支店 金融研修会
「今後の金融情勢の見直しと事業資金の上手な
借り方」
- 国際文化会館 事業計画
- 国際文化会館 経営諸問題
- 国際文化会館 事業計画
- 国際文化会館 求人対象
- 国際文化会館 事業計画
- 青山佐阿徳
長い一年の反省と未来への抱負を話しあう
- 港区福祉事務所 歳末助け合い運動
会員が余剰品を持ち寄り寄贈
- 乃木会館 事業計画
- 乃木会館 税務署長を囲み質疑応答
- 乃木会館
- 虎ノ門共済会館
経済諸問題 新年賀詞交歓会

- パリ発の日航機、ハイジャック、人質一四五人、リビアで解放、犯人の内一人は国際手配中の丸岡修だった
- 金大中氏、東京で誘拐され韓国に運ばれる
- 第一次石油危機始まる
OPEC原油価格二一%引き上げ
- ジャイアントV9、王、史上三人目の三冠王になる
- オイルショック、日本中がパニック、トイレットペーパー等の買い占め騒ぎが起きる
- 日中貿易協定に調印

二月一八日	幹事会	○麻布十番クラブ 組織再編成・アンケート作成
"	調査活動	○金融機関へのアンケート調査 二六行に行い二二行より回答を得る
三月一七日	幹事会	○熱海・大観荘 事業計画
"	一泊研修会	○熱海・大観荘 「税金よもやま話」 (第一回の管外一泊研修会始まる)
四月 四日	幹事会	○麻布十番クラブ 研修会打合せ・アンケート調査報告
一八日	幹事会	○東京青山会館 総会の運営対策
"	第三回総会	○東京青山会館 事業計画・予算・規約の一部改正(会員五三名)
五月一三日	幹事会	○東京青山会館 研修会打合せ・会議問題協議
一六日	ゴルフ大会	○第一回ゴルフ大会開催 セントラルG・C (幹事 青野啓太郎)
六月一一日	幹事会	○麻布税務署 機関紙発行の件 サンエークラブのシンボルマーク決定
"	税務研修会	○麻布税務署 「決算書の見方、経営分析」 公認会計士 海老美代治
七月一五日	研修会	○麻布税務署 会議室 「アイデアPR時代」 小谷電通顧問
"	会報発行	○「サンエー・コンフィデンシャル」創刊
八月一一日	幹事会	○赤坂・重箱 事業計画(下記分)検討

- ファイリピン、ルバング島から
小野田少尉三〇年ぶりの復員
- アメリカ大リーグのハンク
アロン七五号のホームラン
ベイブルースの記録を破る
(最終的には七五五号をはな
って引退)
- 堀江謙一、小型ヨットで一人
ぼっち世界一周達成
- インドが地下核実験に成功
- 北の湖二歳2ヶ月で横綱に
昇進、異例のスピード出世
- ニクソン大統領、ウォーター
ゲート事件の責任をとり辞任
フォード副大統領が三代大
統領に昇格
- 東京丸の内にある三菱重工本
社ビルで爆弾が爆発、八名が
死亡、三七六名重軽傷を負っ
た

月日	内容	備考
九月 八日	一泊研修会	○箱根・福住「改正税法」(法人会 合同研修会)
二六日	幹事会	○青山佐阿徳 会員増強・今後の運営方針
一〇月一四日	幹事会	○麻布十番クラブ 年内行事計画の検討
"	会報発行	○コンフィデンシャル二号発行
二四日	ゴルフ大会	○第二回ゴルフ大会 茨城県セントラルG・C
一一月一四日	第一回 フリートーキング	○麻布十番クラブ「不況下の問題点と心構え」
二二月一七日	忘年会	○青山佐阿徳
"	フリートーキング	○青山佐阿徳 税務署長を囲む座談会 「税金関連の諸問題」
一八日	社会奉仕活動	○港区福祉事務所 年末助け合い運動参加
二四日	社会奉仕活動	○赤坂・青野・もちつき協力
昭和五〇年 一月二二日	幹事会	○虎ノ門共済会館 年度内の事業活動の打合せ
"	講演会	○虎ノ門共済会館 経済問題講演会 日本経済新聞社 井上毅 (法人会 賀詞交歓会)
二七日	会報発行	○コンフィデンシャル三号発行
二月 三日	フリートーキング	○麻布十番クラブ「次年度の事業活動について」
三月 三日	幹事会	○東京青山会館 会活動の反省・組織の検討

●日本と中国を結ぶ定期航空路が開設される

●「ミスター・ジャイアンツ」長嶋茂雄が引退

●大型LPGタンカー爆発、東
京湾で貨物船と衝突

●日本経済原油等の輸入物価の
急上昇で戦後初のマイナス成
長となると経済企画庁発表

●国連が国際婦人年を宣言

●アメリカ自動車業界大不況
日本車への風当たり強まる

●イギリス保守党史上初の女性
党首にマーガレット・サッチ
ャーが選ばれる

●自民党が資金集めのため、初
の政経文化パーティを大阪で
開催 会費六万円

●新幹線、岡山↑↓博多間が開
業

四月一四日	幹事会	○青山会館 総会準備
一八日	幹事会	○ポイントサービス 研修会のスケジュール検討
二二日	フリートーキング	○青山会館「会の運営について」 会員有志による「追撃、税務署にも申す」題 名とは裏腹、大変静かなしかも高度な内容の座 談会でした
二四日	研修会	○三菱銀行六本木「上手な金の借り方」 「これからの景気の見通し」 城森支店長
五月一二日	第4回総会	○青山会館 通常総会
一七日	会報発行	○コンフィデンシャル四号発行
一九日	幹事会	○青山会館 総会後の業務打合せ
六月九日	幹事会	○青山会館 本年度の会運営対策
一三日	ゴルフ大会	○第三回ゴルフ大会 横浜G・C 優勝 青野啓太郎 達成ホールインワン 青野啓太郎
二七日	幹事会	○幹事会のあり方について
七月一四日	幹事会	○青山会館 委員会報告・会員増強策
二四日	研修会	○青山会館 「経営者の税務」 白根幸寿
八月二三日	麻雀大会	○第一回麻雀大会 東伸

- ベトナム戦争三〇年にわたる死闘終る。アメリカの戦死者約六万人
- 日本が南ベトナム臨時革命政府を承認
- ステズ運河八年ぶり再会。サダト大統領中東和平の道開く
- メキシコで国際婦人年世界会議が開幕。「三八ヶ国のミス・ミセス「ミズ」が集まる
- 米・ソ宇宙船「アポロ」と「ソユーズ」が初めてドッキングに成功
- 東京下町(江戸川区)で六価クロム汚染発覚。地中の産業廃棄物が原因
- 復帰三年目の沖縄で国際海洋博が開幕。三六ヶ国が参加

九月 七日	研修会 (法人会合同)	○箱根・吉野 「税務の現状」 照沼署長 「役員報酬の上手なとり方と節税」 三上法人第一総括官
一〇月 一日	幹事会 会報発行	○青山会館 本年度後半の事業計画 ○コンフィデンシャル五号発行
一五日	座談会	○重箱 署幹部 正副会長、委員長
一七日	講演会	○麻布税務署 「人の動かし方」 牧野茂
十一月 八日	フリートーキング	○「各社の越年対策と不況時の心構えについて」
二二日	ゴルフ大会	○第四回ゴルフ大会 平塚C・C
二九日	麻雀大会	○第二回麻雀大会 東伸
一二月 九日	忘年会	○佐阿徳
一二日	社会奉仕活動	○年末助け合い運動参加
一三日	幹事会	○青山会館 委員長報告
一月 一四日	幹事会	○青山会館 委員会報告・今後のスケジュール他
二〇日	講演会	○虎ノ門共済会館 「経済講演会」 (法人会賀詞交歓会)
〃	会報発行	○コンフィデンシャル六号発行
二月 四日	研修会	○きたむら 「譲渡所得について」
五日	講演会	○麻布税務署 「日本経済と中小企業のあり方」 邱永漢
四月七日	フリートーキング	○青山会館 「今年度の反省と来年度の事業に対する要望」
一三日	幹事会	○青山会館 総会準備第一回
三〇日	幹事会	○青山会館 総会準備第二回

- メキシコが「領海」に限定、各国が二〇〇カイリ時代に入る
- ニューヨーク市が莫大な赤字であわや倒産
- 府中市で起った三億円事件が時効(一九六八年一月一日)
- 中国の指導者、周恩来首相死去
- 米国、上院外交委員会でロッキード社の対日売り込み工作に一〇〇万ドルを使ったと証言。日本政府高官に支払われたことが明るみになる
- 中国、周首相をしのぶ群衆大暴れ。花輪撤去に抗議。天安門広場占拠

五月 一四日	会報発行
一七日	署長対談
六月 二四日	第五回総会
三日	幹事会
四日	座談会
七月 一日	署長対談
四日	ゴルフ大会
五日	
六日	研修会
八月 一日	会報発行
一〇日	座談会
二七日	幹事会
九月 七日	一泊研修会
一〇月 六日	署長対談
一八日	幹事会
一一月 三日	釣大会
八日	署長対談
一二日	研修会

- コンフィデンシャル七号発行
- 麻布税務署 第一回 参加七名
税務署と会員相互の理解を深めるため始める
- 青山会館 通常総会(会員数六〇名)
できるだけ多くの新入会員の出席をさせる
- 栄林 年年度対策
- 重箱 署幹部と正副会長・委員長
- 麻布税務署 第二回 参加九名
- 第五回ゴルフ大会 一の宮C・C
- ケルビン 新年度事業スケジュール
- オリンピック 「後継者対策」他
- コンフィデンシャル八号発行
- 重箱 署幹部と正副会長・委員長
- 青山会館 法人会への委員選出の件・他
- 湯河原 法人会と合同一泊研修会
- 麻布税務署 第三回 参加一〇名
- 青山会館 会員増強・事業計画
- 大丹波川 第一回釣大会
署合同「マス釣大会」 参加六七名
- 麻布税務署 第四回 参加七名
- 麻布税務署 「税を知る週間」に因んで
外人対談

●植村直己北極圏一二、〇〇〇
キロ走破
オーロラのもと、ひとり犬ぞりに乗って三―三日

●南アフリカ共和国で黒人暴動
死者二八人、白人政権の強
圧策が火に油注ぐ

●モントリオールオリンピック
開幕

●「ロッキード事件」で田中角
栄逮捕。五億円の収賄容疑

●「中国の赤い星」毛沢東死去

一月十五日	幹事会
〃	幹事会
二〇日	会報発行
二七日	研修会
一二月一三日	忘年会
二三日	幹事会
二四日	社会奉仕活動
昭和五二年 一月 八日	賀詞交歓会
二九日	会報発行
二月 二日	ゴルフ大会
四日	研修会
七日	署長対談
八日	幹事会
一八日	講演会
〃	歓迎会
三月一四日	幹事会
四月 五日	幹事会
九日	一泊研修会
一〇日	ゴルフ大会

- 青山会館 会員増強 事業計画
- 青山会館 機関誌 編集方針他
- コンフィデンシャル九号発行
- オリンピック 役員報酬について他
- 佐阿徳
- 青山会館 委員会報告・今後のスケジュール (会員数八〇名)
- 赤坂青野 もちつき大会
- 麻布税務署 法人会合同
- コンフィデンシャル一〇号発行
- 第五回 ゴルフ大会 習志野C・C 優勝 尾関武男
- 麻布税務署 所得税確定申告研修会 矢田総括官
- 麻布税務署 第五回 参加九名
- 青山会館 会の組織について
- 麻布税務署 「老舗経営哲学」 法人会会長 黒川光朝
- 青山会館 新入会員歓迎会
- 青山会館 第六回総会準備他
- 会の運営について
- 熱海・大観荘 フリートーキング 「経営諸問題」 参加五五名
- 第六回ゴルフ大会 大熱海国際C・C

- ジミー・カーター米国大統領に就任
- 日本の食生活に大打撃。二〇〇カイリ専管水域に対応。アメリカと新漁業協定
- インドの総選挙で与党大敗。ガンジー首相落選
- 日本高速増殖炉を完成。米、英、ソ、仏に次ぐ快挙

四月二十八日	座談会
五月一日	幹事会
五月二三日	第六回総会
六月七日	幹事会
七月五日	幹事会
七月一日	講演会
八月二日	ゴルフ大会
八月二八日	納涼大会
九月三日	座談会
九月三日	第一回ボウリング大会
六月六日	幹事会
六月一日	署長対談
六月二日	一泊研修会
一〇月二日	釣大会
四月四日	幹事会
二月二七日	研修会
〃	署長対談
一月五日	談話会
一月八日	幹事会

- 事務局 総会準備及び幹事の選任について
正副会長・委員長
- 会の運営について・総会準備
- 青山会館 通常総会
(会員数一〇〇名になる)
- 会の運営について
- 会の運営について
- 第一勸銀赤坂支店「参議院選挙後の政治経済の見通し」 齊藤栄三郎
- 第七回ゴルフ大会 大利根C・C
- 第一回納涼大会 白金迎賓館(参加八〇名)
- 重箱 会の運営について・署との打合せ
- 第一回署対抗ボウリング大会
優勝 笹嶋義弘、団体戦 3 A C
- 会の運営について
- 麻布税務署 第六回 参加八名
- 箱根・吉野 (法人会合同研修会)
「役員と会社との関連をめぐる取引の税務」
大場上席指導官
- 東京湾 第二回釣大会 署合同四〇名参加
- 会の運営について
- 麻布税務署 「経営者をめぐる税務の諸問題」
大場上席指導官
- 麻布税務署 第七回 参加七名
- オリンピック 税について
- 会の運営について

●最後の「オリエント急行」パ
リを出発

●全米女子プロゴルフ大会で樋
口(チャコ)優勝

●ニューヨーク停電パニック、
一術ストップ、商店の掠奪横
行

●ロックンロールの王様プレス
リー突然の死

●王貞治ホームラン世界一の達
成、七五六号。九月五日に国
民栄誉賞第一号を受ける

1977～1978 (昭和52～53年)

昭和五三年	一月一〇日	一月二日	二月 六日	二月 七日	二月 二五日	三月 七日	四月 二九日	四月 四日	五月 九日	五月 一〇日	五月 二三日	六月 七日	六月 一五日	六月 一七日	七月 五日	
一月二一日	一月一〇日	一月二日	二月 六日	二月 七日	二月 二五日	三月 七日	四月 二九日	四月 四日	五月 九日	五月 一〇日	五月 二三日	六月 七日	六月 一五日	六月 一七日	七月 五日	
一泊研修会	幹事会	忘年会	幹事会	幹事会	談話会	幹事会	座談会	幹事会	ゴルフ大会	幹事会	第7回総会	幹事会	講演会	談話会	幹事会	
○箱根・吉池 「会社経営と税務会計について」 宮川秀哉	○新年幹事会 本年度の会の運営について	○会の運営について	○佐阿徳	○オリンピック 税について	○レストランジョイ 会の運営について 正副会長・委員長	○扉温泉・明神館 フリートーキング 「経営諸問題」	○第8回ゴルフ大会 大利根C・C 優勝 椎津 忠三	○青山会館 「通常総会」 サンエークラブマーク入りブレザー制作する	○三菱銀行青山支店 「経営者の健康管理」 関青山外科医院長	○オリンピック 税について	●ブルタニュー沖(フランス) タンカー座礁、原油二二万t 流れ出す大汚染	●空から原子炉が降ってくる。 ソ連の軍事衛星カナダ北部に 墜落	●リニアモーターカー初のテスト走行	●憎しみから対話へ、サダトエ ジプト大統領、イスラエルを 訪問	●国連「全面完全軍縮」の実現 を宣言	●宮城県沖地震で、死者二八名 負傷者一〇〇人以上の大惨 事となった

八月二〇日	納涼大会
二三日	座談会
九月 六日	幹事会
九日	研修会
二六日	研修会
一〇月 四日	幹事会
六日	一泊研修会
一四日	談話会
二九日	釣大会
一二月 八日	研修会
"	幹事会
一〇日	研修会
一六日	署長対談
一七日	座談会
二六日	ゴルフ大会
一二月 六日	幹事会

- 第二回納涼大会 八芳園 参加八〇名
「ねぶた祭の夕べ」
- 重箱 品川法人会青年部
「会の組織運営について」
- アメリカ経済視察団派遣 参加一四名(九日間)
米国財政省入口に「税とは文明社会の為の代価なり」の銘があった
- 重箱 「税一般について」 署幹部
- 吉野 「個人資産の運用と税務対策」
齊藤副署長 法人会合同研修会
- オリンピック 税について
- 東京湾第三回釣大会 署合同参加三六名
優勝 後藤謙
- 市原交通刑務所見学会
- 麻布税務署 税を知る週間 婦人参加当クラブ
より二〇名 「主婦と税金」 川崎敬三
- 麻布税務署 第八回
- コックドール 品川法人会青年部 品川法人会
と合同第二回 「卸売センター経営法及び会の運営」
- 第九回ゴルフ大会 源氏山G・C
優勝 皆川寿一

- イギリスで初の試験官ベビー誕生
- ケニア独立の父、ケニアッタ大統領死去
- ゴルフの世界マッチプレー選手権、青木功が優勝
- 中国鄧小平副首相が来日、日中平和友好条約の批准書交換式に出席、天皇とも会見
- 野球協約の盲点をつき「江川卓」巨人軍に入団

二月二日	研修会	○佐阿徳 「現行租税体系について」 齊藤副署長 本年一二月に全会員写真入りの会員名簿作成配 付 会員数一・二名、相談役二名
"	忘年会	○佐阿徳
昭和五四年 一月一〇日	幹事会	○新年幹事会
二月二五日	座談会	○東法連事務所 東法連青年部会長 連絡会議
二月七日	幹事会	○オリンピック 税について
二月二四日	談話会	○海皇 会の運営について 正副会長・委員長
三月五日	座談会	○玄海 東法連青年部会長連絡会議
三月七日	座談会	○第一〇回ゴルフ大会 セントラルG・C 優勝 島野裕之
"	幹事会	
一月八日	ゴルフ大会	
四月四日	幹事会	○佐阿徳 会の運営について 正副会長・委員長会議
四月九日	座談会	○大観荘 「税務調査を受ける際の心得・自社株 の評価方法」 高嶋統括官
二月二日	一泊研修会	○品川・目黒青年部長会議
二月二五日	座談会	
五月九日	幹事会	○青山会館 通常総会 藤森脩一第二代会長に就任 初めての女性会員 誕生する
六月五日	第八回総会	

- イラン全土で反国王デモ、ホメイニの写真高々と
- ピンクレディー、レコード大賞受賞
- イラン、ハレレビ国王、エジプトへ亡命、二月一日ホメイニ帰国
- 中国軍ベトナムに侵攻、史上初めての社会主義同士の戦争
- アメリカ、スリーマイル島で原発事故、放射能漏れの恐怖広がる
- サッチャーがヨーロッパで初の女性首相となる
- ジョン・ウエイン逝く

六月 二三日	幹事会
二〇日	会報発行
七月 四日	幹事会
一八日	研修会
二二日	納涼大会
二七日	ゴルフ大会
八月 八日	正副会長・委員長会議
九月 五日	幹事会
七日	研修会
一七日	座談会
一〇月 三日	幹事会
一〇日	釣大会
	会員増強運動
一三日	談話会
一二月 七日	幹事会
一三日	講演会
一五日	講演会
一六日	署長対談
一二月 二三日	研修会

○コンフィデンシャル二〇号発行

○麻布税務署 「税務関係」 高嶋統括官

○第三回納涼大会 八芳園 参加七五名

○第一一回ゴルフ大会 箱根C・C

○佐阿徳 会の運営について

○吉野屋 法人会合同 「税金よもやま話」
信定署長

○重箱 署幹部と正副会長・委員長
「会の運営と税務行政について」

○東京湾 第四回釣大会 参加五六名

○法人会会員増強運動へ積極的に参加する

○オリンピック 税について

○港信用金庫 会員増強講演会
「政経よもやま話・日本診断」 藤原弘達

○麻布税務署 税を知る週間講演会
三橋達也と婦人会員・会員夫人対談

○麻布税務署 第九回 協力五団体合同

○日産自動車村山工場見学会 参加三七名
近代オートメーション工場に目を見はる

●アジア初の東京サミット開催
(大平首相)
●歩くステレオ「ウォークマン」
大ヒット商品に

●中国が産児制限政策を発表

●日本初の国産濃縮ウラン生産
開始

●韓国の朴大統領が射殺された

昭 和 五 五 年	一 月 九 日	幹事会	〇新年幹事会
	二 四 日	賀詞交換会	〇明治記念館
	二 月 三 日	ゴルフ大会	〇第一三回ゴルフ大会 源氏山C・C 優勝 落合光治
	六 日	幹事会	
	三 月 五 日	幹事会	
	二 四 日	正副会長・委員長会議	〇ケルビン 会の運営について
	四 月 一 日	幹事会	〇小達宗一元副会長急逝
	二 日	講演会	〇麻布税務署 「アフガン、イラン情勢」 倉前盛道
	三 日	一泊研修会	〇大観荘 「就業規則の作り方」 高島総括官
	五 日	朝食会	〇ヒルトン 広報委員会第一回朝食会始まる
	二 七 日	ゴルフ大会	〇第一二回ゴルフ大会 習志野C・C 優勝 添野英
	一 二 月 五 日	幹事会	
	二 〇 日	研修会	〇青山会館 「税務関係」 高嶋統括官
	忘 年 会		〇佐阿徳
	二 四 日		〇大塚・筒井両氏が世話人となりサンエー・クラ ブ国際部会を開催した

- マザー・テレサにノーベル平和賞
- アフガニスタンで新ソ派全権を掌握。ソ連の軍事介入にアメリカ反発
- 本田技研工業が先手を打って四輪車工場をアメリカ、オハイオ州に建設
- 第一三回冬季オリンピックがレークプラシッドで開幕
- 動物愛護のアメリカ人、長崎で漁民の網を破り、イルカを逃がす
- 凶悪犯罪の巣ニューヨークの地下鉄に市当局が戒厳令

五月七日	幹事会
八日	朝食会
二九日	第九回総会
六月五日	ゴルフ大会
一一日	幹事会
七月二日	幹事会
二〇日	納涼大会
八月二八日	座談会
九月三日	幹事会
一一日	講演会
二八日	釣大会
二九日	全法連税制改正要望大会
一〇月一日	幹事会
七日	麻布法人会三〇周年記念大会
二二日	ゴルフ大会
一一月四日	幹事会
一二日	研修会
一四日	研修会

○ホテルオークラ 広報委員会第二回朝食会
○青山会館 通常総会
○第一四回ゴルフ大会 大利根C・C 優勝 吉田真三
○第四回納涼大会 八芳園
○重箱 署長・副署長と正副会長委員長との対談
○青山会館 「東京デイズニールランド」堀貞一郎
○東京湾第五回釣大会 参加五七名 署合同
○九段会館 法人会合同
○国立劇場 法人会合同
○第一五回ゴルフ大会 東京クラブ 優勝 山田勝久、ホールインワン 吉岡正恒
○麻布税務署 「税を知る週間」 署中間管理職と対談
○麻布税務署 「税を知る週間」 婦人部並びに会員の奥様方参加

●テヘランの米大使館占拠による人質の政府移管をイランに拒否され、米国がイランと国交を断絶

●韓国、光州市で市民・学生、軍隊と衝突。二〇〇〇人以上が死亡した

●大平首相、過労の為急死

●アメリカ、日本など不参加のままモスクワオリンピック開幕

●ポーランドの労働者「連帯」の設立とスト権の保障得る

●イラン、イラク全面戦争に突入

●レーガン、カーターに圧勝。第四〇代大統領に

1981～1982 (昭和56～57年)

昭和五七年	八月二七日	研修会
	三一日	会報発行
	九月 二日	
	一八日	全法連税制改正要望大会
	二七日	釣大会
	一〇月 六日	ゴルフ大会
	二九日	ゴルフ大会
	十一月 四日	幹事会
	一〇日	研修会
	〃	講演会
	一二日	講演会
	二月一三日	クリスマスパーティー
	一月 一三日	幹事会

○麻布税務署 「税務一般について」
署幹部と対談

○コンフィデンスシャル三〇号発行

○幹事会

○法人会合同

○東京湾 第六回釣大会 署合同 四〇名参加
優勝 佐藤太加之

○第一八回ゴルフ大会 我孫子G・C
取り切り戦 過去一七回一七名の優勝者を出した世にも珍しい大接戦 優勝 早川寿一

○第一九回ゴルフ大会 小金井C・C
優勝 井上紘一

○麻布税務署 ビデオテープ「税知識の普及」による研修対談(税を知る週間の行事)

○麻布税務署 「これからの宝石の見方」
棟朝幸夫

○赤坂穂寿美 「“気”のはなし」 藤原光一

○第一回 赤坂プリンスホテル
会員及び家族一三〇名が参加

●発展途上国の貧困者が、七億五〇〇〇万人と世界銀行が報告

●ポーランド自由管理労組「連帯」が第一回全国大会を開く

●発展途上国と先進国で新しい経済秩序をめざす

●米、イスラエルが軍事協力

●京都大の福井教授がノーベル化学賞を受賞

●ポーランド全土に戒厳令「連帯」ワレサ委員長軟禁状態に
●米産業界の象徴フォードが無配転落、クライスラーも危機に

●羽田で日航機が墜落、死者二四名「逆噴射」

二月二日	ゴルフ大会
三月三日	幹事会
四月一〇日	一泊研修会
二一日	ゴルフ大会
〃	幹事会
五月二二日	幹事会
二八日	第一一回総会
〃	講演会
六月二日	幹事会
一九日	税務懇談会
七月七日	幹事会
二五日	納涼大会
八月一〇日	座談会
九月一日	幹事会
八日	税務研修会

○第二〇回ゴルフ大会 源氏山C・C
優勝 井上絃一

○大観荘 「法人税調査のポイント」
辺見憲二第一統括官 参加四〇名

○第二一回ゴルフ大会 成田ハイッリーG・C
優勝 落合光芳

○青山ダイヤモンドホール 通常総会
一〇周年記念事業準備委員会スタート
実行委員長に添野英副会長就任

○時局講演会NHK開設委員 家城啓一

○麻布税務署 法人会確定申告書用サンエーシ
ル制定

○第六回納涼大会 八芳園

○署幹部と対談 参加一五名

○麻布税務署 映画「脱税Gメン川島班」鑑賞

●ホテルニュージャパンで大火
災死者三三名

●フォークランド諸島をめぐる
アルゼンチンとイギリス武力
衝突へ

●「地球を守ろう」 国連環境会
議でナイロビ宣言

●東北新幹線(上野↑↓盛岡)
が開業

●閣議で八三年度概算要求枠を
今年度のマイナス五%削減で
決定。初のマイナスシリー
ング

●イスラエル軍、西ベイルト
へ突入。PLOレバノン撤退

●北炭夕張炭鉱閉山に

1982~1983 (昭和57~58年)

日	月	年	行事	備考
九日	八月	昭和五八年	講演会	○「税金よもやま話」 川島貢署長 「本年度の税法改正の要点」 笠原第一統括官
〃	〃	〃	座談会	○麻布税務署 豊島法人会青年部と
二日	〃	〃	ゴルフ大会	○第二二回ゴルフ大会 東名御殿場C・C 優勝 渋谷昌寿
九日	〃	〃	釣大会	○東京湾 第七回釣大会 優勝 小幡和義
六日	一〇月	〃	幹事会	○神宮外苑野球場 署VSサンエー
三日	〃	〃	野球大会	○「税を知る週間」署幹部と婦人会員及び会員奥 様方の座談会 珍問・奇問・又女性でないとい きない細かい質問統出、元Gメンも答弁に苦勞
〃	〃	〃	幹事会	
一日	二月	〃	幹事会	○第二三回ゴルフ大会 狭山C・C 優勝 落合光治
三日	〃	〃	ゴルフ大会	
五日	〃	〃	クリスマスパーティー	○第二回 芝ゴルフ場
〃	〃	〃	〃	○新年幹事会
一月二〇日	〃	〃	幹事会	○「脱税Gメン川島班」 出演者と座談会
二月二日	〃	〃	幹事会	
〃	〃	〃	座談会	
〃	〃	〃	〃	
二七日	〃	〃	ゴルフ大会	○第二四回ゴルフ大会 セントラルG・C 優勝 尾関武男
〃	〃	〃	〃	
二日	三月	〃	幹事会	
〃	〃	〃	〃	
二四日	〃	〃	座談会	○霞会館 法人会税制委員会との座談会

●レバノンの難民キャンプで大
量虐殺。新イスラエル派民兵
が実行。一〇〇〇人が死亡

●ブレジネフ書記長死去、後任
にアンドロポフ

●中曽根内閣が成立

●青木功、ハワイアンオープン
で劇的な逆転優勝

●西ドイツ政府、亜硫酸ガス排
出を規制、酸性雨が全ての工
業国で見られる現象となる
●OPEC原油価格を値下げ、
結成以来はじめて

四月 六日	幹事会		
〃 二日	講演会	○青山ダイヤモンドホール 結成一〇周年特別講演 「最近の法人税をめぐる諸問題と法人活動につ いて」 東京国税局法人課長 剣持昭司 剣持課長を囲み三A.Cの今後の活動、未来のビ ジョン等の座談会を開く	●NHK「おしん」放映、忍耐 と辛抱に朝のお茶の間シーン
五月 一日	幹事会	一七日 一泊研修会	
〃 二六日	ゴルフ大会	〇大観荘 「繁栄への戦略」 日本経営合理化協会 牟田学 「儲けること」科学の一端を披露していただいた	
六月 一日	幹事会	〇第二五回ゴルフ大会 富士桜C・C 優勝 井上紘一	●秋田沖で大地震、大津波発生 で一〇二名が死亡、不明
〃 九日	第一二回総会	〇ホテルオークラ 通常総会	
〃 〃	結成一〇周年記念式典	〇ホテルオークラ 来賓五九名、会員九五名参加	
〃 〃	会報発行	〇会報「サンエー・コンフィデンシャル」 結成一〇周年記念特別号三七号発行	●「幻のピアニスト」ホロビッ ツの初公演、前売に徹夜の列
〃 二日	研修会	〇サンエークラブ・メンバーズカード発行	
七月 六日	幹事会	〇霞会館 法人会税制委員会と税制等について対 談	●アメリカのエイズ患者、一七 〇〇人に増加
〃 〃	〃		●アキノ元上院議員、マニラ空 港で暗殺される
〃 〃	〃		●中野浩一、世界自転車選手権 でV7
〃 〃	〃		●大韓航空機、サハリン上空で 撃墜され二六九名死亡
八月 二五日	座談会	〇重箱 署幹部と正副会長・委員長との対談	

二月 二二日	研修会	○麻布税務署 「所得税の確定申告、交際費の取扱」他」 署各担当官
二五日	会報発行	○コンフィデンシャル四〇号発行
三月 七日	幹事会	○幹事会
四月 四日	幹事会	○蓬萊 「経営雑感」 法人会長 黒川光朝
八日	一泊研修会	○青山ダイヤモンドホール 通常総会
五月 九日	幹事会	○「報道されない中国の話」 朝日新聞社調査研究室 西園寺一晃
三〇日	第一三回総会	○港信用金庫本店 発表者 添野英、佐藤太加之
六月 七日	第一回 フリートーキング ゴルフ大会	○第二八回ゴルフ大会 日高C・C 優勝 佐藤太加之
一三日	ゴルフ大会	
二七日	正副会長・委員長会議	
七月 四日	幹事会	
二八日	隅田川花火大会	
八月 三日	座談会	○重箱 署幹部と正副会長・委員長対談
二九日	正副会長・委員長会議	
九月 五日	幹事会	
九日～一五日	海外研修会	○中国研修旅行 上海―蘇州―南京―北京
三〇日	ゴルフ大会	○第二九回ゴルフ大会 久邇C・C 優勝 土橋実

●在日外国人の指紋押捺拒否運動高まる

●怪人二面相 「毒入りグリコ製品事件」

●ロス五輪開幕、初の民間運営が大成功。カール・ルイス陸上で四冠

●「アキノ追悼集会」に反マルコス勢力結集、マニラで四五万人がデモ

●全斗煥大統領が来日、日韓新時代へ

昭和六〇年	一月 九日	研修会
	一月 九日	ボウリング大会
	二月 三日	第二回 フリートーキング
	二月 三日	正副会長・委員長会議
	二月 三日	ゴルフ大会
	二月 三日	幹事会
	二月 三日	忘年会
	二月 五日	研修会
	二月 五日	工場見学会
	二月 五日	講演会
	二月 七日	幹事会
	二月 七日	正副会長・委員長会議
	二月 七日	第二回 フリートーキング
	二月 七日	研修会
	二月 七日	正副会長・委員長会議
	二月 七日	フリートーキング
	二月 七日	第三回 フリートーキング
	二月 七日	正副会長・委員長会議

○霞会館 「役員と会社の取引をめぐる諸問題」
○第四回署對抗ボウリング大会 優勝 佐藤太加之
○港信用金庫本店 発表者 水沼寛、山田勝久
○協和銀行麻布支店 「相続・贈与の税務とその問題点」
○「高度情報社会とニューメディア」 郵政省通信政策局テレトピア推進室長補佐 大須賀克己
○住友電工横浜工場 光ファイバーの製造工程 とその技術的活用法など
○第三〇回ゴルフ大会 狭山G・C 優勝 小幡和義
○港信用金庫青山支店 「修繕費・原価償却・印紙税」
○第三一回ゴルフ大会 源氏山G・C 優勝 田尻孝三郎
○霞会館 「役員の所得税確定申告の留意点」
○霞会館 発表者 成瀬勝、筒井克夫

●ガンジー首相、ミク教徒に射殺される

●東京世田谷三軒茶屋で地下電
話ケーブル火災で通信網マヒ

●米多国籍企業のインド工場、
有毒ガス流出二五〇〇人以上
が死亡

●国連が世界の人口を四八億人
と発表

三月 六日	幹事会
四月 七日	研修会
二二日	正副会長・委員長会議
二六日	ゴルフ大会
五月 八日	幹事会
二九日	第一四回総会
〃	講演会
六月 二二日	正副会長・委員長会議
一九日	第四回 フリートーキング
二二日	体験教室(その一)
七月 三日	幹事会
一〇日	ゴルフ大会
二〇日	ボウリング大会

- 金城館 税務研修 武田副署長
経営研修 広瀬宇一
- 第三二回ゴルフ大会 八王寺C・C
優勝 広瀬宇一
- 青山ダイヤモンドホール 通常総会
水沼寛第四代会長に就任
- 「IBM退社宣言」 玉村富男
- 霞会館 発表者 椎津忠三、小林節子
- リオ六本木 一日歌謡教室入門
- 第三三回ゴルフ大会 程ヶ谷C・C
優勝 水沼寛
椎津杯取り切戦 優勝 高桑幹雄
- 第五回署対抗ボウリング大会
優勝 佐藤太加之

- チェルネンコ書記長死去、後任には最年少幹部ゴルバチョフ
- 先端技術を競う科学万博「つくば85」開幕
- NTT、たばこ産業民営化スタート
- レーガン大統領、旧ナチス親衛隊員も眠る西独の軍人墓地を訪問、ユダヤ人団体ら内外で激しい抗議デモ
- 絶景うず潮、大鳴門橋開通
- 南アフリカのボタ大統領が非常事態を宣言、黒人のスト、デモ徹底弾圧
- 日航ジャンボ機、群馬県御巢鷹山に激突、死者五二〇名、女性四名が奇跡の生還

九月 四日 幹事会

二七日 全法連税制改正要望大会

〃 税務研修会(その一)

二九日 バーベキュー大会

一〇月 九日 正副会長・委員長会議

一三日 ゴルフ大会

一三日 第五回 フリートーキング

二九日 税務研修会(その二)

一二月 六日 幹事会

一二月 五日 税務研修会

一一日 正副会長・委員長会議

一二日 体験教室(その二)

一二日 クリスマスパティー

昭和六一年 一月一六日 幹事会

二月二二日 正副会長・委員長会議

一四日 税務研修会(その三)

○法人会合同

○霞ヶ関信用組合 武田副所長、中川指導官、
齊藤資産税上席

○第一回バーベキュー大会 広尾羽沢ガーデン

○第三四回ゴルフ大会 富士小山G・C
優勝 山田勝久

○港信用金庫 発表者 阿藤芳樹、柴田透

○港信用金庫本店 武田副署長、齊藤資産税上席、
中川指導官

○津々井 「財形学」 高桑誓治

○一日管外研修参禅会 鶴見総持寺
懇親会 横浜中華街 同発

○第四回 赤坂プリンスホテル

○港信用金庫本店 小池第一総括官、中川上席、
吉田資産税上席

●ドル高修正へ向けてニューヨークで「G5」開催される。先進五カ国日本、アメリカ、西ドイツ、イギリス、フランスが為替市場へ積極的に協調介入

●阪神タイガース二一年ぶりに日本一に

●南米コロンビアで大火山災害死者二五〇〇〇人に

●一ドル二〇〇円を割り一九〇円台となる

●「チャレンジャー」爆発、碎かれた宇宙開発の夢、七人全員死亡

二月二〇日	第六回 フリートーキング
二三日	ゴルフ大会
三月五日	幹事会
四月六日	研修会
"	講演会
九日	正副会長・委員長会議
五月七日	幹事会
八日	ゴルフ大会
二八日	第一五回総会
"	講演会
六月一日	正副会長・委員長会議
一九日	第七回 フリートーキング
七月二日	幹事会
三日、四日	研修会

- 霞ヶ関信用組合 発表者 末永昌子、玉置誠
- 第三五回ゴルフ大会 源氏山G・C
優勝者 田浦彰
- 箱根塔之沢福住桜 税務研修 武田副署長
- 天覧山王仁寺 萩野映明
- 第三六回ゴルフ大会 中山C・C
優勝 落合光治
- 青山ダイヤモンドホール 通常総会
- 「日本経済と財テク戦略」
大和証券経済研究所 鈴木宏一、原田宏
- 港信用金庫 発表者 花沢敏彰、蘭諭公
- ニューウェイブ一泊研修会 全日空ホテル
麻布、代官山、原宿、渋谷のポイント地区及び
東京湾岸地区の自地見学

- アキノ夫人、フィリピン大統領に「ビーブルズ・パワー」マルコス追放
- 原油価格急速に低落、北海原油一バレル一〇ドル割れ
- チェルノブイリ原子力発電所爆発、放射能パニック、全世界へ波及
- 昭和天皇御在位六〇年式典、両国国技館で行われる
- 東京サミット開幕、議長中曾根首相
- ベトナム戦争後遺症、二重体児来日

1986年（昭和61年）

七月 三日～四日 講演会

二六日 ボウリング大会

九月 三日 幹事会

二〇日 会報発行

二一日 ゴルフ大会

一〇月 五日 釣大会

八日 正副会長・委員長会議

九日 税務研修会（その一）

二三日 第八回
フリートーキング

一二月 五日 ゴルフ大会

〃 幹事会

二二日 税務研修会（その二）

一二月 一日 研修会

五日 ゴルフ大会

七日 クリスマスパティー

○「民活と市街地開発等」 高島陽

○第六回署對抗ボウリング大会
優勝 佐々木博文

○コンフィデンシャル五〇号発行

○第三七回ゴルフ大会 東名御殿場C・C
優勝 荒木隆

○東京湾第九回釣大会

○霞会館 「不動産に関する税務」
資産税 吉田上席 法人税 中司上席

○港信用金庫本店 発表者 島野裕之、芳川盛夫

○第三八回ゴルフ大会 大磯レイクウッドC・C
優勝 根本保

○港信用金庫本店 「法人税に関するスクランブル
研修」 法人税 中司上席、中川上席

○麻布台 東京アメリカンクラブ
「新時代の高感度ビジネス」 谷口正和

○第三九回ゴルフ大会 源氏山G・C
優勝 柴崎英一

○第五回 赤坂プリンスホテル

●衆・参同日戦で自民三〇四議
席の大勝利、中曽根統投論急
浮上

●厚生省日本のエイズ患者は、
一六名で、うち一名は死亡
している」と発表

●大蔵省NTT株一株一九万
七三九二円として一月一七
日から申し込み受付ける

●三原山二〇九年ぶりに大噴火
火柱天を突き溶岩流元町へせ
まる

1986~1987 (昭和61~62年)

二月一日	正副会長・委員長会議
昭和六十二年 一月二四日	幹事会
二月二二日	正副会長・委員長会議
一九日	第九回 フリートリーキング
三月 四日	幹事会
二六日	税務研修会(その三)
四月 五日~六日	研修会
"	講演会
九日	幹事会
五月 六日	正副会長・委員長会議
一八日	第一六回総会
"	講演会

- 「世界経済のゆくえ」 食品需給研究センター
常務理事 東野宗利
- 「国際文化会館 通常総会 筒井克夫第五代会長に就任」
- 「JFFジェネラルマネージャー」
Luc・Mayer(ラック・メヤー)
- 熱海・山本旅館 「税務研修」
大林第一統括官
- 霞ヶ関信用組合 発表者 竹花忠、隅谷譲司
- 霞会館「法人税に関する事例研修(資産中心)」
法人税大林第一統括官、中司上席、中川上席

●ヨーロッパ全土に大寒波、ロンドン、マイナスイナス八・六度、パリ、翌年一月一五日までに二六一人に達した

●アメリカ経済の不振反映、米銀行の倒産史上最高

●米上院、日本を敵対貿易国と規定

●第三日本丸最後の捕鯨

●日本人の一人あたりのGNPがアメリカを追いつく、日本一万人七〇〇ドル、アメリカ一万人七〇〇ドル

●国税庁が高額納税者公示、上位一〇〇人中七二人が土地長者

六月 二日	ゴルフ大会	○第四〇回ゴルフ大会 成田ハイッリーG・C 優勝 柴崎英一 水沼杯取り切戦 柴崎英一
三日	正副会長・委員長会議	
一八日	第一〇回 フリートーキング	○世田谷信用六本木支店 発表者 青野信次、船木強
七月 一日	幹事会	
二六日	ボウリング大会	○第七回署対抗ボウリング大会 優勝 上田幸穂
〃		○ジングスカンパティー 恵比寿サッポロビア ステーション
八月 四日	体験教室	○晴海「夢工場87」ニッポン放送専務取締役 ゼネラルプロデューサー 川内通康
九月 二日	幹事会	
二〇日	ゴルフ大会	○第四一回ゴルフ大会 東名御殿場C・C 優勝 佐藤太加之
一〇月 四日	テニス大会	○第一回テニス大会 高輪テニスセンター 参加二四名、優勝 関瑛一
七日	正副会長・委員長会議	
一七日	ボウリング大会	○第八回署対抗ボウリング大会
二八日	税務研修会 (その二)	○麻布税務署「地価高騰に伴う相続税の諸問題」 下藤指導官
十一月 四日	幹事会	

●東京圏周辺の地価急上昇、一年間で住宅地三〇%、商業地五〇%

●NHK二四時間衛星テレビ放送開始

●リトアニアなどバルト三国、ソ連からの独立を求めデモ

●ペルシャ湾のタンカー攻撃が拡大、対象国も無差別に

●英国のネス湖でネッシー探し発見できず

●中曽根首相が次期自由民主党総裁に竹下登幹事長を指名

1987~1988 (昭和62~63年)

	一月二三日	講演会
	一七日	座談会
	二月二日	ゴルフ大会
	〃	正副会長・委員長会議
	六日	クリスマスパーティー
昭和六三年	一月二三日	幹事会
	二月三日	正副会長・委員長会議
	一四日	ゴルフ大会
	二六回	体験教室
	二七日	麻雀大会
	三月二日	幹事会
	八日	第一〇回 フリートーキング
	二八日	税務研修会(その二)
四月	三日~四日	研修会
	六日	正副会長・委員長会議
五月	二一日	幹事会

- 「税務雑感」 麻布税務署長 小沢康男
「今後の日本経済と金融の見とおし」
勸業角丸経済研究所調査部長 寺本勝保
- 全日空ホテル 瀬戸法人会青年部と対談
- 第四二回ゴルフ大会 日高C・C
優勝 柴崎英一
- 第六回 赤坂プリンスホテル
- 第四三回ゴルフ大会 源氏山C・C
優勝 井上紘一
- 「国際社交マナーとヨーロッパ文化について」
ファンヒューリック・節子
- 敦煌にて
- 世田谷信用六本木支店
発表者 小池和敬、西沢弘
- 「うっかりミス大変、相続税対策」
資産税竹村統括官 下藤指導官
- 奥湯河原・山翠楼 税務研修
大小田第一統括官

- 発がん物質の石棉を使用して
いる学校が全国の公立、小、
中、高一三〇〇校にのぼると
文部省調査で判明
- NATO国防相会議が通常戦
力の強化努力を倍加すると声
明(ブリュッセル)
- 六本木のディスコで照明器具
が落下三人が死亡
- ソ連でアルメニア人民族デモ
激化
- 青函トンネルが開業(調査開
始から開業まで四二年間)
- 日本の対米不動産投資、一兆
五〇〇億円をこえる

五月二三日	第一七回総会	○青山ダイヤモンドホール 通常総会 創立一五周年特別記念講演会
〃	講演会	○「スポーツよもやま話」 NHKスポーツアナウンサー 羽佐間正雄
六月 一日	正副会長・委員長会議	○第四四回ゴルフ大会 東通ロイヤルC・C 優勝 井上紘一
七日	ゴルフ大会	
七月 六日	第一一回 フリートーキング	○六本木センチュリーコート東京 発表者 吉野恭正
二三日	パーベキュー大会	○第二回 アークヒルズパーベキューガーデン
九月 七日	幹事会	
二五日	ゴルフ大会	○第四五回ゴルフ大会 東通ロイヤルC・C 優勝 水沼寛
二七日	体験教室	○「東京再発見」 海と空から 高島健一
一〇月 二日	テニス大会	○第二回テニス大会 高輪テニスセンター
五日	正副会長・委員長会議	
一八日	第一二回 フリートーキング	○六本木センチュリーコート東京 発表者 吉野恭正
二六日	ボウリング大会	○第九回署対抗ボウリング大会
一一月 二日	幹事会	

●地価高騰等で国税大幅な自然増収に

●ゴルバチョフ、ペレストロイカ推進のための政治改革を提案

●リクルート関連未公開株、中曽根、安倍、宮沢の関係にも譲渡されていた

●イラン・イラクの停戦が発効
七年一ヶ月に及ぶ戦火に終止符

●日本で初めて株価指数先物取引が始まる

●アメリカ、アラスカ州岬近くで米、ソ共同で鯨救出作戦が成功

一月二四日	講演会	〇「都市開発のビジネスの展望」 都市計画家 梅沢忠雄
〃	講演会	〇「魅力ある経営者」 社員研修講師 チャーモロ ジイ 研究家・元ミス日本 琴音亜紀
二四日	ゴルフ大会	〇第四六回ゴルフ大会 清川C・C 優勝 佐藤太加之
一月 七日	正副会長・委員長会議	〇佐阿徳
一〇日	忘年会	
平成 元年 一月 二日	幹事会	
二月 一日	正副会長・委員長会議	
三月 一日	幹事会	
一二日	ゴルフ大会	〇第四七回ゴルフ大会 ウイルソンローヤルC・C 優勝 水沼寛
一六日	税務研修会（その二）	〇太陽神戸六本木支店 「消費税の内容とその実務」 依田悦子、上田幸雄 上席指導官
四月 五日	正副会長・委員長会議	
一六日～一七日	研修会	〇箱根・桜庵 税務研修会及び歴代会長のパネル ディスカッション
五月 一〇日	幹事会	
六月 二日	第一八回総会	〇青山ダイヤモンドホール 通常総会 山田勝久 第六代会長に就任
〃	講演会	〇「ゴルフーナメントよもやま話」 テレビゴルフ解説者 戸張捷
六日	正副会長・委員長会議	

- 衆院にリクルート特別委員会を設置
- 東証株価が初の三万円台
- 天皇崩御、新元号を「平成」と定めた
- 中ソ首脳会談で完全正常化へ
- ポーランド、自由選挙を導入
- 消費税がスタート
- 北京の天安門広場のデモ一〇万人規模になる、六月四日武力鎮圧が始まる

六月 七日	ゴルフ大会	○第四八回ゴルフ大会 東松山C・C 優勝 岩上義明
二一日	第一三回 フリートーキング 体験教室	○世田谷信用金庫六本木支店 発表者 真壁久雄、椎名康允
二三日	体験教室	○六本木ジバンゴ 「インストラクターによるダ ンスレッスン」とエスニック料理ダイナー 徳山利恵
七月 五日	幹事会	
八月二七日	ゴルフ大会	○第四九回ゴルフ大会 ウイルソンロイヤルC・ C 優勝 北智次
三一日	会報発行	○コンフィデンシャル六〇号発行
九月 二日	体験教室	○三保ヶ関部屋 「形は心を求め、心は形を求め る」 国技・相撲稽古見学
六日	幹事会	
八日	バーベキュー大会	○第三回アークヒルズバーベキューガーデン
一〇月 一日	テニス大会	○第三回テニス大会 高輪テニスセンター
三日	正副会長・委員長会議	
五日	税務研修会(その一)	○麻布税務署 「フリーテーマによりフリーデイ スカッション」 署各関係担当官
二〇日	ボウリング大会	○第一〇回署対抗ボウリング大会 優勝 佐藤太加之
二六日	第一四回 フリートーキング	○世田谷信用金庫六本木支店 発表者 落合光治
十一月 一日	幹事会	

- ハンガリーで急進派が実権
- 美空ひばり死亡(後に国民栄
誉賞を受ける)
- 都議選で自民惨敗、社会大躍
進
- 海部内閣がスタート

- 東ドイツ市民が大量に西ドイ
ツへ脱出

- 株暴落(史上二番目)でウォ
ール街にパニック

1989～1990（平成元～2年）

一月 九日	ゴルフ大会
一月 三日	講演会 （税を知る週間）
一月 五日	正副会長・委員長会議
一月 九日	忘年会
一月 二〇日	幹事会
二月 二九日	税務研修会（その二）
二月 六日	正副会長・委員長会議
二月 二五日	ゴルフ大会
三月 七日	幹事会
四月 三日	正副会長・委員長会議
四月 八日～九日	研修会
五月 九日	体験教室 幹事会
五月 三日	
五月 二四日	法人会四〇周年・社団 化二〇周年記念式典
五月 二九日	第一九回総会

- 第五〇回ゴルフ大会 南総C・C
優勝 小幡和義
- 「売れる店・売れない店」
東京商工会議所中小企業委員会会員 石丸潤一
「キャスターから見た世界」
ニュースキヤスター 美里美寿々
- 月世界倶楽部
- 麻布税務署 「フリーテマによるフリーデ
スカッション」 署各関係担当官
- 第五一回ゴルフ大会 源氏山G・C
優勝 佐藤太加之
- 熱海・大観荘 「税務よもやま話」
渡井英雄法人第一総括官
- 美術鑑賞 横山大観軸、茶道具等 市河敬治
- 厚生担当 井上紘一副会長急逝
- ホテルニューオータニ
- 青山ダイヤモンドホール 通常総会

- ベルリンの壁開放
- 総評が解散、新しく「連合」
が発足
- 東京上野で新幹線工事の真上
の道路が陥没
- 南アフリカがマンデラ氏を釈
放
- ソ連の初代大統領にゴルバチ
ョフが就任
- 円、株式、債券がトリプル安
- 西ドイツが通貨同盟条約に調
印

五月二十九日	講演会	○「すばらしい人達との出逢い」 安部譲二
六月五日	正副会長・委員長会議	
七月四日	幹事会	
一六日	第一五回 フリートーキング	○北青山グランジュリー・ポター 「美空ひばりを通しての大和民族論」 石井源太郎
二八日	バーベキュー大会	○第四回 アークヒルズバーベキューガーデン
九月五日	幹事会	
九月九日	ゴルフ大会	○第五二回ゴルフ大会 朝霧ジャンボリーG・C (井上紘一追悼コンペ) 優勝 菅野敬一
二一日	法人会全国青年の集い	○東京プリンスホテル 全国各法人会青年部から二千名参加。特別講演 その他多彩な行事を開催
二七日	税務研修会(その二)	○麻布税務署 「自己の税務知識の水準を探る」 麻布税務署各関係担当官
一〇月二日	正副会長・委員長会議	
七日	テニス大会	○第四回テニス大会 神宮外苑テニスクラブ 優勝 関英一
一九日	ボウリング大会	○第一一回署対抗ボウリング大会 優勝 佐藤太加之
二四日	体験教室	○静岡県陸上自衛隊富士学校 「学校見学・実地訓練」
一月七日	第一六回 フリートーキング	○佐阿徳 「気……?とは」 大須賀純也

●ロシア共和国が主権宣言

●証券十数社の株大暴落直後、
(八七年一〇月)に一六〇億
円の損失補填していたことが
国税局の税務調査でわかった

●サハリンの大やけどの幼児札
幌に直行、治療を受ける

●政府が湾岸戦争協力で三〇億
ドルを支出することを決定

●東西ドイツが統一達成

五月	八月	幹事会
四月	二日	正副会長・委員長会議
四月	七日	研修会
三月	六日	第一七回 フリートーキング
二月	五日	税務研修会(その三)
二月	二四日	正副会長・委員長会議 ゴルフ大会
平成三年	一月九日	幹事会
二月	四日	正副会長・委員長会議
二月	八日	忘年会
一月	九日	講演会 (税を知る週間)
一月	七日	幹事会
一月	五日	ゴルフ大会

- 第五三回ゴルフ大会
ウイルソンロイヤルC・C 優勝 大原正則
- 麻布税務署 「人生を貪欲に生きよう」
大山のぶ代
- 麻布税務署 「新春 大いに語る」
麻布税務署副署長 渡辺進
- 第五四回ゴルフ大会 源氏山G・C
優勝 三ヶ尻隆幸
- 「女性と仕事」 江崎由布子
- 「江戸探訪」 青木利夫・石井源太郎
- 伊豆修善寺・柳生の庄
「税金の常識・非常識」
麻布税務署第一統括官 渡井英雄
「バランス・シートの話」
TOM経営研究所所長 持木邦子

- 長崎県雲仙普賢岳一九八八年ぶりに噴火
- 日本人初の宇宙飛行士
- 湾岸戦争始まる。アメリカ軍を中心とする多国籍軍は(日本時間同日午前九時)を期してイラク側戦略拠点に攻撃を開始した
- 鈴木都知事が四選出馬を表明磯村(自民、公明、民社)候補と対決
- 新都庁舎が落成。
総工費一六〇〇億円
- ソ連大統領が初来日

五月 一七日	ゴルフ大会
二九日	第二〇回総会
〃	講演会
六月 六日	正副会長・委員長会議
二六日	第一八回 フリートリーキング
〃	体験教室
七月 三日	幹事会
二四日	税務研修会
二七日	バーベキュー大会
九月 四日	幹事会
一日	ゴルフ大会
一八日	研修会
一〇月 三日	正副会長・委員長会議
九日	第一九回 フリートリーキング
〃	体験教室
二五日	ボウリング大会
一月 六日	幹事会

○第五五回ゴルフ大会 富里G・C
優勝 秋元幸久

○青山ダイヤモンドホール 通常総会

○「日米ユーモア比較論」
放送作家 デイビット・スペクター

○青山慕魯和 「神様はサイコロを振らない」
成瀬勝

○「御禁制米を食べる」

○麻布税務署

①新任担当官の挨拶及び自己紹介
②国税機構改革の説明
③平成三年度税制改革のあらまし

○第五回 アークヒルズバーベキューガーデン

○第五六回ゴルフ大会 武蔵富士C・C
優勝 坂本章二

○乃木坂ヒューモア 新入会員研修会

○乃木坂ヒューモア
「私と音楽とビジネス」 山森由利子

○「弦楽四重奏の夕べ」

○第一二回署對抗ボウリング大会
優勝 佐藤太加之

●雲仙普賢岳で大火砕流発生、
多数死傷

●ロシア大統領にエリツィン

●富士銀行が架空預金使い不正
融資

●ソ連保守派クーデター

●大相撲は若、貴ファイバーが
続く

●ヨーロッパ統合市場創設で合
意(EC)

平成	四月	一月	九月	二月	六月	一月	九日	二月	六日	正副会長・委員長会議	一月	五日	正副会長・委員長会議	一月	四日	ゴルフ大会
																○第五七回ゴルフ大会 優勝 辺見廣明 成田ハイッリーG・C
																○第七回 麻布クラブ
																○赤坂 津つ井
																○霞会館
																○霞会館
																○第五八回ゴルフ大会 ウイソルソソロイヤルC・C 優勝 尾関武男
																○霞会館 フリー・ディスカッション テーマ 「こんな税金いらぬ・こんな税金な らぬ」
																○霞会館
																○コンフィデンシャル七〇号発行
																○霞会館
																○新潟六日町・龍言 「税の風土と納税意識」 「調査と兵法」 松坂勇 小又光雄
																○霞会館
																○青山ダイヤモンドホール 通常総会
																○「ニュースの現場から」 ニュースキャスター 小宮悦子
																○霞会館
																正副会長・委員長会議
																第二一回総会
																講演会
																幹事会
																幹事会
																一泊研修会
																正副会長・委員長会議
																会報発行
																幹事会
																ゴルフ大会
																青年部会第二ブロック 発会式
																正副会長・委員長会議
																幹事会
																クリスマスパーティー
																ゴルフ大会

● 流し網漁全面禁止へ

● ソ連消滅、ゴルバチョフ大統領
辞任へ

● 来日中のブッシュ米大統領歓
迎夕食中に倒れる

● 経済企画庁は景気拡大は昨年
一月～三月で幕一いざなぎに
並んだ」は幻

● 暴力団対策法が一日より施行
され、山口組を一斉摘発

● ロシア北部で「核汚染による
ガン?」でアザランが数千頭
死亡、ロシアの核管理の不備
が表面化

● ロス暴動が拡大、二月には連
邦軍の動員決定

● 「サザエさん」の作者、長谷
川町子さん死去

九月 九日	ゴルフ大会	○第五九回ゴルフ大会 清川 C・C 優勝 大原正則
二六日	体験教室	○「いまどきの麦酒学」 青山ラ・クラース 麦酒学講座
二九日	第二回連絡協議会	○ホテル東京ガーデンパレス
七月 一日	幹事会	○霞会館
八月 一日	バーベキュー大会	○第六回アークヒルズバーベキューガーデン
五日	正副委員長会議	○霞会館
二七日	座談会	○重箱 署幹部と正副会長委員長対談
九月 二日	幹事会	○霞会館
一六日	全法連税制改正要望大会	○法人会合同
一七日	税務研修会	○霞会館 「知っておきたい税情報」 各関係担当
一〇月 七日	幹事会	
八日	第二ブロックゴルフ大会	○キングフィールズゴルフクラブ サンエー・クラブ八名参加
二二日	設立二〇周年記念式典	○ホテルニューオータニ

●佐川急便、政界をゆるがす
金丸副総裁辞任
●政府一〇兆円を越す総合経済
対策を發表

●エリツイン大統領、来日をキ
ヤンセル
●学校五日制始まる
●銀行の社名変更さくら銀行に
つづきあさひ銀行



法人会推移表



サンエー・クラブ幹事組織図

歴代幹部推移表

51年	52年	53年	54年	55年	56年	57年
←由比 盛靖→		椎 津	栄三郎		←黒川 光朝	
		廣 瀬	宇		←中川 英造	
	←安 達	政 敏	←阿 藤	朋 秋	←棟朝 幸夫	
		黒川 光朝			←廣瀬 宇	
		高野 信			←阿藤 朋秋	
←椎津栄三郎→				←荒木 敬正		
←梶山 正哉→		←大牟田武文→	←信定 郷男→	←小松 正→	←北川 烈→	
←小林 松夫→	←伊藤 敏勝→	←斎 藤 博→		←松田 栄二→	←渡辺 昭寿→	
←三上 孝→	←坂井 孝→	←徳田澄則→	←高島 守→	←来山 辰雄→	←辺見 憲二→	
←小 菅 英 二→		←小池 政男→	←加 茂 良 二→		←鈴木 充→	
←山崎 博光→	←大場 勝→	←佐々木 慧 寿→		←渡 部 彬→		
←佐藤 正男→	←佐川 清吉→		←高田 一 徳→		←入江啓四郎→	
←鈴木 靖男→		←岩下 典博→	←武田 裕二→	←入江啓四郎→	←山村 亨	
					←村上 孝伸→	
←丁田 宏→	←高橋 良久→	←門野 久男→	←佐藤 哲三→	←栄 田 操		

62年	63年	元年	2年	3年	4年	5年
		黒川 光朝		←荒木 敬正		
	田代 喜久男			桑田 弘一郎		
	白石 光正			阿藤 朋秋		
	廣瀬 宇			白石 光正彦		
	阿藤 朋秋			下 文彦		
	荒木 敬正			藤 森 脩 一		
				椎 津 忠 三		
←小澤 康男→	←宮島 義忠→	←南 袈裟雄→	←都築 隆也→	←佐藤 清勝→	←伊藤 英男	
←赤羽 孝雄→	←山口 勇策→		←渡 辺 進		←田中 信昭	
←大小田 正行→		←渡 井 英雄		←松 坂 勇		
←上村 信彦→	←瀬川 福美→	←小畑 孝雄→	←白 水 寛 治		←永田 満	
←上田 幸穂→		←水野 清孝		←小 林 洋 嗣		
←下藤 俊文→	依田 悦子					
	本多 哲		←西尾 公成		←柴田 拓保	
		←廣瀬 由美	←小田山 政男		←山中 有子	
←穴沢美江子→	←坂野 章		←菊地 弥		←樋口 秀	

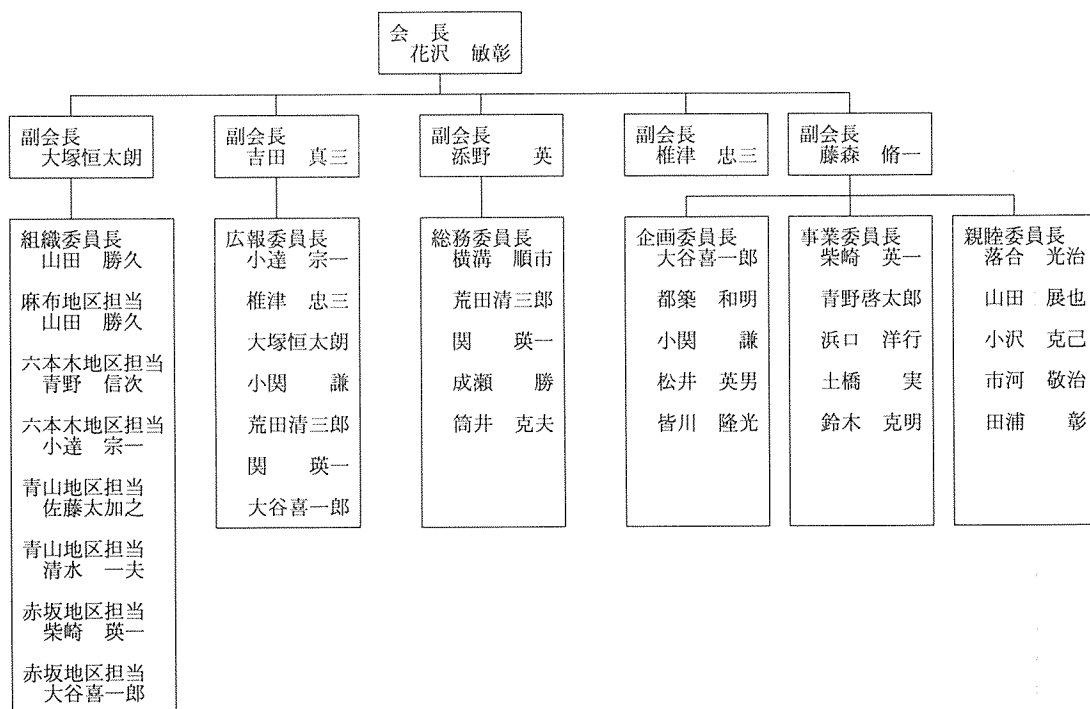
法人会・税務署の

年度		46年	47年	48年	49年	50年	51年
区分							
法人会	会長	←河合良→		←宇賀神 金四郎→			
	副会長	←由比盛靖→					
		←岩下茂作→					
		←宇賀神 金四郎→		←黒川 光朝→			
		←横田 武夫→				←高野 信一→	
		←椎津 栄三郎→					
税務署	署長	←林 邦男→		←日向 堅二→		←照沼 利男→	
	副署長	←阿部 隆→		←種村 義男→		←小林 松夫→	
	1 統括	←水野 俊治→		←木下 正義→		←三上 孝→	
						←小菅 英二→	
	上席 法人指導	←羽生 武→		←山崎 博光→		←佐藤 正男→	
				←松村 喜好→		←松島富美雄→	
				←蓬田 正→			
源泉指導							

年度		57年	58年	59年	60年	61年	62年
区分							
法人会	会長			黒川 光朝			
	副会長	←中川 英造→		←田代 喜久男→			
				←棟朝 幸夫→			
				←廣瀬 宇一→			
				←阿藤 朋秋→			
				←荒木 敬正→			
税務署	署長	←川島 貢→	←市原 正彦→	←須藤 昇→	←有賀 秀雄→	←北島 孝康→	
	副署長	←濱田 常吉→	←武田 弘三郎→	←中野 武彦→			
	1 統括	←笠原 博→	←荒井 賢二→	←宮川 智芳→	←小池 政男→	←大林 広光→	
		←久保川 輝昭→	←岡野 欣司→	←関場 孝祐→			
	上席 法人指導	←新沼 勇三→	←萩元 久志→	←中司 康政→			
		←萩元 久志→	←磯島 和夫→	←佐藤 眞哉→	←下藤 俊文→		
		←山村 亨→	←今井せつ子→	←天野 修二→	←中川 良英→		
源泉指導	←篠崎 悟→	←鳩野 長昭→					

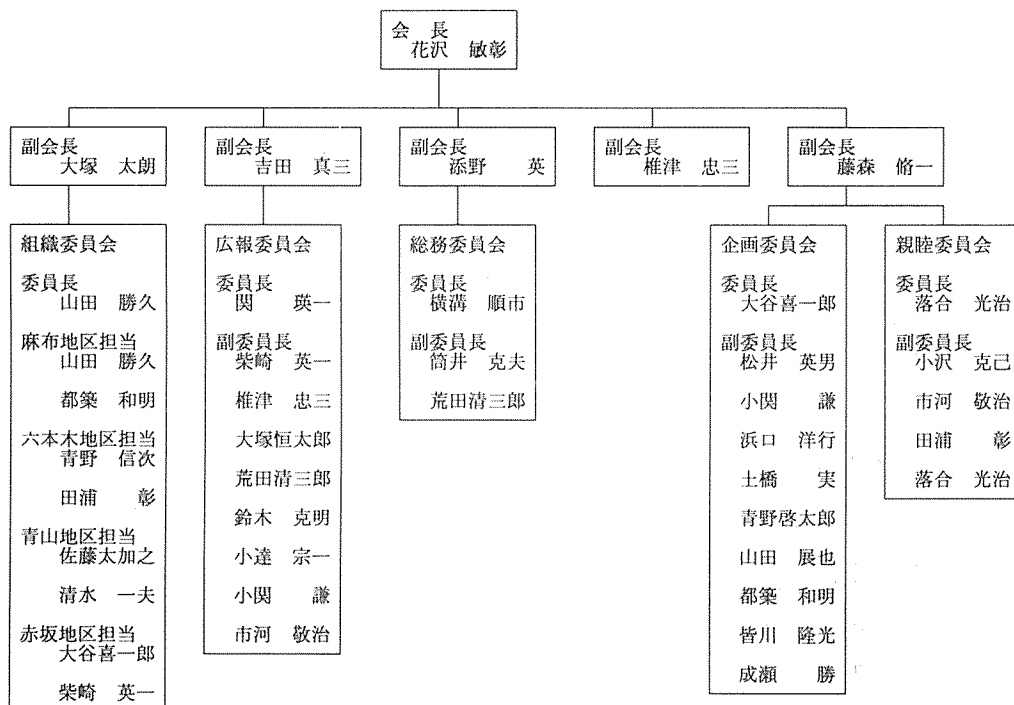
昭和52年度（第6回総会）幹事組織図

相談役 広瀬 宇一
 " 長谷部 功喜
 会計監査 山崎 謙治
 " 佐藤 太加之



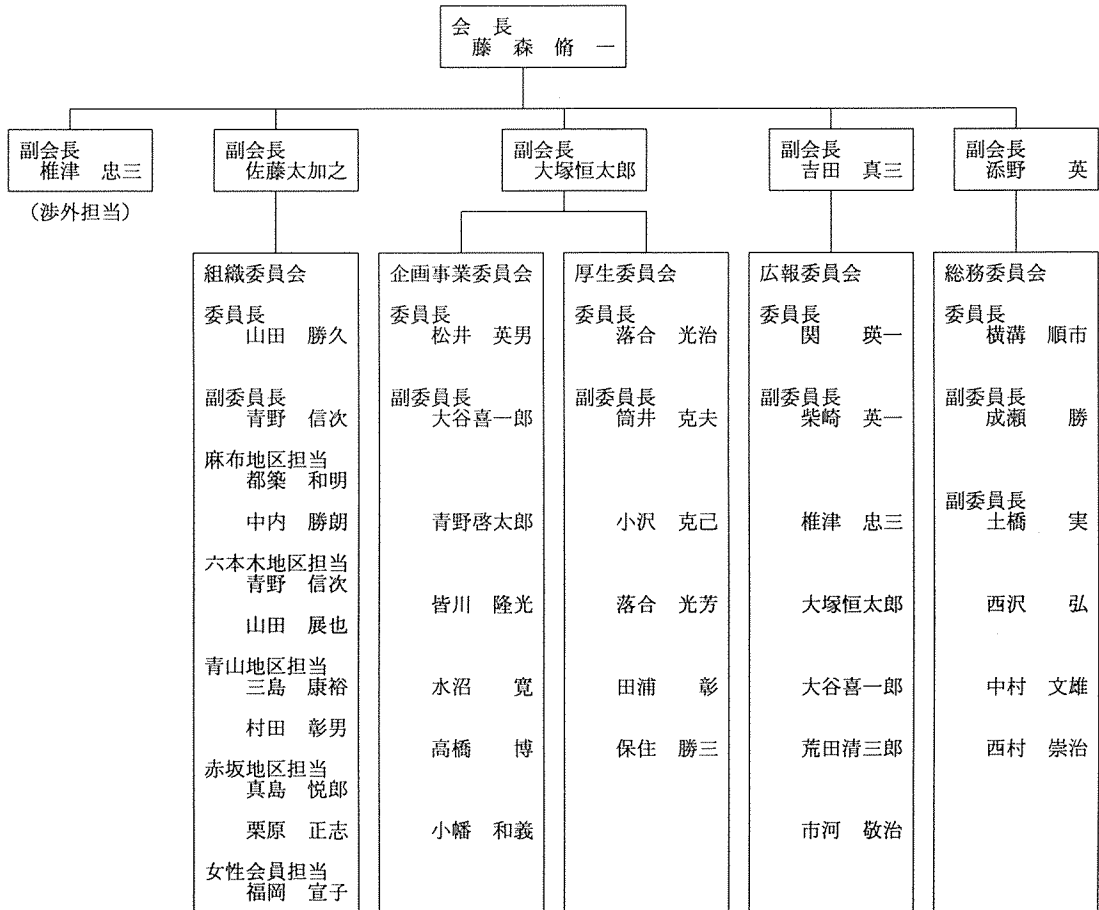
昭和53年度（第7回総会）幹事組織図

相談役 広瀬 宇一
 " 長谷部 功喜
 会計監査 山崎 謙治
 " 佐藤 太加之



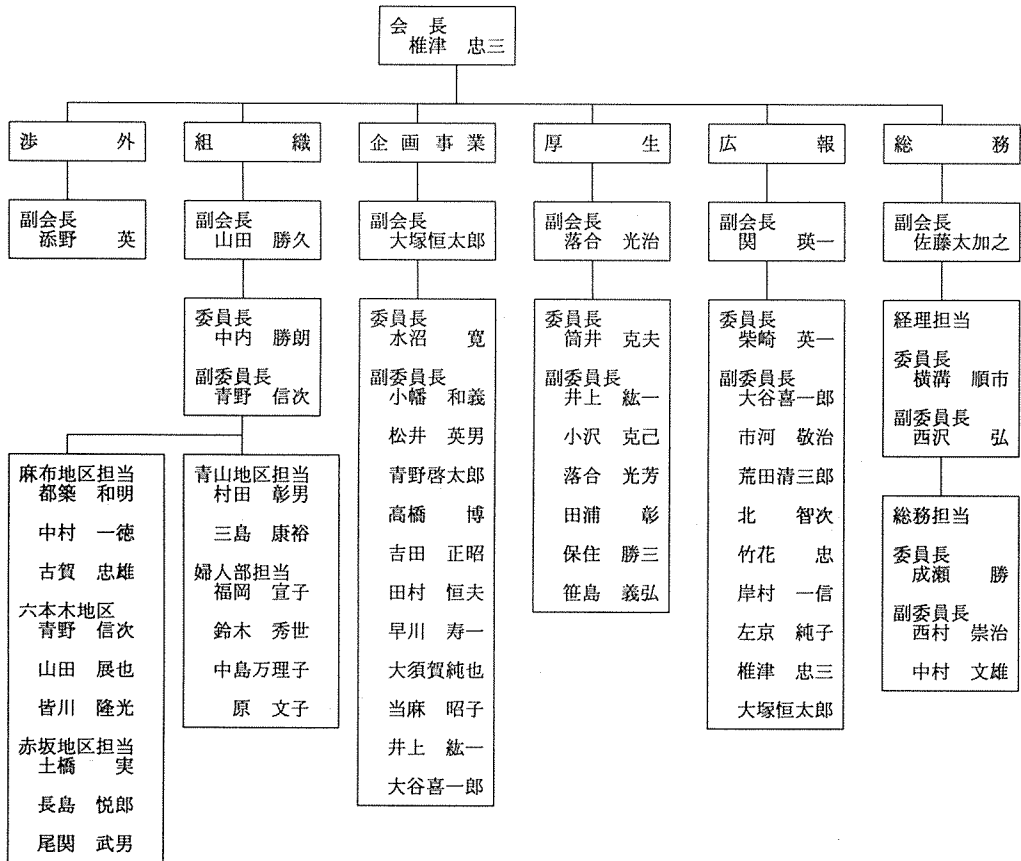
昭和54年度（第8回総会）幹事組織図

相談役 花 沢 敏 彰
 " 長谷部 功 喜
 会計監査 山 崎 謙 治
 " 浜 口 洋 行



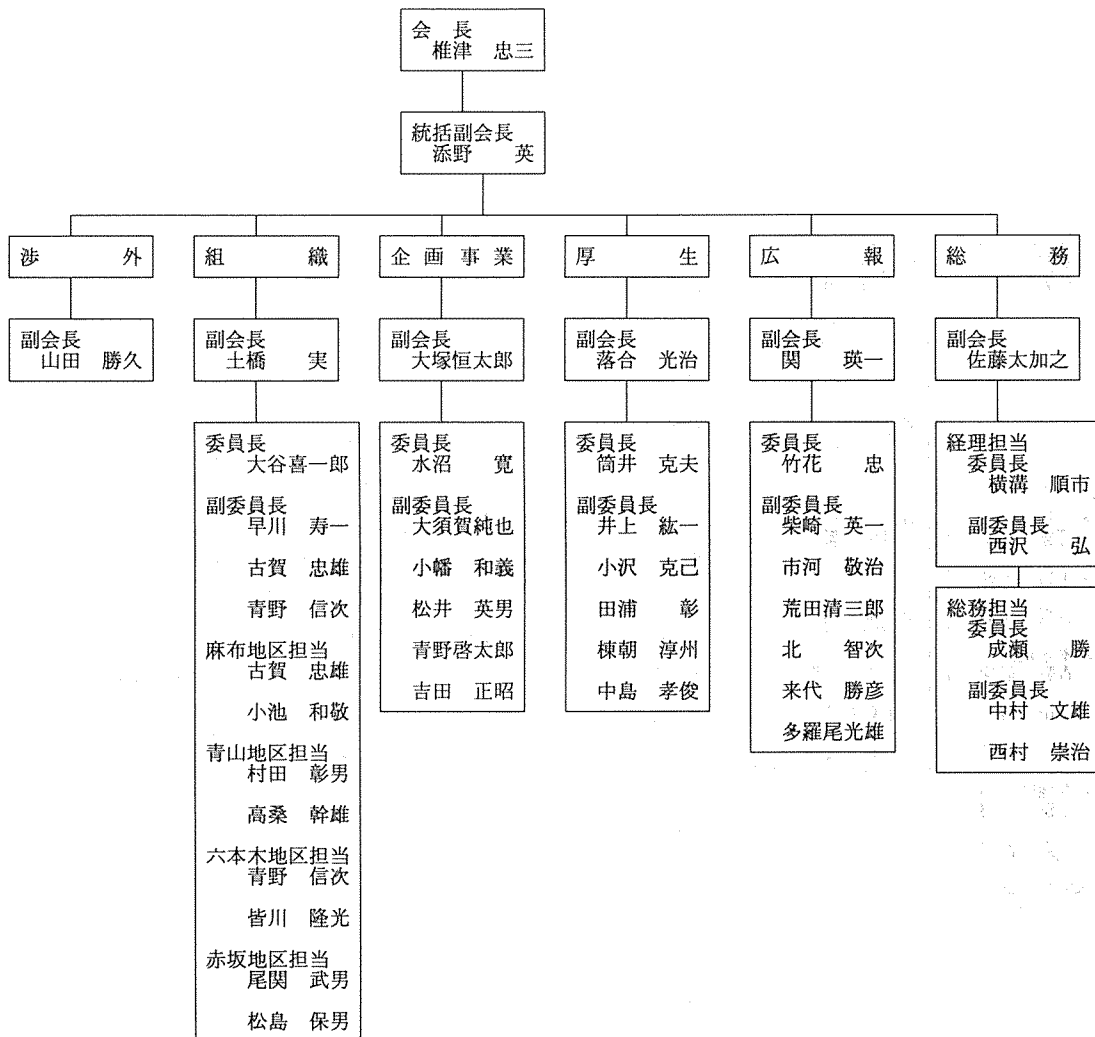
昭和56年度（第10回総会）幹事組織図

相談役 長谷部 功 喜
 " 花 沢 敏 彰
 " 藤 森 脩 一
 " 吉 田 真 三
 会計監査 山 崎 謙 治
 " 浜 口 洋 行



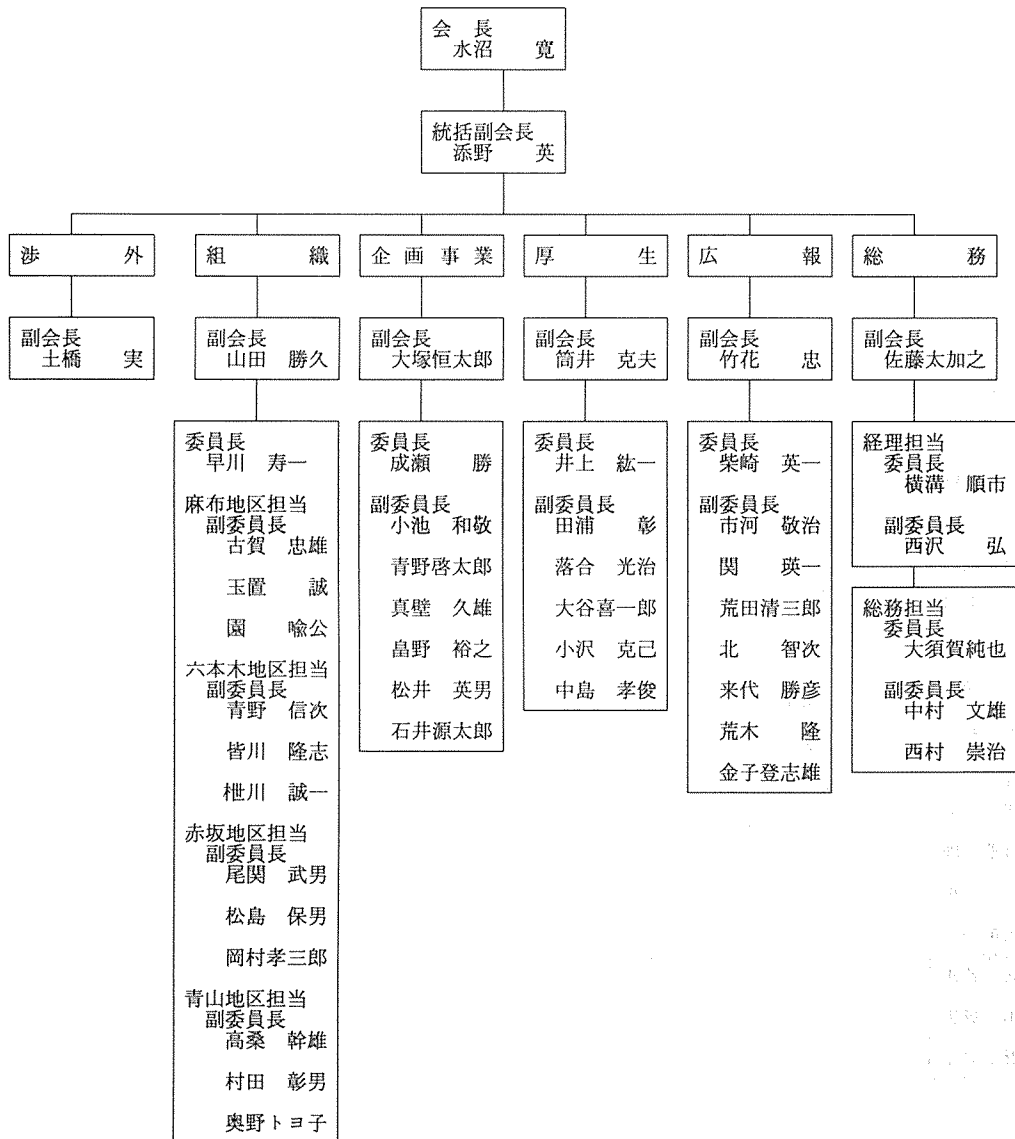
昭和58年度（第12回総会）幹事組織図

相談役 長谷部 功 喜
 " 花 沢 敏 彰
 " 藤 森 脩 一
 会計監査 山 崎 謙 治
 " 浜 口 洋 行



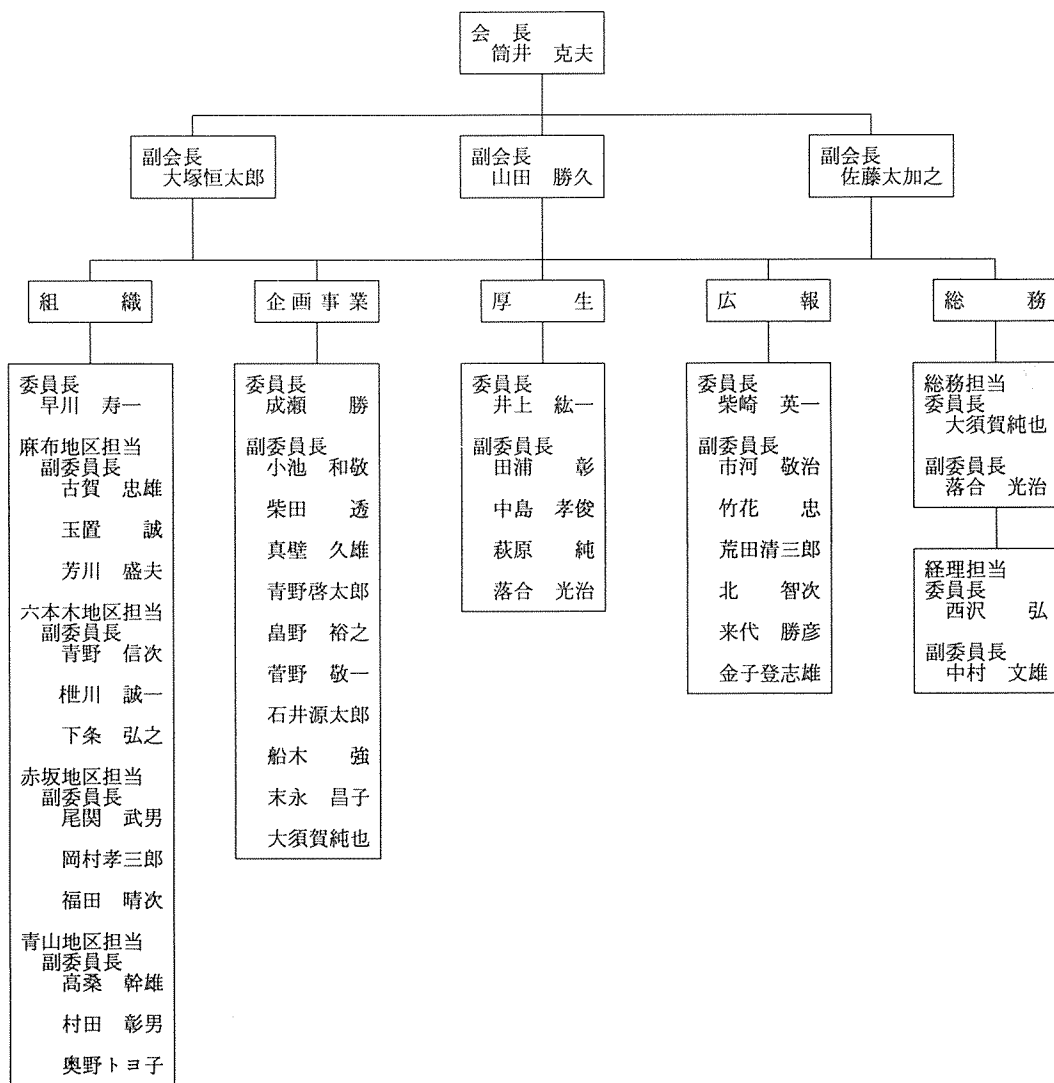
昭和60年度（第14回総会）幹事組織図

相談役 長谷部 功 喜
 " 花 沢 敏 彰
 " 藤 森 脩 一
 " 椎 津 忠 三
 会計監査 小 幡 和 義
 " 吉 田 正 昭



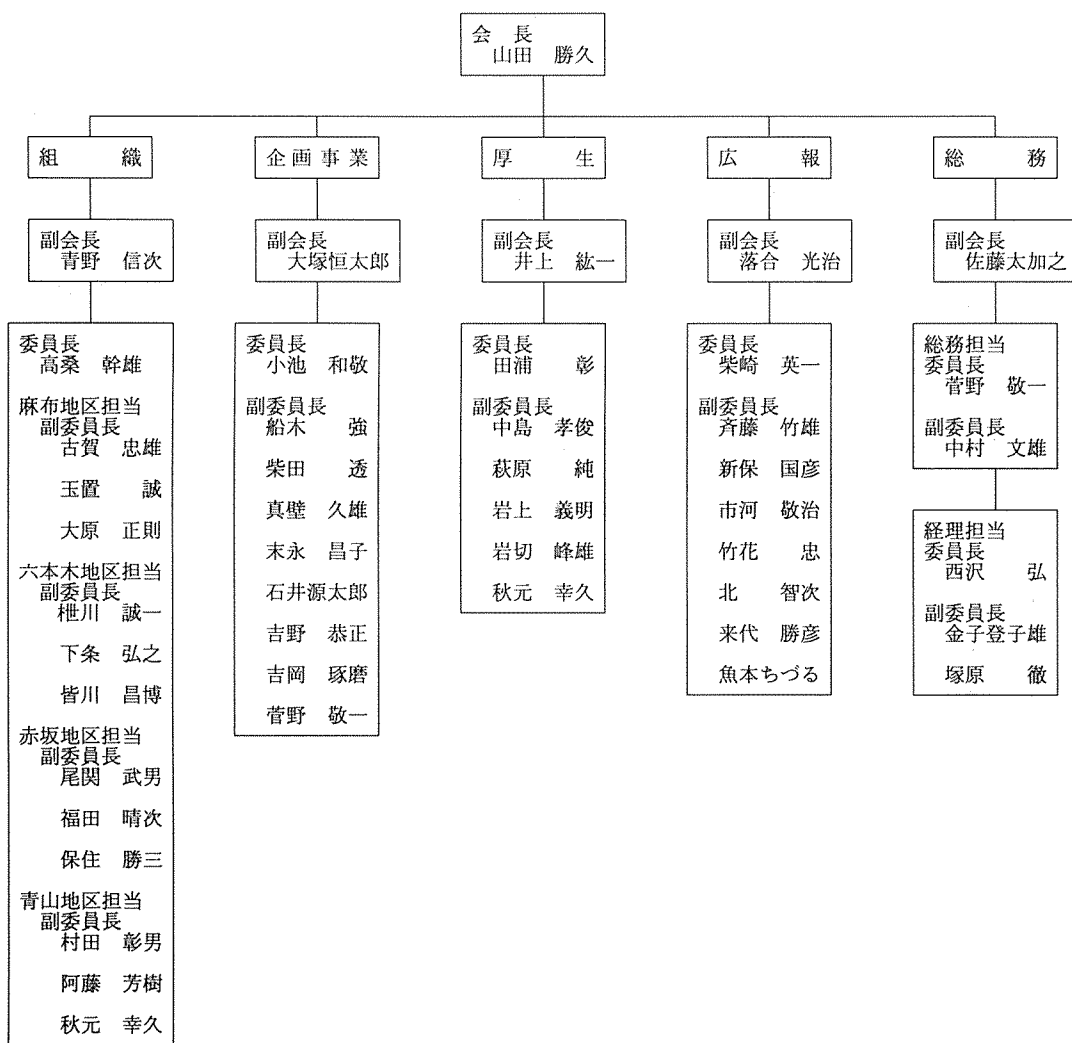
昭和62年度（第16回総会）幹事組織図

顧問 初代会長 花 沢 敏 彰
 二代 " 藤 森 脩 一
 三代 " 椎 津 忠 三
 相談役 四代 " 水 沼 寛
 会計監査 小 幡 和 義
 " 関 英 一



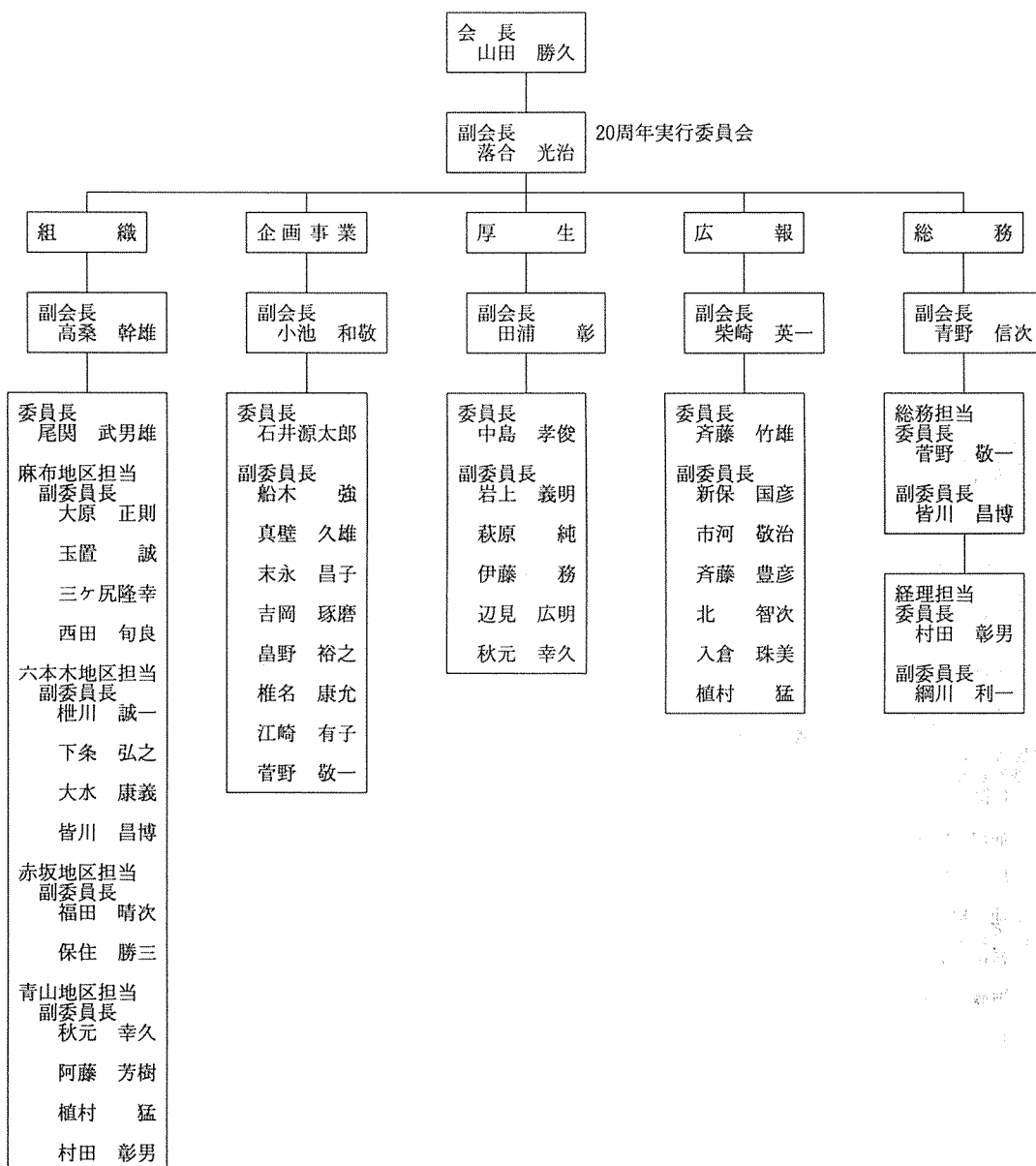
平成元年度（第18回総会）幹事組織図

顧問 初代会長 花 沢 敏 彰
 二代 " 藤 森 脩 一
 三代 " 椎 津 忠 三
 四代 " 水 沼 寛
 相談役 五代 " 筒 井 克 夫
 会計監査 大 谷 喜 一 郎
 " 関 英 一



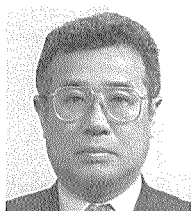
平成3年度（第20回総会）幹事組織図

顧問	初代会長	花 沢 敏 彰
	二代 "	藤 森 脩 一
	三代 "	椎 津 忠 三
	四代 "	水 沼 寛
相談役	五代 "	筒 井 克 夫
	"	佐 藤 太加之
会計監査		大 谷 喜一郎
	"	来 代 勝 彦





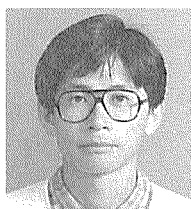
会 員 名 簿



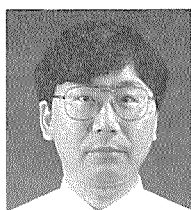
青野 啓太郎 (昭和13年1月17日)
(株) 赤坂青野総本舗 代表取締役
〒107 港区赤坂7-11-9
TEL 03-3585-0002 FAX 03-3589-0050
業務内容：和菓子製造販売



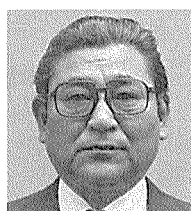
青野 信次 (昭和18年11月1日)
(株) 麻布青野総本舗 代表取締役
〒106 港区六本木3-15-21
TEL 03-3404-0020 FAX 03-3404-0076
業務内容：和菓子製造販売



秋元 幸久 (昭和26年1月1日)
海老屋商事(株) 代表取締役
〒107 港区南青山3-1-28 エビヤビル9F
TEL 03-3479-2128 FAX
業務内容：不動産賃貸業



阿藤 芳樹 (昭和29年4月5日)
(株) 阿藤ギャラリー 代表取締役副社長
〒107 港区南青山6-11-3
TEL 03-3400-1543 FAX 03-3400-4630
業務内容：西洋骨董品輸入販売



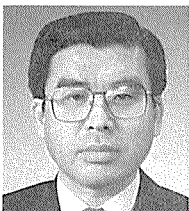
荒田 清三郎 (昭和12年9月7日)
(有) フジ巧芸社
〒106 港区西麻布3-1-25-601
TEL 03-3408-8430 FAX
業務内容：写真業



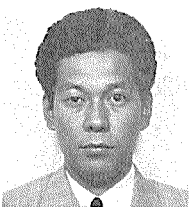
有馬 宗雄 (昭和6年9月16日)
(有) 有馬写真館 代表取締役
〒107 港区赤坂3-21-18
TEL 03-3582-1656 FAX
業務内容：写真業



飯 沼 晃 (昭和18年2月13日)
(有) クレール・ド・フォンテーヌ赤坂 取締役社長
〒107 港区赤坂4-3-5
TEL FAX
業務内容：ホテル、サウナ経営



石 井 源太郎 (昭和22年1月1日)
(株) 竹皮屋 専務取締役
〒106 港区六本木6-4-5
TEL 03-3403-4681 FAX 03-3403-4682
業務内容：不動産管理・賃貸



伊 勢 友 一 (昭和36年2月10日)
(有) 伊勢幸食品
〒107 港区赤坂2-23-2
TEL 03-3586-0819 FAX 03-3586-0820
業務内容：食料品製造販売



市 河 敬 治 (昭和23年8月15日)
(有) 大信商会 店員
〒106 港区六本木3-15-18
TEL 03-3583-2081 FAX 03-3583-2063
業務内容：古美術商



伊 藤 努 (昭和28年1月1日)
医療法人社団 青山歯科医院 常務理事
〒107 港区南青山5-1-20
TEL 03-3400-5200 FAX
業務内容：歯科医業



稲 見 節 子 (昭和22年5月10日)
科学技術情報研究所(株) 代表取締役
〒107 港区赤坂8-13-13 ボーン赤坂503
TEL 03-3423-2400 FAX 03-3470-4141
業務内容：海外向技術情報サービス



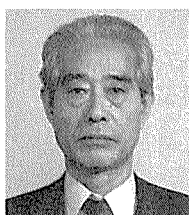
入倉 珠美 (昭和39年11月17日)
(有) ザ・ケネル・ギャラリー 取締役社長
〒107 港区南青山4-25-2
TEL 03-3407-2226 FAX
業務内容：犬・ペット用品卸、動物に関する
美術品の販売



岩上 義明 (昭和27年7月9日)
キャピタル開発(株) 代表取締役
〒106 港区麻布台1-4-3 フェニックスビル4F
TEL 03-3586-1235 FAX 03-3582-9086
業務内容：貸ビル業、飲食業、他婦人服・子
供服販売業



岩切 峰 雄 (昭和27年4月12日)
(株) ジュエル ミネ 代表取締役
〒107 港区南青山2-2-15 ウィン青山602号
TEL 03-3408-3518 FAX 03-3408-3430
業務内容：宝石、貴金属



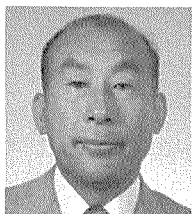
上野 正雄 (昭和9年1月5日)
(株) 政策開発機構 代表取締役
〒107 港区南青山5-12-28
TEL 03-3400-9870 FAX 03-3400-9495
業務内容：調査・統計(その他のサービス業)



植村 猛 (昭和26年8月21日)
(株) パーク・コーポレーション 専務取締役
〒107 港区南青山4-20-3 メゾンド・ラーク303
TEL 03-5474-2960 FAX 03-5474-2961
業務内容：生花販売及び生込、陶芸品販売、
パーティ企画手配



魚本 ちづる (昭和 年 月 日)
(株) グランヴェール
〒106 港区六本木7-21-17
TEL 03-3479-6477 FAX
業務内容：不動産一般



浮田 勲 (昭和17年3月13日)
日優企業(株) 代表取締役
〒106 港区六本木3-4-22 U-ハイム301号
TEL 03-3583-2714 FAX 03-3585-4658
業務内容：損害保険代理業、他



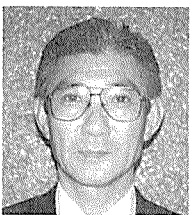
江崎 有子 (昭和26年9月11日)
(株) トウ・フォ・ティー 代表取締役
〒107 港区南青山1-26-16-709
TEL 03-3403-8697 FAX 03-3403-7487
業務内容：スポーツウェア制作、企画、
販売



江連 秀樹 (昭和31年6月8日)
(株) カサベルダ 取締役
〒106 港区六本木7-21-1
TEL 03-3479-5649 FAX 03-3479-5704
業務内容：保険代理業



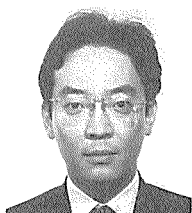
江村 義明 (昭和22年8月12日)
(有) 六本木狸だんご本舗 取締役
〒106 港区六本木4-10-12
TEL 03-3401-8534 FAX
業務内容：和菓子製造



大須賀 純也 (昭和13年7月17日)
三州ビル(株) 代表取締役
〒107 港区赤坂7-8-7
TEL 03-3582-3756 FAX 03-3583-6650
業務内容：ビル管理



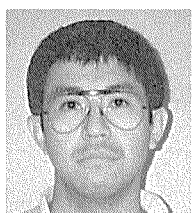
大谷 喜一郎 (昭和19年6月9日)
(有) 重箱 代表取締役
〒107 港区赤坂2-17-61
TEL 03-3583-1319 FAX 03-3583-1339
業務内容：うなぎ料理



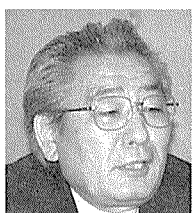
大塚隆朗（昭和32年11月22日）
市街地開発(株)
〒107 港区北青山3-3-7 第一青山ビル3F
TEL 03-3403-2571 FAX
業務内容：不動産業



大原正則（昭和26年5月11日）
大原興業(株) 代表取締役
〒106 港区南麻布2-1-11
TEL 03-3446-2430 FAX 03-3861-9474
業務内容：不動産管理



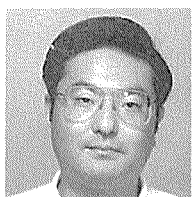
大水康義（昭和30年8月31日）
(株) 大水硝子店 取締役
〒106 港区六本木3-7-18
TEL 03-3401-9925 FAX 03-3402-3227
業務内容：ガラス、鏡、小売、加工、施工



岡田一利（昭和8年5月9日）
東京コーラルフィルム(株) 代表取締役
〒107 港区南青山5-9-15 共同ビル新青山
TEL 03-3407-4611 FAX 03-3486-7418
業務内容：映像制作



岡村孝三郎（昭和12年5月7日）
(有) 岡村多聞堂 社長
〒107 港区赤坂2-13-19
TEL 03-3582-1621 FAX
業務内容：額縁製造



荻原純（昭和35年8月27日）
荻原舞台美術(株) 常務取締役
〒108 港区白金1-6-3
TEL 03-3444-2244 FAX 03-3444-2263
業務内容：舞台美術



小 沢 克 己 (昭和19年11月26日)
株式会社 パティネ・スポーツ
〒105 港区虎ノ門2-2-5
TEL 03-3585-4030 FAX 03-3588-8748
業務内容：スポーツ用品販売



尾 関 武 男 (昭和17年 8月22日)
株式会社 アンゼン・パックス 代表取締役
〒107 港区赤坂2-23-10
TEL 03-3585-0052 FAX 03-3588-9174
業務内容：パッケージ企画、販売



落 合 光 治 (昭和18年 8月12日)
オーエム商事株式会社 代表取締役
〒106 港区六本木1-7-28
TEL 03-3585-0246 FAX 03-3505-2340
業務内容：不動産管理



落 合 光 芳 (昭和25年 2月12日)
有限会社 荘 苑 代表取締役
〒106 港区六本木3-4-2-802
TEL 03-3583-2011 FAX 03-3583-2012
業務内容：貸ビル業



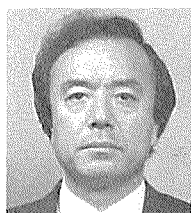
小 幡 光 (昭和24年 1月18日)
東光通商株式会社 取締役総務部長
〒107 港区南青山5-9-15 共同ビル新青山
TEL 03-3409-5831 FAX 03-3409-2717
業務内容：輸入商社



加 賀 谷 茂 知 (昭和17年 7月30日)
六本木共同ビル株式会社 経理部長
〒106 港区六本木5-5-1
TEL 03-3404-2357 FAX 03-3478-4143
業務内容：ビル管理業



笠原 忠 (昭和20年1月2日)
(有)三徳 代表取締役
〒107 港区赤坂9-5-26 パレス乃木坂101
TEL 03-3479-3929 FAX
業務内容：飲食店（焼肉レストラン）



榎川 誠一 (昭和21年11月22日)
(株)誠志堂書店 専務取締役
〒106 港区六本木7-14-10
TEL 03-3404-8551 FAX 03-3404-8168
業務内容：新刊書籍・雑誌販売業



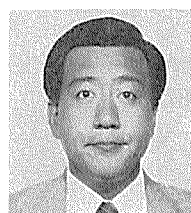
加藤 光男 (昭和15年10月9日)
(有)加藤商店 取締役
〒106 港区六本木5-1-5
TEL 03-3402-8426 FAX 03-3402-8415
業務内容：砂糖、小麦粉卸商



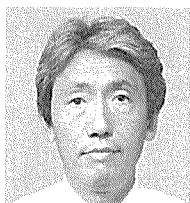
川合 寛二 (昭和8年3月25日)
(株)赤坂柿山 代表取締役
〒107 港区赤坂3-6-10
TEL 03-3585-9990 FAX 03-3584-1767
業務内容：米菓製造販売



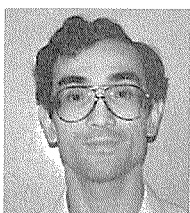
来代 勝彦 (昭和20年4月12日)
来代勝彦事務所 所長
〒105 港区芝大門1-4-4-112
TEL 03-3434-2326 FAX 03-3431-2777
業務内容：港区議員



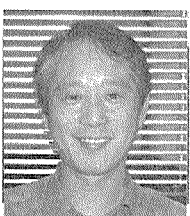
北 智次 (昭和28年3月31日)
(株)中誠堂
〒106 港区南麻布1-14-9
TEL 03-3452-3651 FAX 03-3798-4520
業務内容：印刷業



北村 昌弘 (昭和22年3月28日)
株式会社 スタジオ・M² 代表取締役社長
〒106 港区西麻布3-17-30 ベルフォン西麻布103号
TEL 03-3401-5230 FAX 03-3401-5565
業務内容：婦人子供服企画製造販売



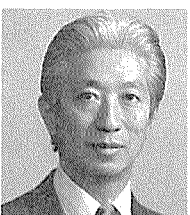
栗原 一 (昭和27年2月19日)
株式会社 栗原 取締役
〒107 港区赤坂7-11-7
TEL 03-3584-3871 FAX 03-3583-5651
業務内容：酒類食品販売



栗原 宏文 (昭和22年2月17日)
株式会社 栗原巧芸 代表取締役
〒106 港区南麻布2-1-3
TEL 03-3442-4814 FAX 03-3442-4814
業務内容：印刷業



栗原 正志 (昭和26年3月13日)
株式会社 千古満 代表取締役
〒107 港区赤坂2-13-7
TEL 03-3584-2876 FAX 03-3582-4023
業務内容：不動産賃貸、日本料理仕出し



黒川 光博 (昭和18年9月17日)
株式会社 虎屋 代表取締役社長
〒107 港区赤坂4-9-22
TEL 03-3403-3801 FAX 03-3479-7474
業務内容：和菓子製造販売



小池 和敬 (昭和23年3月19日)
株式会社 パシフィックゴルフ 代表取締役
〒106 港区六本木3-4-33
TEL 03-3407-8401 FAX 03-3407-8447
業務内容：ゴルフ用品卸・小売業



古賀 忠雄 (昭和14年11月12日)
(株) 古賀自動車工業所 代表取締役
〒106 港区西麻布3-5-16
TEL 03-3404-3825 FAX 03-3408-9184
業務内容：自動車整備



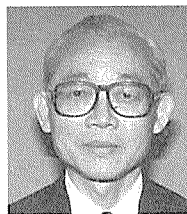
古道 和男 (昭和 年 月 日)
(有) 神宮前 増田屋
〒107 港区南青山3-13-18
TEL 03-3401-2513 FAX
業務内容：日本そば



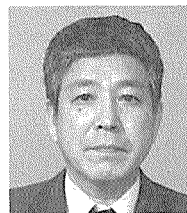
後藤 譲 (昭和7年5月1日)
(有) ユージー・アップ 代表取締役
〒106 港区六本木5-1-2
TEL 03-3408-0510 FAX 03-3408-0510
業務内容：貸ビル業、麻雀クラブ経営



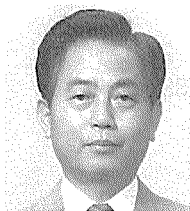
小林 奈央 (昭和11年1月1日)
(株) アド企画 専務取締役
〒106 港区西麻布3-20-13 木村ビル 4 F
TEL 03-3404-4887 FAX 03-3404-4425
業務内容：広告企画制作



子安 敏三 (昭和6年10月29日)
(株) 子安 代表取締役
〒106 港区六本木7-17-24
TEL 03-3478-4711 FAX 03-3478-4714
業務内容：薬局・化粧品店経営



近藤 正 (昭和7年10月11日)
(株) おつな寿司 代表取締役
〒106 港区六本木7-14-4
TEL 03-3401-9953 FAX 03-3402-0461
業務内容：飲食業 (すし販売)



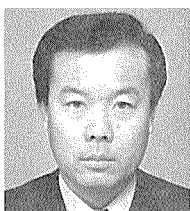
今野 信三 (昭和14年4月7日)
今野電気(株) 代表取締役
〒107 港区赤坂7-10-6
TEL 03-3582-6216 FAX 03-3557-1550
業務内容：電気商



斉藤 竹雄 (昭和21年4月14日)
(有) サイトー印刷所 代表取締役
〒106 港区東麻布1-27-11
TEL 03-3583-5964 FAX 03-3583-5810
業務内容：印刷一般



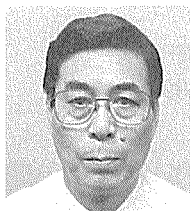
斉藤 豊彦 (昭和28年12月10日)
(株) 斉藤商店 取締役
〒106 港区六本木3-13-8
TEL 03-3401-9560 FAX 03-3403-3486
業務内容：酒類・食品・タバコ卸小売業
貸ビル



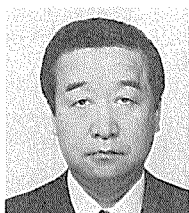
坂本章二 (昭和18年11月22日)
(株) シグマシステム 代表取締役
〒107 港区赤坂4-3-1 赤坂共同ビル201号
TEL 03-3586-7868 FAX 03-3588-0872
業務内容：不動産業



櫻井 武志 (昭和32年7月17日)
東京ブラインド工業(株) 取締役
〒106 港区麻布十番4-6-8
TEL 03-3455-2611 FAX 03-3455-2614
業務内容：ブラインド製造・販売インテリア
(室内装飾設計施工)



笹嶋 義弘 (昭和15年10月18日)
(有) 日興ランドリー 代表取締役
〒106 港区西麻布4-3-8
TEL 03-3400-6717 FAX 03-5466-0439
業務内容：クリーニング業



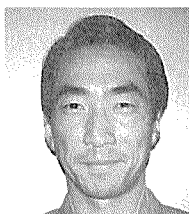
佐藤孝雄（昭和18年3月30日）
有松葉 代表取締役
〒107 港区赤坂3-9-16
TEL 03-3585-0711 FAX 03-3585-0715
業務内容：日本料理店（割烹 松葉）



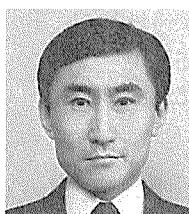
佐藤太加之（昭和15年9月30日）
株式会社 佐阿德 代表取締役
〒107 港区北青山3-6-16
TEL 03-3400-3819 FAX 03-3409-5300
業務内容：飲食業（蒲焼割烹）



椎津忠三（昭和7年2月13日）
日本室内設備工業株式会社 専務取締役
〒106 港区六本木5-16-8
TEL 03-3582-2641 FAX 03-3582-0298
業務内容：室内装飾



椎名康允（昭和27年4月18日）
株式会社 東勢 代表取締役
〒106 港区元麻布3-10-23
TEL 03-3408-5388 FAX
業務内容：不動産管理



塩田博文（昭和28年11月15日）
合寿屋 専務
〒107 港区南青山5-10-19
TEL 03-3400-8988 FAX 03-3408-0128
業務内容：西洋美術品商



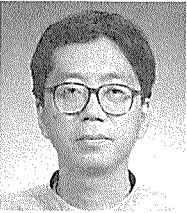
重松公（昭和39年11月12日）
株式会社 重松商事 取締役営業
〒107 港区赤坂2-10-9 ランディック第二ビル
TEL 03-3585-6030 FAX 03-3588-1321
業務内容：総合インテリア



柴崎 嘉寿隆 (昭和28年11月6日)
(株) 柴崎事務所 代表取締役
〒107 港区南青山6-3-11-401
TEL 03-3499-3545 FAX 03-3499-2719
業務内容：ビル管理、内装業



柴崎 英一 (昭和23年9月20日)
(株) 信和ビル 役員
〒107 港区赤坂2-10-8
TEL 03-3584-1733 FAX
業務内容：賃貸業



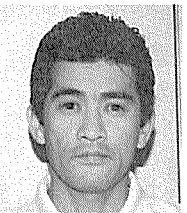
下条 弘之 (昭和21年12月1日)
(株) 下条商店 取締役社長
〒106 港区六本木3-14-8
TEL 03-3401-8148 FAX 03-3404-8941
業務内容：米販売業



新保 國彦 (昭和19年6月9日)
(株) ほうらいや 専務取締役
〒106 港区六本木5-2-1
TEL 03-3478-3322 FAX 03-3403-4870
業務内容：建築・不動産賃貸



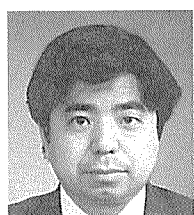
末 永昌子 (昭和22年2月3日)
アイクインターナショナル(株) 代表取締役社長
〒107 港区南青山2-2-15 ウィン青山514
TEL 03-3405-7911 FAX 03-3405-7798
業務内容：旅行代理店業



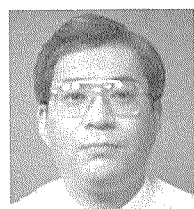
菅野 敬一 (昭和26年11月24日)
(株) 菅野製作所 常務取締役
〒106 港区南麻布2-13-26
TEL 03-3454-2431 FAX 03-3454-2435
業務内容：精密板金加工



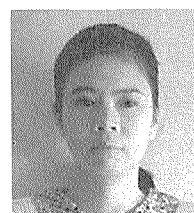
杉浦 功一 (昭和18年3月15日)
(有) 六本木パーレット 取締役
〒106 港区六本木4-10-8
TEL 03-3401-8425 FAX
業務内容：ビル管理及びカメラ、DPE



杉本 秀高 (昭和30年6月28日)
(株) クレバー 代表取締役
〒106 港区東麻布1-28-1
TEL 03-3588-1332 FAX 03-3589-7838
業務内容：コンピューターシステム開発



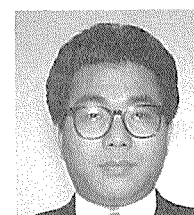
祐川 康博 (昭和24年1月2日)
(株) 同栄 総務部長
〒106 港区西麻布4-1-5
TEL 03-3400-8241 FAX 03-3406-0741
業務内容：不動産業



鈴木 秀世 (昭和25年8月18日)
(有) 鈴和商事 取締役
〒106 港区西麻布4-2-9
TEL 03-3409-0272 FAX 03-3409-0272
業務内容：薬店経営



住谷 栄之資 (昭和18年4月1日)
(株) ダブルユー・ディー・アイシステム 専務取締役
〒106 港区六本木5-5-1 ロアビル9F
TEL 03-3478-4136 FAX 03-3404-3428
業務内容：サービス業



住永 保博 (昭和25年7月18日)
(株) エンドレスエコー CRM部部长
〒106 港区西麻布3-20-14
TEL 03-3404-4573 FAX 03-3404-4587
業務内容：映像制作



関 瑛 一 (昭和15年10月10日)
医療法人社団清潤会 北青山病院 理事長
〒107 港区北青山3-9-3
TEL 03-3409-3661 FAX 03-3409-4290
業務内容：病院



添 野 英 (昭和10年8月19日)
テックトレーディング(株) 代表取締役
〒106 港区六本木1-7-28-902
TEL 03-3582-0061 FAX 03-3894-0446
業務内容：精密機械部品販売



田 浦 彰 (昭和28年5月31日)
(株) 田浦電機 専務取締役
〒106 港区六本木1-3-41 アークヒルズサイドビル
TEL 03-3583-3475 FAX 03-3583-3507
業務内容：家電品販売及び電気工事



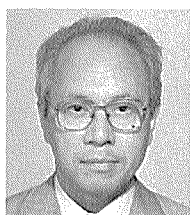
高 桑 幹 雄 (昭和21年10月4日)
(株) 高桑建物 代表取締役
〒107 港区北青山3-5-11-415
TEL 03-3401-2161 FAX 03-3478-6985
業務内容：不動産賃貸



高 野 三千子 (昭和16年5月25日)
(有) 三珠商事 取締役
〒107 港区赤坂3-12-22 竹下ビル 2F
TEL 03-3586-1406 FAX
業務内容：飲食業



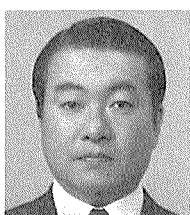
高 橋 博 (昭和16年4月22日)
(株) 塩野 代表取締役
〒107 港区赤坂2-13-2
TEL 03-3582-1881 FAX 03-3589-3802
業務内容：和菓子製造販売



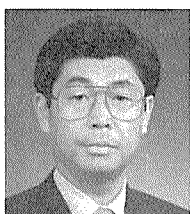
竹花 忠 (昭和15年9月2日)
(株) 第一代理店 専務取締役
〒107 港区赤坂3-1-2 AIUビル6F
TEL 03-3585-1941 FAX 03-3585-4430
業務内容：生損保代理業



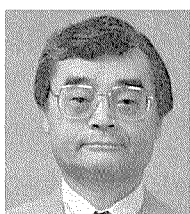
玉置 誠 (昭和17年9月16日)
(株) ダイヤトリコ 代表取締役
〒106 港区西麻布3-20-14
TEL 03-3408-8690 FAX 03-3408-6981
業務内容：婦人ニット製品製造販売



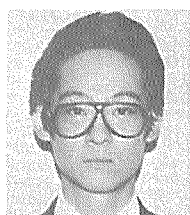
田村 恒夫 (昭和19年6月2日)
(株) 米作 取締役社長
〒107 港区赤坂2-8-16
TEL 03-3583-2026 FAX 03-3583-2036
業務内容：飲食業



多羅尾 光彦 (昭和21年8月27日)
相互印刷(株) 取締役社長
〒130 墨田区錦糸4-16-17
TEL 03-5608-8251 FAX 03-5608-8250
業務内容：印刷業



筒井 克夫 (昭和11年8月7日)
(株) 津々井 代表取締役
〒107 港区赤坂5-5-7
TEL 03-3584-1851 FAX 03-3584-6780
業務内容：西洋料理店 (赤坂津々井)



網川 利一 (昭和29年4月10日)
(株) オリジナル武生 経理
〒106 港区西麻布3-24-20
TEL 03-3478-3555 FAX 03-3478-3563
業務内容：婦人服製造販売



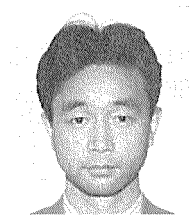
土橋 実 (昭和10年9月22日)
㈱土橋園 代表取締役社長
〒107 港区赤坂3-17-8
TEL 03-3582-3788 FAX 03-3582-2407
業務内容：日本茶販売



仲江 伯倫 (昭和31年7月13日)
㈱叙楽園 代表取締役
〒106 港区六本木6-15-21
TEL 03-3408-5182 FAX 03-3470-7463
業務内容：不動産賃貸



永島 弘毅 (昭和15年1月13日)
辰栄商事㈱ 代表取締役
〒160 新宿区新宿2-6-3 藤和コープ907号
TEL 03-3354-3510 FAX 03-3350-1890
業務内容：建設資材卸



中島 孝俊 (昭和27年6月4日)
東光化学工業㈱ 代表取締役
〒107 港区赤坂7-9-1
TEL 03-3583-2752 FAX 03-3586-2852
業務内容：化学工業



中村 一徳 (昭和11年3月10日)
㈱一徳商会 代表取締役社長
〒106 港区南麻布2-13-19
TEL 03-3452-3161 FAX 03-3456-2436
業務内容：機械工具卸、販売



中村 正広 (昭和39年10月14日)
㈱優雅堂
〒106 港区六本木3-3-14
TEL 03-3583-8171 FAX 03-3583-8173
業務内容：内装業



中山 須雄 (昭和24年1月10日)
株式会社 赤坂ビューティーサロン中山 代表取締役社長
〒107 港区赤坂2-14-31 金波B L 5 F
TEL 03-3586-2047 FAX 03-3586-4300
業務内容：美容業



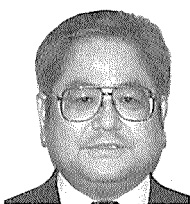
成瀬 勝 (昭和13年3月26日)
赤坂米穀株式会社 代表取締役
〒107 港区南青山3-1-5
TEL 03-3401-2181 FAX 03-3401-4682
業務内容：米穀販売



西沢 弘 (昭和16年5月11日)
株式会社 同栄 専務
〒106 港区西麻布4-1-5
TEL 03-3400-8241 FAX 03-3406-0741
業務内容：不動産業



西田 旬良 (昭和33年5月9日)
株式会社 ブティック武生 取締役
〒106 港区西麻布3-24-20
TEL 03-3478-3557 FAX 03-3478-3563
業務内容：高級婦人服メーカー



西村 崇治 (昭和12年7月8日)
日昭電気株式会社
〒107 港区北青山2-12-5
TEL 03-3402-7151 FAX 03-3402-9036
業務内容：電気工事業



根岸 保夫 (昭和10年5月10日)
港信用金庫 本店営業部 営業部長
〒107 港区赤坂5-4-6
TEL 03-3585-3710 FAX 03-3582-1874
業務内容：金融業



根本 保 (昭和19年11月25日)
全国朝日放送(株) 経理部副部長
〒106 港区六本木1-1-1
TEL 03-3587-5203 FAX 03-3505-3535
業務内容：テレビ放送事業



畠野 裕之 (昭和19年6月1日)
(株)ハタノ 代表取締役
〒107 港区赤坂3-14-11
TEL 03-3583-3830 FAX 03-3589-0534
業務内容：家電販売



花沢 敏彰 (昭和3年12月17日)
(株)ケミカルアメリカ 社長
〒107 港区赤坂4-2-3
TEL 03-3587-1412 FAX
業務内容：貿易業



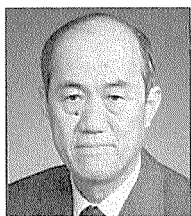
早川 祥一 (昭和18年8月12日)
(株)サンリバー 社長
〒106 港区西麻布3-24-8
TEL 03-3405-5711 FAX 03-3405-7617
業務内容：コンピューターソフトウェア開発



早川 寿一 (昭和13年10月1日)
(株)ビスポークハヤカワ 代表取締役
〒107 港区赤坂2-10-16
TEL 03-3583-4448 FAX 03-3583-4455
業務内容：注文紳士服



福田 晴次 (昭和23年7月26日)
(株)福田モーター商会 代表取締役
〒107 港区赤坂2-10-10
TEL 03-3582-1681 FAX 03-3582-2255
業務内容：外国製オートバイ輸入販売修理



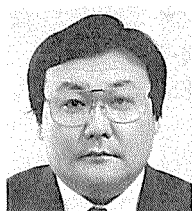
藤森 脩一 (昭和4年9月16日)
株式会社ケルビン 代表取締役
〒111 台東区小島2-18-15
TEL 03-3863-0140 FAX 03-3863-2006
業務内容：防水工事



藤原 鉄男 (昭和24年3月29日)
藤原鋼材株式会社 常務取締役
〒106 港区麻布十番1-7-3 藤原ビルディング6F
TEL 03-3404-5171 FAX 03-3404-0130
業務内容：一般鋼材販売及び厚板熔断加工、
鉄骨建築請負業



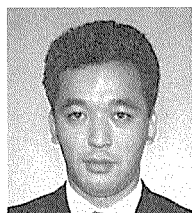
船木 強 (昭和27年12月12日)
エニソフトウェアテクノロジー株式会社 代表取締役
〒107 港区赤坂2-17-55 赤坂TMビル
TEL 03-3224-1468 FAX 03-3224-1469
業務内容：情報処理サービス業



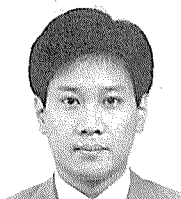
辺見 廣明 (昭和25年10月9日)
株式会社ファブリック 代表取締役社長
〒107 港区赤坂3-13-12 一新ビル4F
TEL 03-3584-5433 FAX 03-3584-5409
業務内容：ラジオ番組・CM制作



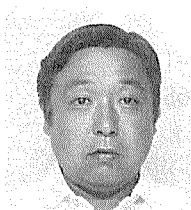
保住 勝三 (昭和20年4月15日)
株式会社赤坂穂寿美寿司 代表取締役
〒107 港区赤坂3-7-11
TEL 03-3582-3661 FAX 03-3582-3663
業務内容：寿司、割烹



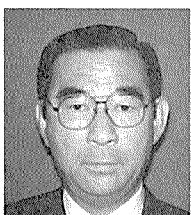
舞木 斉 (昭和36年8月26日)
大千建設株式会社 取締役
〒107 港区赤坂2-16-9
TEL 03-3585-1721 FAX 03-3585-7071
業務内容：建設業



真壁久雄（昭和31年3月5日）
真壁商事(株) 常務取締役
〒107 港区赤坂3-4-3
TEL 03-3585-5721 FAX 03-3585-5729
業務内容：貸ビル業



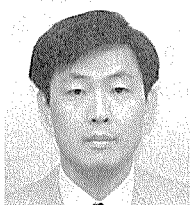
真島悦郎（昭和28年1月3日）
(有) 稲毛屋 専務取締役
〒107 港区赤坂4-2-3
TEL 03-3584-4451 FAX 03-3586-2939
業務内容：精肉業



松井英男（昭和13年5月11日）
(株) ふきぬき 代表取締役
〒107 港区赤坂3-6-11
TEL 03-3585-3100 FAX 03-3587-0400
業務内容：飲食業（うなぎ割烹）



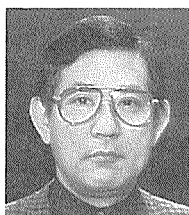
松島保雄（昭和9年10月25日）
(有) 泉洋服店 代表取締役
〒107 港区赤坂5-4-14
TEL 03-3585-0040 FAX
業務内容：紳士服製造販売



松山雄一郎（昭和25年1月31日）
(有) 新堀 取締役
〒106 港区南麻布2-10-9
TEL 03-5232-4788 FAX 03-5232-4799
業務内容：不動産業



三ヶ尻隆幸（昭和18年11月23日）
三ヶ尻工業(株) 代表取締役
〒106 港区南麻布2-8-21
TEL 03-3451-1287 FAX
業務内容：精密板金加工



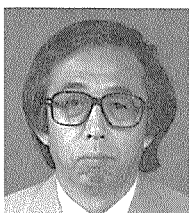
三島康裕 (昭和13年12月5日)
昭和生化学(株) 代表取締役
〒107 港区南青山5-9-15
TEL 03-3409-1366 FAX 03-3409-1428
業務内容：製造業



水沼寛 (昭和8年9月23日)
(株) 泉水舎 代表取締役
〒106 港区南麻布1-4-6
TEL 03-3452-3887 FAX 03-3452-4106
業務内容：クリーニング業



光井浄司 (昭和26年4月7日)
(株) 情報の森研究所 代表取締役
〒106 港区六本木7-21-8
TEL 03-3796-7130 FAX 03-3796-7250
業務内容：企画会社



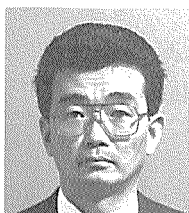
皆川隆光 (昭和14年1月13日)
(有) 栄和企画 代表取締役
〒106 港区六本木3-9-12
TEL 03-3401-6447 FAX 03-3401-7642
業務内容：不動産業



皆川昌博 (昭和22年2月9日)
(株) 源氏商会
〒106 港区六本木3-9-12
TEL 03-3401-9127 FAX
業務内容：不動産業



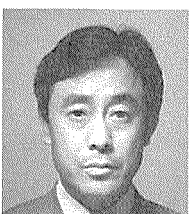
村田彰男 (昭和24年2月11日)
(株) ラフィアブルー 代表取締役
〒106 港区六本木1-7-28-701
TEL 03-5570-4728 FAX 03-5570-4729
業務内容：婦人服製造販売卸業



矢島 秀昭 (昭和27年7月23日)
住友海上火災保険(株) 六本木支社長
〒106 港区西麻布1-1-5
TEL 03-3402-4108 FAX 03-3402-4214
業務内容：損害保険



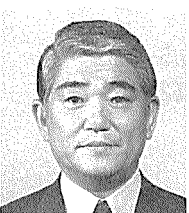
矢田 徹 (昭和23年1月22日)
(株) ロクシー 代表取締役
〒106 港区麻布台3-1-5
TEL 03-3584-5691 FAX 03-3587-9248
業務内容：パン製造販売、レストラン経営、
自社所有不動産の賃貸・管理



山口 勝 (昭和24年4月1日)
A I U保険会社 赤坂支店 支店長
〒107 港区赤坂3-1-2 A I Uビル2 F
TEL 03-5570-3101 FAX 03-3582-4262
業務内容：損害保険業



山田 勝久 (昭和17年2月4日)
(有) オリピック 専務取締役
〒106 港区西麻布4-1-11
TEL 03-3407-7739 FAX 03-3400-7208
業務内容：インテリア、貸ビル



山田 展也 (昭和17年5月30日)
(株) 南蛮洞 代表取締役
〒106 港区六本木2-3-8
TEL 03-3583-2203 FAX
業務内容：古美術品売買業



山田 米康 (昭和19年10月11日)
勸角証券(株) 六本木支店 支店長
〒106 港区六本木6-2-22
TEL 03-3475-6211 FAX 03-3475-6136
業務内容：証券業



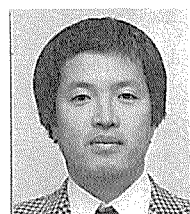
山本武夫（昭和17年12月8日）
㈱信穂 取締役
〒107 港区赤坂3-7-13
TEL 03-3583-2861 FAX
業務内容：貸ビル、飲食



山森由利子（昭和23年11月22日）
㈱ヒューモア 代表取締役
〒107 港区赤坂9-6-41 乃木坂ビルB1
TEL 03-3423-0015 FAX 03-3423-0016
業務内容：飲食業



横井弘之（昭和14年6月21日）
㈱一ツ木不動産 代表取締役
〒107 港区赤坂4-1-1
TEL 03-3585-0151 FAX 03-3582-0414
業務内容：不動産売買仲介業



吉岡琢磨（昭和22年10月13日）
㈱陶香堂 代表取締役
〒107 港区赤坂3-21-12
TEL 03-3583-3915 FAX 03-3583-3116
業務内容：美術陶磁器



吉岡正恒（昭和9年12月9日）
ニューエンパイヤ商事㈱ 取締役社長
〒106 港区東麻布1-29-16
TEL 03-3585-6281 FAX 03-3588-0863
業務内容：外車輸入、卸業



吉田登美男（昭和11年3月27日）
みやこ食品加工㈱ 代表取締役
〒106 港区西麻布4-2-12
TEL 03-3400-5208 FAX
業務内容：豆腐製造業

結成二十周年記念実行委員会

大会委員長 山田勝久

実行委員長 落合光治

青野信次・高桑幹雄・小池和敬・田浦彰・柴崎英一・尾関武男
・石井源太郎・中島孝俊・斉藤竹雄・菅野敬一・村田彰男・
大原正則・榎川誠一・福田晴次・秋元幸久・船木強・岩上義明
・新保國彦・皆川昌博・網川利一

編集後記

ついこの間、添野さんを中心に十周年記念誌作成の為に、インタビュー・カメラを持って四方八方へ走り回って大変な思いをしたと思ったら、あれから早や十年。またまた二十周年記念誌作成を広報委員としてたづさわる事になりました。

この十年間の記事、写真を見ながら思い出話に花が咲き、鶴見の総持寺、ウォーターフロント見学、江戸探訪、バーベキュー、クリスマス会等の写真を並べ、あれをのせよう、これものせようと熱気のこもる一時でした。

なかなか企画通りの編集が出来ませんでしたが、この記念誌が三十周年に向ってのステップになる事を願いここに発刊を迎えることになりました。

最後に発刊にあたり、ご協力をいただいた方々にお礼を申し上げます。

柴崎英一・斉藤竹雄・新保國彦・市河敬治・関瑛一・竹花忠
来代勝彦・斉藤豊彦・北智次・入倉珠美・加賀谷茂知・寺田秀世

サンエー・クラブ結成二十周年記念誌

編集・発行

サンエー・クラブ
東京都港区西麻布三―三―一
TSハウルビル四階(株)麻布法人会内
電話(三四〇八)一三二四・四五五四

印刷

有限会社 サイトー印刷所
東京都港区東麻布一―二七―十一
電話(三五八三)五九六四

発行日

平成四年十月二十二日

